クイック スタート ガイド

日本語

Prinergy Connect

バージョン 2.2

653-00567A-JA
内部 731-00058A-JA

www.creo.com

Prinergy Connect

バージョン 2.2

クイック スタート ガイド

著作権

Copyright © 2003 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本マニュアルは、Adobe Systems Incorporated の PDF (Portable Document Format) 形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本マニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe Acrobat、Illustrator、PageMaker、PhotoShop、Acrobat のロゴ、および PDF は米国特許商標局に登録されている Adobe Systems Inc. の登録商標であり、その他の国で登録されている場合もあります。Macintosh は Apple Computer Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。Windows、Windows 2000、および Windows NT は、Microsoft Corp. の米国登録商標です。QuarkXpress は Quark, Inc. およびすべての該当する会社の商標で、米国特許商標局およびその他多くの国で登録されています。Pantone は、PANTONE, Inc. の登録商標です。Preps は、ScenicSoft, Inc. の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害 (損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません)、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害 (本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません) についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

4456924	5247352	5412737	5600448	5802034	5996499	6136509
4500919	5249067	5420702	5608822	5813346	5998067	6147789
4558302	5283140	5420722	5615282	5818498	6003442	6158345
4743091	5291273	5459505	5625766	5854883	6014471	6159659
4992864	5296935	5473733	5636330	5861904	6016752	6164637
5049901	5313278	5481379	5649220	5861992	6031932	6180325
5079721	5323248	5488906	5650076	5864651	6043865	6181362
5103407	5325217	5497252	5652804	5875288	6060208	6181439
5111308	5331439	5508828	5691823	5894342	6063528	6186068
5113249	5333064	5509561	5691828	5900981	6063546	6189452
5122871	5339176	5517359	5696393	5934196	6072518	6191882
5124547	5343059	5519852	5699174	5942137	6090529	6204874
5132723	5355446	5526143	5699740	5946426	6096461	6208369
5150225	5359451	5532728	5708736	5947028	6098544	6252522
5153769	5359458	5561691	5713287	5958647	6107011	6260482
5155782	5367360	5568595	5739819	5966504	6112663	
5157516	5367388	5576754	5742743	5969872	6115056	
5208818	5384648	5579115	5764381	5973801	6121996	
5208888	5384899	5592309	5771794	5986819	6130702	
5247174	5412491	5594556	5785309	5995475	6134393	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話: 1-604-451-2700
Fax: 1-604-437-9891
http://www.creo.com

731-00058A-JA
最終更新日: ２００３ 年 ８ 月

目次

1 概要 1

Prinergy Connect について ... 2
このマニュアルについて ... 3
　このマニュアルの対象読者 ... 3
　詳細について ... 3
Prinergy Connect の主要機能 ... 5
このバージョンの最新機能 ... 6
Prinergy 製品群 ... 10
使用できるファイルの種類 ... 11
　入力 ... 11
　出力 ... 11
　PDF 1.4 透過性 ... 12
Acrobat プラグイン ... 13
基礎 :Adobe Extreme ... 15
　PDF ファイル形式 ... 15
　Portable Job Ticket フォーマット ... 15
　Job Ticket Processor ... 15
役割 : クライアントとサーバー ... 16
　サーバー側 ... 16
　クライアント側 ... 17
Prinergy Connect の新規事項 ... 19
　面付けプラン ... 19
　ジョブ ... 19
　ジョブ グループ ... 19
　プリ - ジョブ ... 19
　プロセス プラン ... 20
　ワークフロー プラン ... 20
次の作業 ... 20

2 使用方法 21

Prinergy Workshop の使用方法 ... 22
Prinergy Workshop の起動 ... 24
ジョブ ファインダ ... 25
ジョブ マネージャ ... 26
Workshop のカスタマイズ ... 28
要素に関する情報の表示 ... 32

3 Prinergy の設定 33

Workshop 初期設定の設定 ... 34
フォントの変換 ... 36
PANTONE カラー ライブラリ ... 37

プロセス プランの設定 38
プロセス プランのツールバーの設定 40
ワークフロー プランの設定 42

4 Prinergy ワークフロー 43

一般的なワークフロー 44
ジョブの作成およびアセンブリ 45
ファイルのリファインとページの割り当て 45
プルーフへの出力 46
版またはフィルムへの出力 47
ファイル管理 48
スポット カラー ワークフロー 49
Workflows のバージョニング 50
Synapse InSite ワークフロー 51
ホット フォルダを使用したワークフローの自動化 52
ジョブのインポートおよびエクスポート 53
エクスポート 53
インポート 53
部分的なエクスポートとインポート 54

5 ジョブの設定 55

ジョブの設定 56
プリ - ジョブの使用 57
コンテンツ ファイルを準備する 58
入力ファイル 58
フォント 58
ファイル ストレージ 58
ジョブの作成 59
新しいジョブの作成 59
テンプレート ジョブの使用 59
ジョブのインポート 59
ジョブの表示 60
ジョブ属性およびジョブ ステータスの設定 61
ジョブ ステータスの割り当て 61
入力ファイルを追加する 63
フォントについて 64
フォントの埋め込み 64
フォントの変換 64
フォント検索パスの追加 64
画像検索パスの追加 65
データベースのカラーの編集 66
情報の入力グローバルおよびジョブ単位 67

6 リファインと割り当て ページ 69
リファインについて ... 70
最初のリファイン ... 70
変更後の再リファイン ... 70
リファイン プロセス プラン ... 71
CEPS コンバージョン ... 72
ノーマライズ ... 72
コピードット ... 74
カラー コンバート ... 74
トラップ ... 76
オプティマイズ ... 77
サムネイル ... 77
面付け ... 77
入力ファイルのリファイン ... 79
カラー情報の表示と変更 ... 80
面付けプランの作成とインポート ... 81
ページ セットの追加 ... 83
ページ位置へのページの割り当て ... 84
ページ ジオメトリの設定 ... 86

7 ジョブの監視 89
ジョブの監視 ... 90
アクティブなプロセスのチェック ... 90
[プロセス情報] ダイアログ ボックス ... 92
動的な列 ... 93
ジョブ キューの確認 ... 94
[JTP キュー] 表示 ... 94
[プロセス タイプ] 表示 ... 95
ジョブ履歴のチェック ... 97
リムーバブル記憶域メディアのチェック ... 98
システム履歴のチェック ... 98

8 プルーフ、版、およびフィルム 99
プルーフの作成 ... 100
単ページのプルーフ ... 101
Adobe Acrobat ... 101
単ページ中綴じ面付け ... 101
[PDF ファイルの発行] オプション ... 102
Virtual Proof ソフトウェア ... 102
プルーフ 面付けページ ... 103
出力のカラー管理 ... 104
カラー分版のマッピング ... 104
印刷順序の変更 ... 105
ページと用紙マーク ... 106

可変マーク 106
キャリブレーション 107
スクリーニング 108
DotShop スクリーニング 108
プルーフの承認 109
Synapse InSite でのプルーフの承認 109
版やフィルムの作成 110
Web growth と他のひずみの補正 110

9 ファイル管理 111

ジョブのアーカイブ 112
ジョブのパージ 112
ジョブの読み込み 113
ジョブの破棄 113
レイアウトプランの破棄 114
ジョブの停止 114
保存情報の表示 115

用語集 117

索引 129

1

概要

Prinergy Connect について 2

このマニュアルについて 3

Prinergy Connect の主要機能 5

このバージョンの最新機能 6

Prinergy 製品群 10

使用できるファイルの種類 11

Acrobat プラグイン 13

基礎:Adobe Extreme 15

役割:クライアントとサーバー 16

Prinergy Connect の新規事項 19

次の作業 20

Prinergy Connect について

Prinergy は、プリプレスと版製本を整理する PDF ベースのプリプレス ワークフローおよびコンテンツ管理ツールです。

Prinergy Connect は、商業および出版用プリンタのための完全なワークフロー管理ソリューションです。ファイルのオプティマイズ、トラッピング、プルーフ、面付け、アーカイブ、ジョブのトラッキング、およびフィルム作成と製版などのタスクが、プロセス管理および生産性の向上のためにシステムで自動化され、管理されます。

Prinergy は、プリプレス オペレータが個別に、またはチームとして、デジタル画像としての出力用に受信データを処理できる環境を提供します。各ジョブのコンテクスト、繰り返しタスクを自動化するツール、および製本プロセスをリファインするためのステータス情報を提供し、オペレータの効率を高めます。

このマニュアルについて

このマニュアルは、Prinergy Connect を紹介し、ユーザーが Prinergy システムを有効に活用できるように援助することを目的としています。

マニュアルの使用

- Prinergy の主要機能を習得する
- Prinergy のメイン ウィンドウを参照し、各機能の利用方法を理解する
- Prinergy ワークフローおよびワークフロー タスクの概要を理解する

Prinergy Connect の講習会を受講されている場合、ガイドに記載されているすべての情報を習得されていますが、その内容について思い出すために、このガイドを利用できます。

このマニュアルの対象読者

このマニュアルは、以下を想定して記述されています。

- 製版工程に関する実用的な知識があること
- Macintosh® または Windows 2000 のオペレーティング システムに精通していること
- Prinergy Connect システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールされ、構成されており、それらが正しく動作している

詳細について

このセクションでは、Prinergy Connect 習得のための追加リソースを説明しています。

オンライン ヘルプ

このマニュアルでは Prinergy の基本的概要について説明していますが、主要な情報源はオンライン ヘルプとなります。

オンライン ヘルプの使用

- Prinergy タスクに関する詳しい操作手順を読む
- Prinergy ウィンドウのオプションがどのようにシステムに影響を与えるかを理解する
- トピックやキーワードについての情報を検索する

オンライン ヘルプにアクセスするには

- ダイアログ ボックス、またはウィンドウのコンテキスト依存ヘルプ アイコン  をクリックし、ダイアログ ボックス またはウィンドヴの情報を表示します。

  または

- Prinergy ウィンドウの [**ヘルプ**] メニューから [**ヘルプ コンテンツ**] を選択します。オンライン ヘルプの使用説明はオンライン ヘルプの「ようこそ」ページにあります。

講習会

Prinergy Connect オペレータ用トレーニング コースについては、販売代理店にお問合せください。

Prinergy システム管理ガイド

Prinergy システム管理ガイドでは、Prinergy システムの概要を提供し、システム設定とバックアップの方法について説明します。また、Prinergy Archiver の設定と利用方法も説明します。

Prinergy Connect の主要機能

Prinergy Connect には次の機能が搭載されています。

- **複数サーバー、複数ユーザーの環境** - Prinergy は、複数サーバー、複数ユーザーの環境を提供することで、スループットを向上させます。Prinergy ソフトウェアは多数のコンピュータに分配することができ、そのインターフェイスを使用すると複数のオペレータが同時に複数ジョブで作業できます。
- **相互プラットフォーム ソフトウェア** - Prinergy Workshop は、オペレータがジョブを作成および実行するときに使用するソフトウェアで、Macintosh および Windows コンピュータの両方で実行します。
- **拡張性のあるアーキテクチャ** - Prinergy の拡張性のあるアーキテクチャにより、製版工程の拡大に伴ってシステムを拡張できます。
- **繰り返しプロセスの自動化** - Prinergy では、設定を保存することによって繰り返しプロセスを自動化できます。この処理によって時間が節約され、エラーが減少します。
- **確実なワークフロー** - Prinergy は、PDF 形式に基づいた信頼性のある、予測可能なワークフローを提供します。
- **ページ ベース ワークフロー** - ページ ベースのワクフローとして、Prinergy では、ジョブ全体を再構築することなく、個々のページを管理および修正できます。面付けレイアウトからページが独立しているので、システムは最終段階の割り当て変更を取り扱えます。
- **効率的なトラブル シューティング** - Prinergy は、エラーを特定のジョブ要素にリンク付ける Oracle データベースにより、トラブルシューティング機能を拡張しています。
- **高速トラッピング** - Prinergy のベクトル ベースのトラッパは、ラスタ ベースのトラッパより非常に高速です。

このバージョンの最新機能

Prinergy Workshop ソフトウェアのこのバージョンには、以下の多くの改良点と新しい機能があります。ライセンスが付与されていない機能は、Prinergy システムに自動的に含まれます。ライセンスが付与された機能は、自動的に含まれません。ライセンスの付与された機能を購入し、Prinergy システムで有効化する必要があります。詳細については、販売員までお問い合わせください。



これらの機能の使用方法は、Prinergy オンライン ヘルプで説明されています。

Prinergy Update Utility - Prinergy 2.2 をインストールしたり、Prinergy 2.2 にアップグレードするための使いやすいインターフェイスが新しく作成されました。『Prinergy 2.2 アップグレード ガイド』を参照してください。

ファイルへのバックアップ - Prinergy Online Backup オプションを購入したサイトでは、テープまたはディスク内のファイルのいずれかにデータをバックアップできます(現在ライセンス取得可能なオプションへの拡張機能)。詳細については、『Prinergy システム管理ガイド』の「Prinergy システムのバックアップ」の章および Prinergy Administrator オンライン ヘルプを参照してください。

保存済みジョブの設定 - Prinergy では、最後に作成したジョブに対して入力した設定を記憶し、次の新しいジョブに対してその設定を表示できるようになりました。たとえば、ジョブの場所、テンプレート ジョブの設定、インポート ジョブの設定、およびジョブ属性は、すべて保存されます。これにより、新しいジョブを多数作成している場合などに、時間を節約して、エラーを防止することができます。

新しい **Creo Color Matcher** - Creo Color Matcher は、現在の Prinergy Color Matcher の代わりに使用できるバッチ Colormatcher JTP です。Creo Color Matcher は、基本的な Color Matcher または高度な Color Matcher のいずれとしても使用できます。高度な Color Matcher は、サイト ライセンスとして購入できます。

新しい **Creo PDF Trapper** - 現在の Prinergy トラッピング ソフトウェアの代わりに、Creo PDF Trapper を使用できます。Creo PDF Trapper は、自動化バッチ、手動で対話形式のトラッピングや編集などの既存の機能に加え、改善された機能および新しく使い易いインターフェイスを提供します。標準および拡張バッチ トラッピング JTP があります。標準バージョンは、商業用印刷の要件を満たすよう設計されており、高度なバージョンは、パッケージ印刷のニーズを満たすよう設計されています。

Trap Editor Acrobat プラグインには、標準、拡張、およびフリー Trap Viewer の 3 つのバージョンがあります。Workshop オンライン ヘルプ情報のほかに、Prinergy 2.2 システムの Adobe Acrobat の [ヘルプ] メニューから使用できる

『Creo PDF Trapper クイック スタート ガイド』および Creo PDF Trapper ヘルプを参照してください。このクイック スタート ガイドは、Prinergy マニュアル CD からも利用できます。

カラーをブラックとして処理 - この機能を使用すると、カラー データベースでカラーの [ブラックとして取り扱う] オプションをオンにできます (通常はスポット カラーです)。これにより、トラッパー (JTP およびプラグイン) でカラーがブラックとして処理されます。リファイン プロセス プランの [トラップ] セクションの設定では、Prinergy によるブラック オブジェクトの処理方法が決定されます。Creo PDF Trapper でのみ使用できます。

非プレス カラー スペースでのデータの検出 - Prinergy では、RGB、L*A*B、CIE などの非プレス カラー スペースのデータを検出できるようになりました。そのようなデータを無視するか、データに関して警告するか、またはデータの検出時にジョブを中断するかどうかを Prinergy に指示できます。

ノーマライザー設定ファイル - この機能を使用すると、サイトで複数のノーマライザー設定ファイルを使用して、PostScript や OPI バイパスといった異なるワークフローのニーズを満たすことができます。ノーマライザー設定ファイルの名前と場所は、リファイン プロセス プランで指定されます。

CT/LW および **TIFF/IT** データの検出 - Prinergy では、リファイン中に CT/LW および TIFF/IT コンテンツを認識して、オーバープリント修正とトラッピングがそのコンテンツ ダウンストーリームに適用されないようにすることができます。この機能は、ベクトル ベースのオブジェクトとラスタ ベースのコンテンツの両方を含むページに対して役立ちます。

分版データの再統合 - カラー マッチングおとびトラッピングできるように、分版された PDF からコンポジット PDF を作成できます (新しいライセンスが必要です)。

PDF/X-3 出力インテントの検出 - この機能は、PDF/X-3 入力ファイルに OutputIntents が含まれている場合に警告します。OutputIntents の値は、ジョブ履歴に記録されます。この処理は自動的に発生するため、オプションを選択して、この機能を有効にする必要はありません。Creo Color Matcher のみで使用できます。

ページを中央に揃える - この新しい割り当てモードでは、ページを面付けの位置に割り当てる際に、ページの左下コーナーの代わりにページの中央を使用します。この変更により、Prinergy Workshop で異なるメディア サイズのページを再度割り当てる場合、出力での画像のずれがなくなります。

ページ ジオメトリ設定への追加とページ ジオメトリ設定からの削除 - オペレータは、[ページ ジオメトリの設定] ダイアログ ボックスでページ ジオメトリを指定する際に、追加または削除する値を入力できるようになりました。

高度制作自動化エディタ - 新しい APA エディタは、APA ファイルをより簡単に作成および修正できるように設計された使いやすいインターフェイスです。以前は、APA ファイルをテキスト エディタで作成および修正する必要がありました。(現在ライセンス取得可能なオプションへの拡張機能)。

高度制作自動化 **(APA)** ファイルでの加算と減算 - この機能を使用すると、ページの割り当てを表す場合に、APA ファイルに簡単な加算や減算を組み込むことができます(現在ライセンス取得可能なオプションへの拡張機能)。

PDF 発行およびベクトル出力での **PDF** スケーリングと回転 - この機能を使用すると、スケーリングや回転を PDF 発行やベクトル出力に適用できるため、作成される PDF は独立したものとなり、その他の出力タイプと一致します。

PC 上での **Virtual Proof** ソフトウェア - Virtual Proof ソフトウェアは、Mac だけでなく PC でも使用できます。Virtual Proof を使用すると、画面上でレンダリングされたファイルをプレビューできます。面付け、見当、トラッピング、ページのバックアップ、フォント、画像配置、およびカラー ブレイクを画面上で確認する場合に使用できます。PC 用 Virtual Proof ソフトウェアでは、透明のカラー、無制限のスポット カラー、さらに強化されたズーム機能、および複数のジョブ間でカラー定義を保存する機能がサポートされています。詳細については、Virtual Proof ソフトウェアの [ヘルプ] メニューおよび Prinergy マニュアル CD からアクセスできる『PC 用 Virtual Proof ユーザー ガイド』を参照してください。

Veris 認定プルーフの印刷 - Creo Veris は、自動化されたメディアのロードとアンロードを備えた 4 面のテーブル面のデジタル CT コントラクト プルーファーです。Prinergy および Veris を使用して、顧客にこのプルーフが正しくキャリブレーションされていることを示す Creo Certified Proof を印刷できます。

新しい可変マーク - 出力を作成したオペレータ、デバイス、Harmony メディア、ICC プロファイル、ページ カラー、および面のカラーを識別するための新しい可変マークが追加されました。新しい可変マーク $ColorsOnPage および $Colorson Surface は、特定のページ または面のカラーを印刷します。また、バージョンがジョブに適用される場合、各レイヤーでカラーを区別する場合に役に立ちます。

テキスト ファイル ベースの面付けマーク - 一部のプリンタでは、製造プロセスでダウンストリームに使用する面付けされたページに、コードを配置する必要があります。新しいマークのセットが定義され、面付けファイルに関連付けられたテキスト ファイルから面付けオブジェクトのマーク情報を取得できるようになりました。

非線状/線状 **Web Growth** - これは、分割プレートと整列が間違っているシリンダからのシアリングを補正するための、現在の Web Growth 補正への拡張です(現在ライセンス取得可能なオプションへの拡張機能)。

履歴に記録された画面情報 - 出力に使用する画面情報は、詳細の参照用にジョブ履歴に記録されます。情報には、各カラーに対するスクリーン システム、ドット形状、スクリーン線数、スクリーン角度、および Maxtone 設定があります。

インク使用状況の追跡 - この機能を使用すると、[PrintLink] オプションで作成された PPF ファイルを読み込むことで、インクの使用状況レポートを生成できます (現在ライセンス取得可能なオプションへの拡張機能)。

Prinergy 製品群

Prinergy 製品群には、以下の製品が含まれます。

Prinergy Connect - ページ処理、面付け、フィルム作成および製版が必要な商業/出版用プリンタ用の完全装備の Prinergy です。

Prinergy Direct - プルーフ/出力デバイスの範囲まで面付けされた入力と出力が可能な、初心者レベルの Prinergy システム。Prinergy Direct は、Prinergy Connect または Prinergy Powerpack のいずれかを使用する複数サイトの Prinergy 顧客に対してリモート刷版ソリューションを提供し、すでに面付けソリューションを持つプリンタに対しては経済的な Prinergy ソリューションを提供します。

Prinergy Powerpack - オフセット印刷/フレキソ印刷/グラビア印刷用パッケージプリンタに対して設計された Prinergy システム。

Prinergy Newsrun - 新聞用の面付けおよび印刷プランが追加された Prinergy システム。

Prinergy Publish - ページ準備ステーションとして構成された Prinergy システム。Prinergy Publish は入力ファイルを、別の Prinergy システムのようなダウンストリーム製版ワークフローで使用される制作準備の形式に変換します。

関連プロダクト

Synapse InSite - 顧客が Prinergy 印刷ジョブのステータスをチェックしたり、ファイルを転送したり、PDF ファイルをインターネット経由でリモートでプルーフできるようにする Web インターフェイス。Synapse InSite は、Prinergy Powerpack、および Prinergy Connect の追加オプションと共に含まれます。

使用できるファイルの種類

入力

Prinergy に以下の形式のファイルを直接入力できます。

- PDF 1.2、1.3、1.4 (分版または混色)
- PDF/X-1a:2001、PDF/X-3
- PostScript Level 1、2、3 (分版または混色)
- EPS (Encapsulated PostScript)
- DCS and DCS2 (シングルおよびマルチファイル バージョン両方)
- 認定ソフトウェアで作成された PDF ジョブ チケット

ライセンスが付与された CEPS JTP を使用している場合は、以下の入力形式もサポートされます。

- CT/LW (Brisque、PS/M 5.0 以上)- CT および LW の新規、ネイティブ、およびハンドシェイク形式も含む
- TIFF/IT-PI



注意: Brisque から出力されない CT/LW ファイルを使用するにはまず、PostScript にファイルを変換する CEPSLink ソフトウェアを使用する必要があります。

同じ Prinergy のジョブで、コンポジット ファイルおよび分版されたファイルを混合することができます。

また、統合されたレイアウト アプリケーション経由でマルチアップ ダイスを CAD CFF2 形式で取り込むこともできます。



注意: トラッピング、色管理のような一部の Prinergy の機能は、カラー分版ファイルでは利用できません。

出力

Prinergy では以下のタイプの出力ファイルがサポートされています。

ベクトル形式:

- PDF 1.3 (分版または混色、入力によって異なる) (フォントのアウトライン化はライセンスがある場合に可能)
- PostScript Level 3 (分版または混色、入力によって異なる)
- PostScript Level 2 (分版) (フォントのアウトライン化はライセンスがある場合に可能)
- Vector DCS 2 (フォントのアウトライン化はライセンスがある場合に可能)
- PDF/X-1A:2001 (フォントのアウトライン化はライセンスがある場合に可能)

ラスタ形式:

- ラスタ DCS 2 (スクリーン済みまたは CT)
- ラスタ EPS (スクリーン済みまたは CT)
- Virtual Proof (Virtual Proof ソフトウェア)
- Epson 5000 (スクリーン済み)
- Epson 9000 (スクリーン済み)
- Kodak Approval TIFF (スクリーン済み)
- Kodak Approval EPS (スクリーン済み)
- BMP (スクリーン済み)

PDF 1.4 透過性

PDF 1.4 ファイルには、PostScript または PDF 1.3 ネイティブ形式で説明できない透過性機能が含まれており、Prinergy の RIP によって処理されることはありません。

PostScript および PDF 1.3 ファイルで透過性を保つために、オリジナル ソフトウェアを使用して、PDF 1.4 ファイルを最高品質の設定で PDF 1.3 にフラット化します。PDF 1.3 ファイルを Prinergy に入力できます。

または、PDF 1.4 ファイルを Prinergy に直接入力します。透過性は、検出され、最高品質の設定で自動的にフラット化されます。

Acrobat プラグイン

Prinergy Connect には、Adobe Acrobat に対する以下のプラグインが含まれます。

DotShop スクリーニング - PDF ファイルでハーフトーン スクリーニングの表示、選択、および編集を行えます。

Geometry Editor - ページのトリム サイズを視覚的に設定できます。

Prinergy Distiller - Acrobat Distiller ユーザーは、PDF ファイル内でオプションを設定できます。www.prinergy.com から利用できます。

Prinergy PrintXT Quark XTension - PostScript レベル 3 技術を使用してバックグラウンド カラー化された TIFF の問題を解決します。www.prinergy.com から利用できます。

Separation Viewer - PDF ページの色版を表示します。

Separation Repair- リファイン中に誤ってグループ化された色版を再グループ化できます。

Trap Viewer - リファイン中に Trap JTP で作成されたトラップを表示できます。

Trap Editor - Trap JTP により作成されたトラップを表示、編集、および再作成できます。**Advanced Trap Editor** には、パッケージ プリンタのための特別な機能が含まれます。トラップ編集は、ライセンス ソフトウェアです。

View Accelerator - 低解像度 (代替) の画像を使用して、PDF ページの表示を加速します。

プラグインを起動するには

➢ Acrobat ツールバーからプラグイン アイコンを選択します。



プラグインの使用方法の詳細については、Acrobat の [**ヘルプ**] メニューから [**プラグイン ヘルプ**] を選択し、使用するプラグインのヘルプを選択してください。

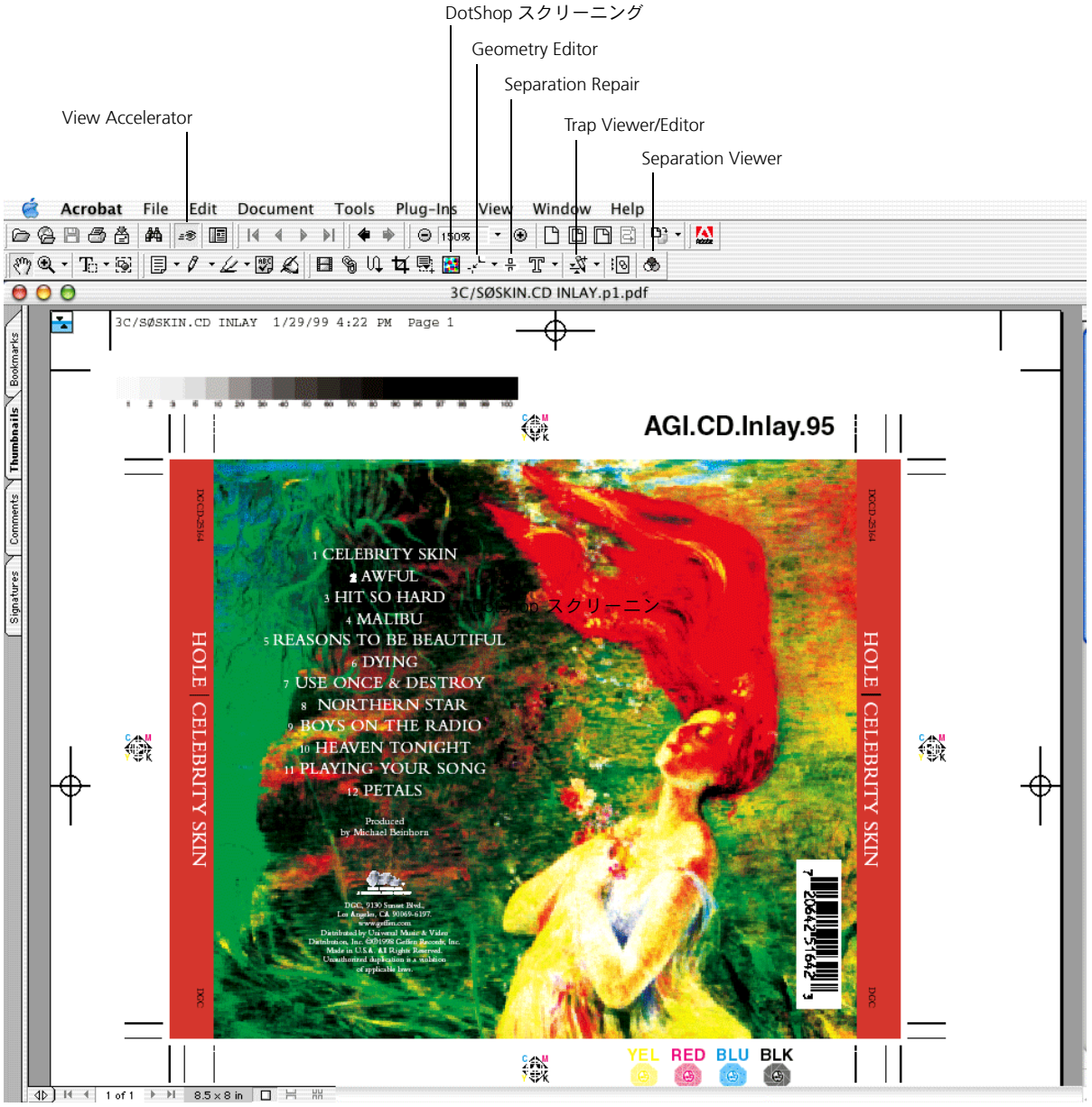


図 1: Prinergy の Adobe Acrobat プラグイン

基礎:Adobe Extreme

Adobe Extreme によって、Prinergy に対する中心技術が提供されます。Extreme は、配布プロセスとワークフローを処理し、プリプレス ワークフローをオプティマイズするために設計された印刷アーキテクチャです。Adobe Extreme のメインコンポーネントは、以下のとおりです。

- PDF ファイル形式
- PJTF (Portable Job Ticket/Portable Job Ticket Format)
- JTP (Job Ticket Processor)

PDF ファイル形式

PDF は、ページの画像、テキスト、およびフォントを保存できるファイル形式です。PDF ファイルは小さく、パフォーマンスにおける信頼性も高いです。PDF ファイルはプラットフォーム、オペレーティング システム、オーサリング ソフトウェア、および出力デバイスから独立しています。

Portable Job Ticket フォーマット

Extreme アーキテクチャでは、ジョブ コントロールは PJTF (Portable Job Ticket Format) で記述されるジョブ チケットによって処理されます。ジョブ チケットはジョブ作成から結果的な出版まで、印刷ワークフローを通してファイルに従います。ジョブ チケットには、ジョブがワークフローを移動するたびに更新されるジョブ情報および処理の指示が含まれます。

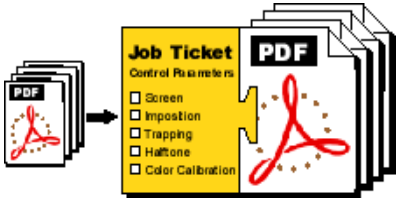


図 2: ジョブ チケット付き PDF

Job Ticket Processor

Job Ticket Processor (JTP) は、Extreme システムの一部として PDF ファイル上で特定の操作を実行するソフトウェア コンポーネントです。たとえば、Normalize JTP は PostScript ファイル を PDF に変換します。JTP は、行われるべき作業を決定するために PJTF ファイル内の情報を解釈します。その後、ジョブを実行して、行われた作業を示すためにジョブ チケットを再書き込みします。

Prinergy アーキテクチャに関する詳細については、『Prinergy システム管理ガイド』を参照してください。

役割:クライアントとサーバー

Prinergy は、クライアント/サーバー システムです。クライアント/サーバー システムでは、処理を実行するために、クライアント マシンとサーバー マシンが共に動作します。クライアント/サーバーの組み合わせにより、最大処理能力が増し、さらに効率的に使用することができます。

クライアント ソフトウェアは、サーバー ソフトウェアに要求を送信します。要求が送信されると、要求されたサービスが開始され、その後、関連情報がクライアント サーバーに返信されます。

サーバー側

ソフトウェア

Prinergy では、サーバー ソフトウェアは Prinergy Server と呼ばれ、以下のコンポーネントを含んでいます。

- Oracle データベース。Prinergy システム内のジョブまたは関連ファイルに関するデータを保存します。
- Adobe Extreme。JTP を含みます。
- デーモン。PDF ではない処理を実行する、サーバー上のプロセス。



Oracle データベース、Adobe Extreme、JTP、およびデーモンなどの Prinergy Server の詳細については、『Prinergy System 管理ガイド』を参照してください。

ハードウェア

分散 Prinergy システムには、3 つのタイプのサーバー マシンが存在する可能性があります。

- プライマリ サーバー
- 1 台または複数台のセカンダリ サーバー
- 1 台または複数台の第 3 サーバー

Prinergy システムには、1 つまたは複数のファイル サーバーを含むこともできます。ファイル サーバーでは入力ファイルを保存しますが、Prinergy ソフトウェア コンポーネントの実行や、Prinergy ジョブ フォルダの保存は一切行いません。ファイル サーバーは、Prinergy システムに対して表示される任意のマシンです。



注意: 入力ファイルは、Prinergy ネットワークの一部である任意のファイル サーバーに保存できます。

プライマリ サーバー - プライマリ サーバーは 1 台だけあります。Prinergy システムの主要サーバー マシンです。Prinergy Server コンポーネントのすべてやジョブ ファイル情報データベースを含みます。プライマリ サーバーは Prinergy Connect Workshop からの要求を調整し、データベースを維持します。Prinergy プライマリ サーバーおよびセカンダリ サーバー マシンは、Windows 2000 を実行している必要があります。

セカンダリ サーバー - セカンダリ サーバーは、Prinergy Server ソフトウェアを実行している任意のサーバーですが、プライマリ サーバーではありません。つまり、Prinergy Server ソフトウェアを実行していますが、データベースは保存されません。

セカンダリ サーバーでは、分散処理を促進するために、JTP などの Prinergy Server コンポーネントをいくつか保存することができます。

プライマリ サーバーにはジョブを保存することが可能ですが、プライマリ サーバーのパフォーマンスを向上させるために、一部またはすべてのジョブを 1 台または複数台のセカンダリ サーバーに保存できます。

第 3 サーバー - 第 3 サーバーは、Prinergy ネットワークの一部ですが、Prinergy ソフトウェア コンポーネントを実行していない Windows 2000、Windows NT、または UNIX サーバーです。このサーバーは、ジョブや入力ファイルを保存するために使用できます。第 3 サーバー マシンでは、Windows 2000、Windows NT、または UNIX のいずれかが実行されている必要があります。

クライアント側

ソフトウェア

Prinergy では、クライアント側ソフトウェアは、Prinergy Connect Workshop と呼ばれます。これは Prinergy システムに対するメイン ユーザー インターフェイスです。これでジョブの作成、編集、そして監視が実行できます。

ハードウェア

クライアント マシンは、Prinergy Connect Workshop のみが実行されていて、Prinergy Server でない任意のコンピュータです。Prinergy Connect Workshop は、Creo により認定された Windows 2000、Macintosh OS 9.2、または 10.1.3 以降で実行します。Prinergy システム内には任意の数のクライアント マシンを含むことができます。複数のクライアント マシンが同時にシステムにアクセスできます。

図 3 は、Prinergy システムのハードウェアおよびソフトウェアを示しています。

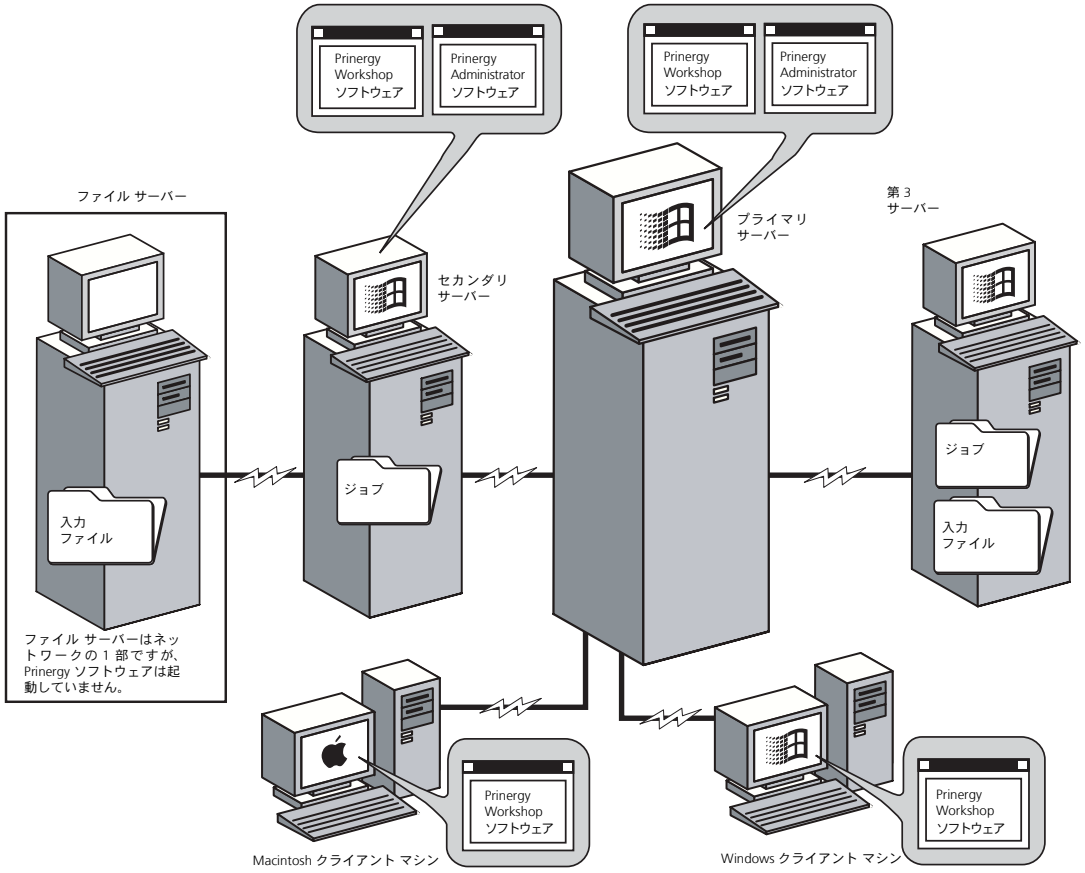


図 3: Prinergy サーバー /クライアント マシンおよびソフトウェア

Prinergy Connect の新規事項

ここでは、Prinergy Connect で操作するオブジェクトを簡単に説明します。

面付けプラン

面付けプランは、1 つまたは複数の折丁のマーク、ジオメトリ、およびページのレイアウトの電子記述を含むファイルです。面付けプランをジョブ マネージャの Prinergy にインポートします。1 つの Prinergy Connect ジョブに対し、複数の面付け指示を設定することができます。

ジョブ

ジョブは、Prinergy で作業を整理するために使用される単位です。ジョブを作成し、入力ファイルを追加します。一般的に、印刷する各出版物に対してジョブを作成します。ジョブ ファインダには、Prinergy システム中のすべてのジョブが表示されます。

ジョブ グループ

グループはジョブを整理するのに使用します。たとえば、月刊雑誌を制作する場合に、グループを作成することがあります。グループの中で、個々の案件について別々のジョブを作成することができます。グループの中にさらにグループを作成することもできます。ジョブ ファインダには、グループ、およびグループに含まれるジョブが表示されます。

プリ-ジョブ

プリ-ジョブは、Prinergy で作業を整理するために使用される単位です。ジョブ ファインダ中の [**プリ-ジョブ**] 表示の中にプリ-ジョブを作成します。プリ-ジョブはジョブと類似していますが、用途が異なります。

プリ-ジョブの用途には 2 通りあります。

- 以前にエクスポートしたジョブをエクスポートするには

  プリ-ジョブを作成して、その後でインポート プロセス プランへのリンク付きのホット フォルダを添付します。ホット フォルダにエクスポート済みジョブ (**<ジョブ名>.zip**) をドロップした場合、Prinergy は自動的に新規ジョブを作成し、エクスポート済みジョブ要素を追加します。

- 1 つ以上のジョブで使用されている要素を保存するには

プリ-ジョブを作成し、顧客のロゴや他の頻繁に使用される画像を含むフォルダに画像検索パスを設定します。フォント検索パスを顧客変換フォントを含むフォルダに設定します。顧客用に新規ジョブを作成する際は、プリ-ジョブから画像検索パスとフォント検索パスをコピーします。これで、新規ジョブからは同じ画像とフォントにアクセスできます。

プロセス プラン

プロセス プランは、単ページ プルーフの作成などのプロセスを実行する方法を Prinergy に指示するユーザー定義設定の集合です。たとえば、単ページ プルーフを制作するとき、出力装置、解像度、スケーリング、メディアのサイズ、方向、用紙およびマーク情報などを指定できます。

プロセス プランは、繰り返しの多いワークフロー タスクを自動化し、時間を節約し、エラーを減らします。プロセス プランは、[プロセス プラン エディタ] で作成、編集します。ジョブと同様に、プロセス プランはグループに組織化できます。

ワークフロー プラン

ワークフロー プランは、一連のプロセス プランです。

Prinergy には、以下の 3 つのタイプのワークフロー プランがあります。

- インポート、リファイン、および単ページ プルーフ
- インポート、リファイン、および面付けされたプルーフ
- インポート、リファイン、および最終出力

ワークフロー プランは、プロセス プラン エディタ ツールで作成、編集されます。ワークフロー プランを構築するには、ワークフロー プランに含める個々のプロセスに対してプロセス プラン (例: インポート、リファイン、および単ページ プルーフ) を指定します。ワークフロー プランを開始すると、Prinergy では、オペレータがさらに入力しなくても、次々にプロセスが実行されます。

次の作業

Prinergy Connect を初めてご使用いただく場合は、『Prinergy Connect クイックスタート ガイド』の残りの章をお読みいただき、次にシステムを使う上で役立つ Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

2

使用方法

Prinergy Workshop の使用方法 22
Prinergy Workshop の起動 24
ジョブ ファインダ 25
ジョブ マネージャ 26
Workshop のカスタマイズ 28
要素に関する情報の表示 32

Prinergy Workshop の使用方法

この章では、主な Prinergy Workshop ウィンドウや表示されるウィンドウや情報をカスタマイズする方法について説明します。

主な Prinergy Workshop ウィンドウは以下のとおりです。

- **ジョブ ファインダ** - グループやジョブを作成したり、既存のジョブを開きます。[ジョブ ファインダ] ウィンドウは、Prinergy を起動した後に表示される最初のウィンドウです。

  詳細については、25 ページの「ジョブ ファインダ」を参照してください。

- **ジョブ マネージャ** - ジョブで作業するためにこのウィンドウを使用します。[ジョブ マネージャ] は、[ジョブ ファインダ] からジョブを選択すると表示されます。[ジョブ マネージャ] には、以下の 5 つの表示があります。

  - **ページ**
  - **折丁**
  - **色版**
  - **記憶域**
  - **履歴**

  詳細については、26 ページの「ジョブ マネージャ」を参照してください。

- **キュー マネージャ** - プロセスを表示して管理します。キュー マネージャは、ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの [**ツール**] メニューから起動します。

  詳細については、94 ページの「ジョブ キューの確認」を参照してください。

- **プロセス プラン エディタ** - プロセス プランおよびワークフロー プランを作成および編集します。プロセス プランやワークフロー プランは、繰り返し行われるワークフロー タスクを自動化します。プロセス プラン エディタは、ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの [**ツール**] メニューから起動します。

  詳細については、38 ページの「プロセス プランの設定」を参照してください。

- **カラー エディタ (グローバルおよびジョブ単位)** - カラー定義情報を Pinergy Workshop カラー データベースに入力します。グローバル カラー エディタおよびジョブ単位のカラー エディタは、ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの [**ツール**] メニューから起動します。

詳細については、66 ページの「データベースのカラーの編集」を参照してください。

Prinergy Workshop ウィンドウに表示される情報をカスタマイズする方法については、28 ページの「Workshop のカスタマイズ」を参照してください。

Prinergy Workshop の起動

Prinergy Workshop を起動するには

1. クライアント デスクトップ上にある [Prinergy Workshop] アイコンをダブルクリックします。

   [Prinergy Server への接続] ダイアログ ボックスが表示されます。

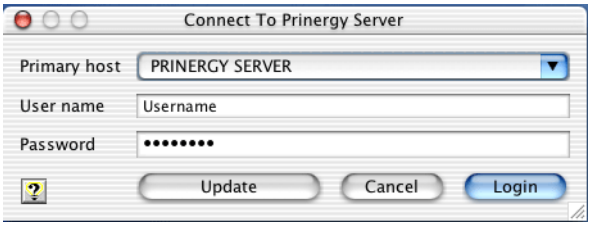


図 4: [Prinergy Server への接続] ダイアログ ボックス

2. [**プライマリ ホスト**] ボックスで、Prinergyシステムのプライマリ サーバーを選択します。
3. [**ユーザー名**] ボックスに、ユーザー名を入力します。
4. [**パスワード**] ボックスに、パスワードを入力します。

   [**更新のチェック**] ボタンのテキストは、このクライアントのソフトウェアがプライマリ サーバーのソフトウェアに対してチェックされていることを示します。ボタンのテキストは、[**更新不要**] または [**更新**] のいずれかに変更されます。

5. [**更新**] ボタンをクリックして、クライアントの Workshop ソフトウェアと Acrobat プラグインをシステムで自動的に更新します。
6. [**ログイン**] をクリックします。
7. [ジョブ ファインダ] ウィンドウが表示されます。

これで、Prinergy Workshop を使用する準備ができました。

ジョブ ファインダ

[ジョブ ファインダ] は、Prinergy Workshop を起動すると表示される最初のウィンドウです。

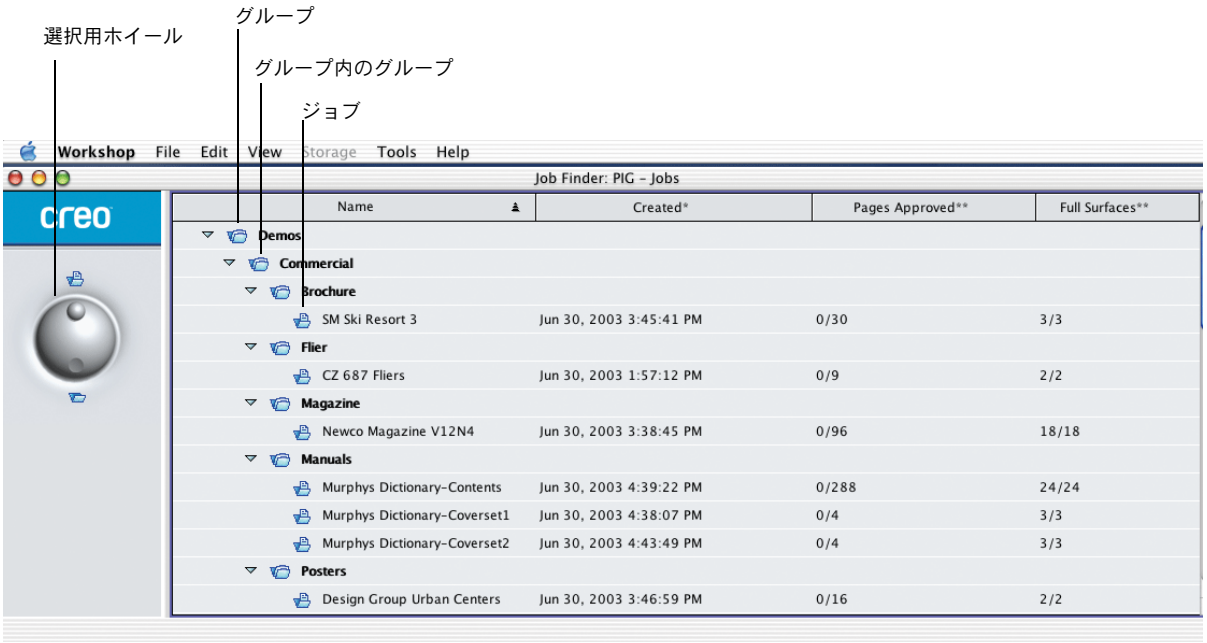


図 5: ジョブ ファインダ

ジョブ ファインダでは、以下のタスクを実行できます。

- ジョブを検索したり、ジョブの名前を変更する
- ジョブの属性を作成、破棄、および編集する
- ジョブ、プリ-ジョブ、およびグループを表示する
- ジョブの表示とプリ-ジョブの表示を切り替えるには、選択用ホイールを使用する
- ジョブまたはプリ-ジョブをダブルクリックして、ジョブ マネージャで表示する
- アーカイブ、取得、パージなどのジョブ コマンドを、一度に最高 10 個までのジョブで開始する

ジョブ マネージャ

ジョブ ファインダのジョブをダブルクリックするとジョブ マネージャが開きます。



図 6: ジョブ マネージャ

ジョブ マネージャは、ジョブに関する作業の大部分を行う場所です。たとえば 入力ファイルの追加、面付けプランのインポート、ページのリファイン、ページのページ セットまたは面付けプランへの割り当て、およびプルーフや最終出力などの作成のためにこのウィンドウを使用します。

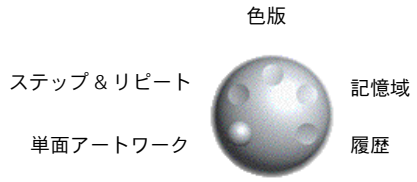


図 7: 選択用ホイール

選択用ホイールを使用して、ジョブ マネージャの中央の [**表示**] ペインの内容を変更できます。

このペインに表示される表示には、以下の 5 つがあります。

ページ - 入力ファイル、リファインされたページ、およびページ セットに関する情報を表示します。顧客ファイルの追加、面付けプランのインポート、入力のリファイン、ページのページ セットへの割り当て、および単ページ プルーフの作成にはこの表示を使用します。

折丁 - 入力ファイル、リファインされたページ、および面付けプランに関する情報を表示します。この表示では、[ページ] 表示と同じタスクを数多く実行できます。ジョブをリーダー スプレッドではなく面付けレイアウトとして表示する方が好ましい場合、[ページ] 表示ではなく [折丁] 表示を使います。

色版 - ジョブ内の個別の色版についての情報を表示します。この表示で、個別の色版を表示、管理、および出力できます。

保存 - すべての入力ファイル、PDF ページ、ジョブの一部である面付けプラン、およびジョブでアーカイブされたその他のファイルを一覧表示します。ジョブ ファイルの保存ステータスの確認、およびジョブまたは特定のジョブ ファイルのアーカイブ、パージ、またはリトリーブを行うために使用します。

履歴 - ジョブの詳細履歴を表示するために使用します。

Workshop のカスタマイズ

このセクションでは、Prinergy Workshop のウィンドウと情報をカスタマイズする方法について説明します。

一覧またはサムネイルとしての表示

ジョブ マネージャの [**ページ**]、または [**折丁**] 表示で、一覧またはサムネイルとしてページを表示できます。システムに精通すると、一覧表示の方がより簡潔で作業しやすく感じられます。

[**表示**] メニューから [**サムネイルとして**] または [**一覧として**] を選択します。サムネイルはリファインされたページの低解像度 RBG 画像です。

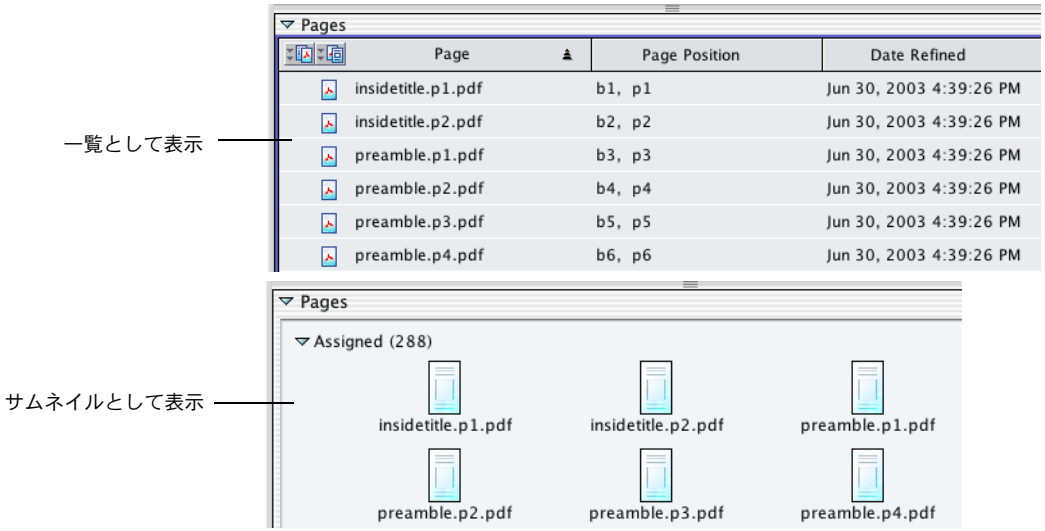


図 8: 一覧またはサムネイルとしての表示

[Workshop 初期設定] ダイアログ ボックス ([**編集**] メニューの [**初期設定**] を選択) には、サムネイルの表示に影響を与えるオプションを含まれています。

- ラージ サムネイルの表示
- デフォルト (空白サムネイル) の使用
- すべてのページ表示内の各列に偶数のサムネイルを表示

Workshop の初期設定の詳細については、34 ページの「Workshop 初期設定の設定」を参照してください。

ヒント: サムネイルは、ページをページ セットまたは面付けプランに対して割り当てまたは割り当て解除するために簡単に使用できます。

列の表示および非表示

[**表示項目**] メニュー オプションでは、どの情報列がジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの別のペインに表示されるかを選択できます。

1. [ジョブ ファインダ] にある [**表示**] メニューから [**表示項目**] を選択します。
2. [ジョブ マネージャ] にある [**表示**] メニューから [**表示項目**] を選択します。

   [表示項目] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 表示する列のチェック ボックスを選択し、非表示する列のチェック ボックスをクリアします。

   選択した新規列は、ウィンドウの右側に表示されます。

使用できない列は削除されません。

選択する列だけが表示されます。

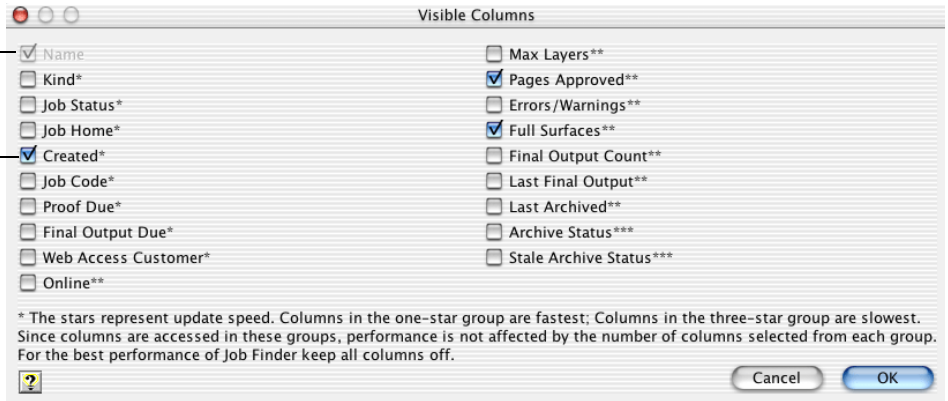


図 9: [ジョブ ファインダ] の [表示項目] ダイアログ ボックス

異なる条件で一覧を並べ替える

異なる条件で一覧のエントリを並べ替えるには、異なる列のタイトルをクリックします。たとえばページ名で並べ替えるには、**ページ**列のタイトルをクリックします。

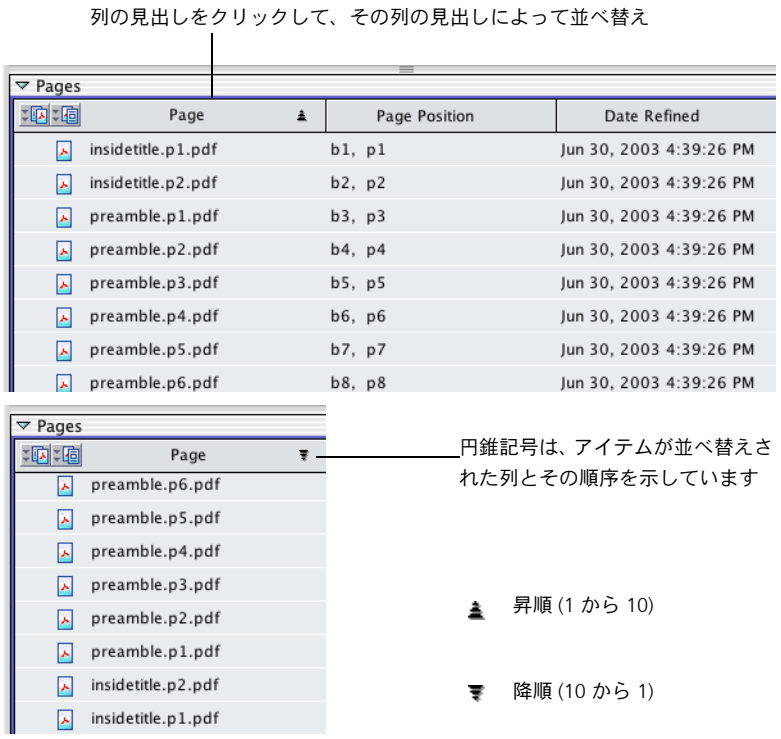


図 10: 一覧の並べ替え

三角形をクリックして一覧を表示または非表示

一覧を表示するには、右向きの三角形をクリックします。一覧を表示するには、右向きの三角形をクリックします。

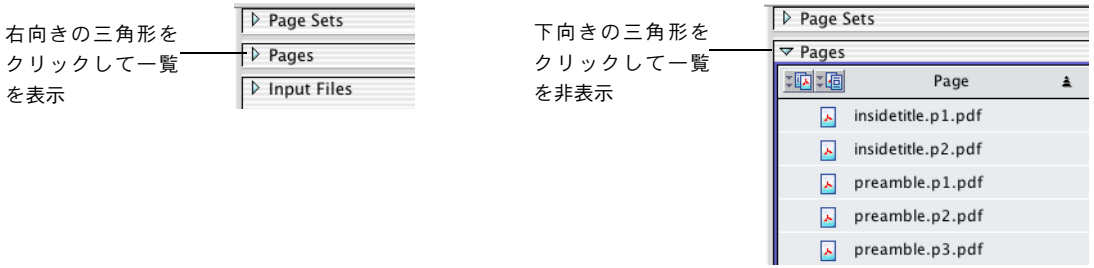


図 11: 一覧の表示および非表示

要素に関する情報の表示

[**情報を見る...**] メニュー オプションは 1 つの要素についての情報を表示します (たとえば、1 つのジョブ、PDF ページ、または入力ファイル)。このオプションは、[ジョブ ファインダ]およびジョブ マネージャで有効です。

たとえば、ジョブに関する情報を表示するには、ジョブ ファインダでジョブをハイライトした後、[**ファイル**] メニューから [**情報を見る...**] を選択します。[情報を見る...] ダイアログ ボックスが開き、すべてのジョブ属性およびジョブ フォルダとその他のジョブ ファイルのサイズが表示されます。

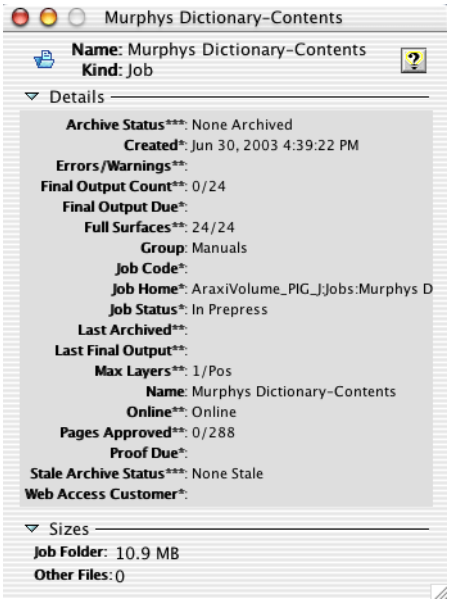


図 12: ジョブに対する [情報を見る...] ダイアログ ボックス

3

Prinergy の設定

Workshop 初期設定の設定 34
フォントの変換 36
PANTONE カラー ライブラリ 37
プロセス プランの設定 38
プロセス プランのツールバーの設定 40
ワークフロー プランの設定 42

Workshop 初期設定の設定

Prinergy では、ログオン ＩＤ ごとにワークステーションに Workshop の初期設定ファイルが保存されるので、他のオペレーターとワークステーションを共有している場合でも、システムで個々の初期設定が維持されます。1 つ以上のワークステーションを使用する場合は、固有の Workshop 初期設定は各ワークステーションに保存されます。

Workshop 初期設定を変更するには

1. [**編集**] または [**Workshop**] メニューから [**初期設定**] を選択します。

   [Workshop 初期設定] ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [初期設定] ダイアログの 3 つのタブをそれぞれクリックして、すべての初期設定にアクセスし、[**OK**] をクリックして変更を入力します。

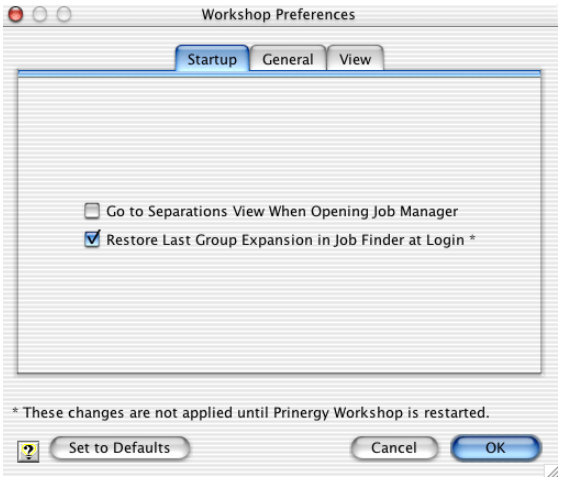


図 13: [Workshop 初期設定] ダイアログ ボックス、[起動] タブ

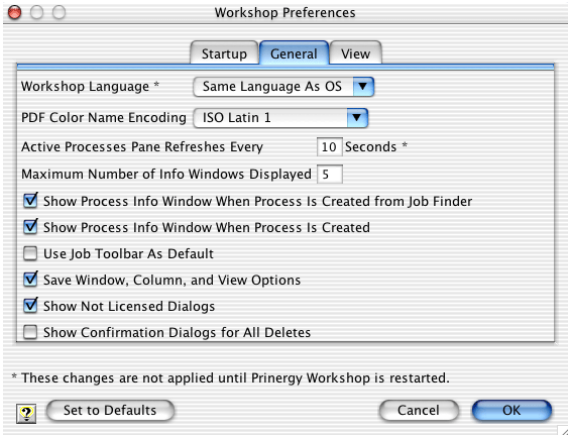


図 14: [Workshop 初期設定] ダイアログ ボックス、[全般] タブ

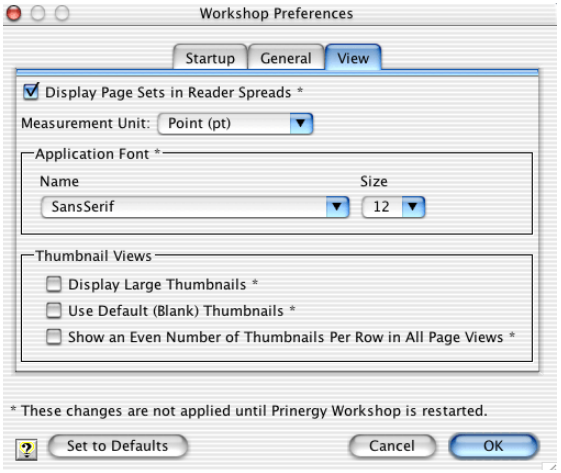


図 15: [Workshop 初期設定] ダイアログ ボックス、[表示] タブ

Workshop の初期設定の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

フォントの変換

フォント コンバータを使用して、Prinergy で使用できる PFA (Printer Font ASCII) 形式にフォント ファイルを変換します。

フォントがすでに入力ファイルに組み込まれている場合、または PAF 形式の Prinergy が搭載された base 193 Adobe フォント対応の場合は、フォント コンバータを使用する必要はありません。

フォントが入力ファイルに埋め込まれていない場合、リファイン プロセス中に必ずフォント情報を埋め込むようにします。埋め込むフォント情報では、フォントにフォント ベンダーが提供する基準形式である PFA 形式を使用します。フォント コンバータで形式を PFA 形式に変換します。

Prinergy には 以下の 2 つのバージョンのフォント コンバータがあります。

- グローバル フォント コンバータ
- ジョブ単位のフォント コンバータ

いずれのフォント コンバータも同じように機能しますが、それぞれフォルダの変換済みファイルを別々のフォルダに配置します。グローバル フォント コンバータによって変換されたフォントはホーム サーバーに保管され、すべてのジョブに有効です。ジョブ単位のフォントコンバータによる変換されたフォントはジョブ フォルダに保管され、その際のジョブのみに有効です。

フォントを変換するには

➢ ジョブ マネージャで、[**ツール**] を選択した後で [**グローバル フォント コンバータ**] または [**ジョブ単位のフォント コンバータ**] を選択します。



フォントの変換の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

PANTONE カラー ライブラリ

PANTONE ライブラリー、Prinergy の標準機能です。ライブラリは、15,000 以上の PANTONE カラーのカラー定義で構成されています。QuarkXPress™、Adobe Illustrator®、または Adobe Photoshop® から Prinergy にファイルを追加してリファインすると、Prinergy が PANTONE カラー名を認識し、PANTONE ライブラリの PANTONE カラーと照合し、PANTONE ライブラリからカラー レシピを使用します。

PANTONE ライブラリをインストールすると、Prinergy グローバル カラー データベースにロードされます。CMYK または L* a* b* カラー システムのどちらをロードするか選択できます。

PANTONE カラーのユーザー定義バージョンは、オリジナルの工場設定バージョンより優先されます。しかし、グローバル カラー データベースで無効にしても、工場バージョンはデータベースに残ります。また、ユーザー定義バージョンを削除した場合、工場バージョンはもう一度表示されます。したがって、PANTONE カラー定義を削除することはできません。



注意: グローバル カラー エディタおよびジョブ単位のカラー エディタでは、PANTONE カラーは保存されず、ユーザー定義カラーのみが保存されます。PANTONE スポット カラーでページをリファインして、任意で面付けにページ セットを割り当てる (または、PANTONE カラー名を色版に手作業で追加する) と、ページカラーや色版の一覧を表示したダイアログボックスやウィンドウに PANTONE カラー定義が表示されます。

PANTONE ライブラリとデスクトップ ソフトウェア

PANTONE ライブラリは、PANTONE ライブラリを含む QuarkXPress、Adobe Illustrator、または Adobe Photoshop で作成されたファイルに使用するためのものです。使用された PANTONE カラー名は、ソフトウェアからの出力であるファイルに保存されます。

QuarkXPress、Illustrator、および Photoshop は、PANTONE カラー名の最後に文字を追加します。Prinergy では、各ソフトウェアで PANTONE カラー名を変更するために使用するルールが認識されます。

Prinergy で QuarkXPress、Illustrator、および Photoshop 以外のデスクトップ ソフトウェアで作成されたファイルを処理している場合、Prinergy で PANTONE ライブラリを正常に使用するために、PANTONE カラーの名前を付けるソフトウェアのルールを把握する必要があります。

プロセス プランの設定

プロセス プランは Prinergy にプロセスをどのように実行するかを知らせるオプションとパラメータの集合体を含むファイルです。プロセス プランは繰り返しの多いタスクを自動化します。設定はあらかじめ定義されているので、プロセス プランを使用すると時間が節約され、整合性のある結果が得られます。

プロセス プランは以下のプロセスに対して必要とされます。

- 調整
- 単ページ出力 (単ページ プルーフ)
- 面付けプルーフ出力 (面付けされたプルーフ)
- 最終出力
- インポート
- エクスポート
- アーカイブ
- 読み込み
- パージ

プロセス プランを作成または編集するには

- [ジョブ ファインダ] または [ジョブ マネージャ] の [**ツール**] メニューから [**プロセス プラン エディタ**] を選択します。

  または

- プロセス プラン エディタで、プロセス プランをダブルクリックします。



注意: [プロセス プラン エディタ] メニュー アイテムがグレー表示されていて、その右側に [x] がある場合は、プロセス プランを編集するユーザー権限がありません。ユーザー権限は、Prinergy Administrator アプリケーションで設定します。ユーザー権限設定の詳細については、Prinergy Administrator オンライン ヘルプを参照してください。

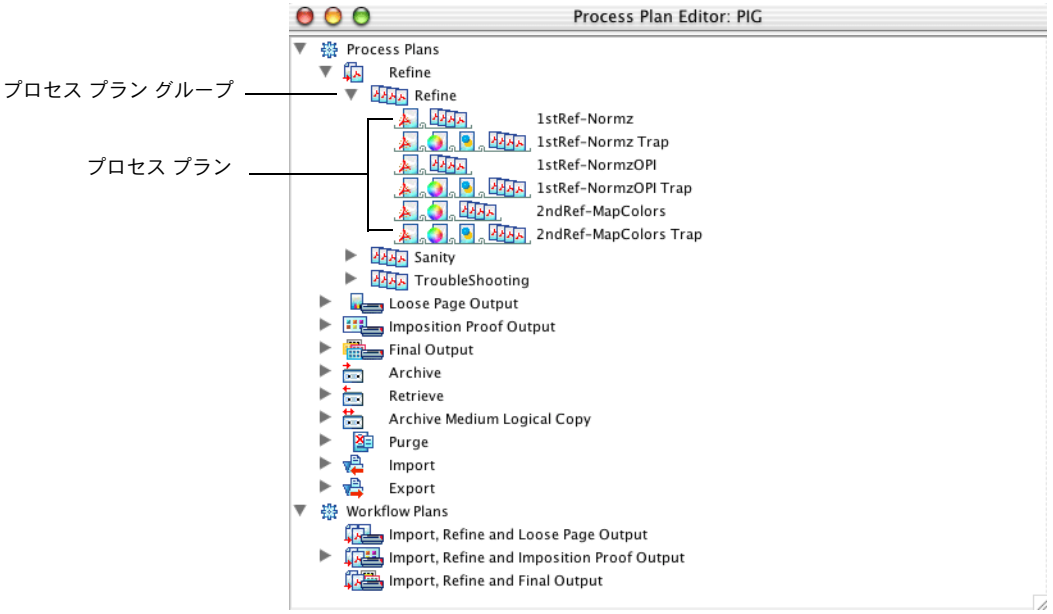


図 16: プロセス プラン グループおよびプロセス プラン

プロセス プラン設定の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

プロセス プランのツールバーの設定

さらにアクセスしやすくするために、最も頻繁に使うプロセス プランのアイコンをツールバーに置くことができます。ツールバーには 2 種類あります。ユーザー ツールバーとジョブ ツールバーです。

表示するツールバーのタイプを選択するには

1. [**表示**] メニューから、[**ユーザー ツールバー**] または [**ジョブ ツールバー**] を選択します。
2. デフォルトにより、ジョブ マネージャで [**ユーザー ツールバー**] の代わりに [**ジョブ ツールバー**] を表示する場合は、[**編集**]>[**初期設定**]>[**ジョブ ワークフロー ツールバーをデフォルトとして使用**] の順に選択します。

ツールバーにプロセス プランを追加するには

➢ [**表示**] を選択してから、[**ユーザー ツールバーの管理**] または [**ジョブ ツールバーの管理**] を選択します。



図 17: ユーザー ツールバーのプロセス プラン のアイコン

ツールバーを使用してプロセスを開始するには

1. 入力ファイルやリファインされたページなどの要素を選択します。
2. 実行するプロセス プラン、たとえば、リファイン プロセス プランのツールバーのアイコンをクリックします。



注意: プロセス プランはワークフローの手順に一致しない場合、ツールバーで利用できません。

ワークフロー プランの設定

ワークフロー プランとは一連のプロセス プランのことです。Prinergy には、以下の 3 つのタイプのワークフロー プランがあります。

- インポート、リファイン、および単ページ プルーフ
- インポート、リファイン、および面付けされたプルーフ
- インポート、リファイン、および最終出力

プロセス プラン エディタでワークフロー プランを作成します。ワークフロー プランを作成するためには、インポート、リファイン、および単ページ プルーフなど、各ワークフロー プラン プロセスのプロセス プランを指定します。

プロセスの 1 つが必要ない場合、プロセス プラン エディタにあるそのプロセスのチェックボックスをクリアすることができます。たとえば、インポート プロセスが必要ないとします。プロセスの組み合わせによっては意味を成さない場合があるため、あるプロセスの出力は次のプロセスの入力に結び付いていることを確認してください。

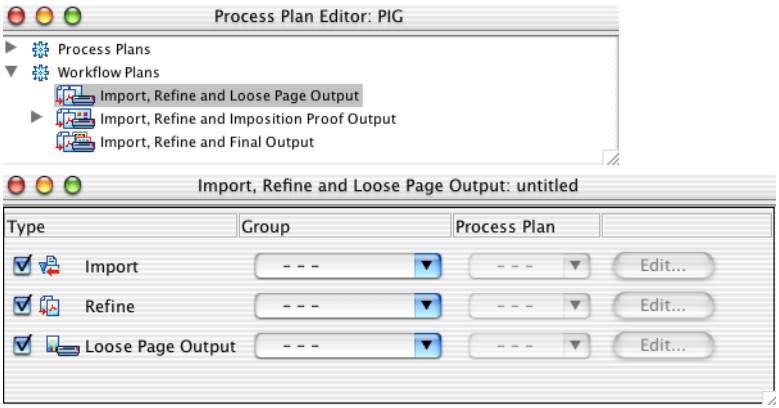


図 18: ワークフロー プラン

ワークフロー プランを使用する場合、Prinergy はオペレータの追加入力なしにワークフロー プラン プロセスを実行します。

ワークフロー プランをホット フォルダに割り当てることができ、1 つ以上のファイルをホット フォルダにドロップすると、ワークフロー プランが自動的に実行されます。

ワークフロー プラン設定の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

4 Prinergy ワークフロー

一般的なワークフロー 44
スポット カラー ワークフロー 49
Workflows のバージョニング 50
Synapse InSite ワークフロー 51
ホット フォルダを使用したワークフローの自動化 52
ジョブのインポートおよびエクスポート 53

一般的なワークフロー

一般的な Prinergy のワークフローには、以下の手順が含まれます。

1. ジョブの作成およびアセンブリ
2. ファイルのリファイン、面付けの作成、およびページの割り当て
3. プルーフの作成
4. 版またはフィルムへの出力
5. ファイルの管理

計画と承認 (プルーフ) は、ワークフローの各手順で行われます。

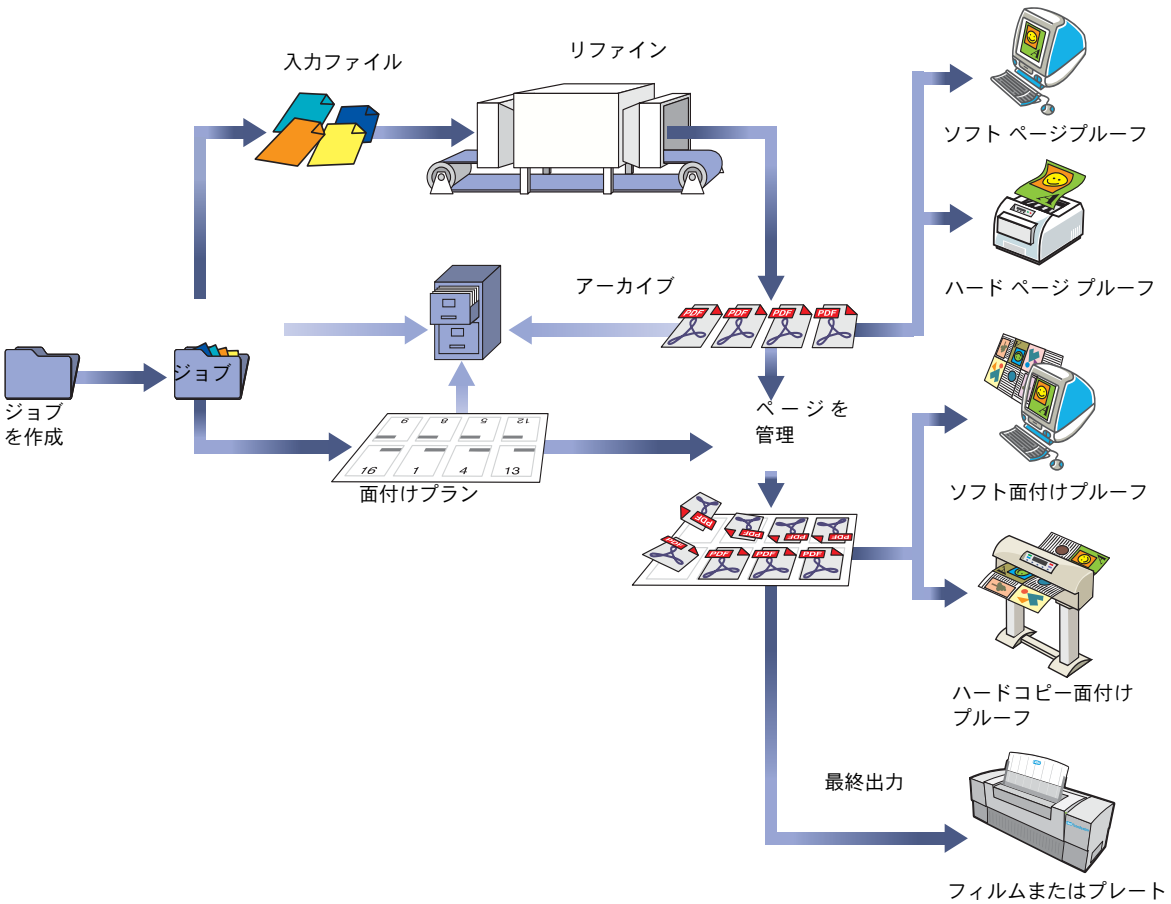


図 19: Prinergy ワークフロー

ジョブの作成およびアセンブリ

Prinergy ジョブのアセンブリには、以下の手順が含まれます。

- プリ-ジョブおよびジョブの作成
- コンテンツ ファイルの準備
- 入力ファイルの追加 ファイルは、ジョブに追加するときにリファインできます。
- ジョブ属性およびジョブ ステータスの設定
- 必要に応じた画像およびフォント検索パスの追加

詳細については、第 5 章、「ジョブの設定」を参照してください。

ファイルのリファインとページの割り当て

ファイルのリファイン

リファインすると、入力ファイルは独立した PDF ページに変更されます。リファインには以下の手順の一部、またはすべてが含まれます。

- CEPS 変換 (CT/LW) (オプション)
- ノーマライズ (必須)
  - デフォルト ページ サイズ (オプション)
  - OPI (オプション)
  - フォントの処理 (オプション)
  - 線の処理 (オプション)
- の処理 (オプション)
- カラー コンバート (オプション)
  - カラー マッピング (オプション)
  - カラー マッチング (オプション)
  - オーバープリント変換 (オプション)
- トラッピング (オプション)
- オプティマイズ (必須)
- サムネイル作成 (オプション)
- 面付け(任意)

第 6 章、「リファインと割り当て ページ」を参照してください。

ページの割り当て

これには、以下の手順が含まれます。

- ページ セットまたは面付けプランにページを割り当てる
- ページ ジオメトリを設定する

第 6 章、「リファインと割り当て ページ」を参照してください。

プルーフへの出力

要素が正しく表示されていることを確認するために、各フェーズで,承認を取得、またはプルーフを作成できます。プルーフは、画面表示用に作成 (ソフト プルーフ) したり、さまざまな出力デバイスに送信 (ハード プルーフ) することが可能です。

プルーフ オプションは、以下のプロセス プランで設定されます。

- 単ページ出力プロセス プラン (個々のページ用)
- 面付けされたプルーフ出力プロセス プラン (面付けされたページ用)

プルーフ オプションには、以下が含まれます。

- QC ツールを使用した表示
- Separation Viewer プラグインを使用した表示
- プルーフの承認/拒否
- Synapse InSite の使用 (オンライン顧客承認用)

Prinergy では、ページ、面付け、またはジョブ全体のプルーフを作成できます。また、画面表示用のプルーフ (ソフト プルーフ) を作成したり、さまざまな出力デバイスにプルーフを送信することが可能です。プルーフを作成するためのパラメータは、選択した出力プロセス プランで設定されます。

プルーフおよび出力の詳細については、第 8 章、「プルーフ、版、およびフィルム」を参照してください。

ソフト プルーフ ツールを使用した表示

Macintosh または PC で Creo Virtual Proof ソフトウェアを使用して、または PC で Copydot Toolkit Viewer を使用して、ジョブをソフト プルーフできます。Virtual Proof または Copydot Toolkit Viewer を使用して表示すると、異なるセットの表示ファイルが作成されます。これには数分かかる場合がありますが、高品質のプルーフが提供されます。



詳細については、『Virtual Proof ユーザー ガイド』または『Copydot Toolkit ユーザー ガイド』を参照してください。

Separation Viewer プラグインを使用した表示

ジョブは、ページで各色版をチェックするために、Adobe Acrobat の Separation Viewer プラグインを使用してソフト プルーフできます。Separation Viewer を使用すると、Adobe Acrobat で表示する場合と同じ速さで表示できます。各カラーは個々に表示でき、オーバープリント領域も表示されます。



詳細については、Separation Viewer オンライン ヘルプを参照してください。

プルーフの承認/拒否

Prinergy では、ページ プルーフ、または面付けされたプルーフの承認、または拒否を記録します。承認ステータス アイコンは、[ページ] 表示または [折丁] 表示に表示されます。



注意: InSite を使用すれば、顧客はページ プルーフを承認できます。InSite ワークフローの詳細は、51 ページの「Synapse InSite ワークフロー」を参照してください。

版またはフィルムへの出力

出力では、折丁手順で作成された面付けを使用して版またはフィルムを作成します。

版またはフィルムを作成するには、以下のグローバル パラメータを設定します。

- 印刷の色版を定義する
- スクリーニング パラメータを出力する
  - 解像度
  - ドットの形状
  - 線スクリーン
  - ドット ゲイン補正
  - デバイス キャリブレーション
  - 方向 (横、縦)
  - Web Growth のひずみ率
  - ミラー化 (正しい/間違った読み取り、負/正)

Prinergy では、出力する色版を選択した後、適切な最終出力プロセス プランを選択することにより、版またはフィルムを作成します。プロセス プランには、最終出力結果を決定するパラメータが含まれます。

版またはフィルムを作成する前には必ず面付けされたプルーフを準備し、任意ですべてのプルーフを承認してください。

最終出力プロセス プランでの設定は、単面ページ出力プロセス プランでの設定とほぼ同じです。

第 8 章、「プルーフ、版、およびフィルム」を参照してください。

ファイル管理

アーカイブでは、別の保存デバイスにジョブ要素を保存したり取得して、アクティブ ディスクの容量を節約します。または、印刷後にジョブが必要ない場合、これを削除できます。

ファイル管理には、次の作業が含まれます。

- ジョブのアーカイブ
- ジョブのパージ
- ジョブの取得
- ジョブの破棄

ジョブのアーカイブ、パージ、取得および破棄の詳細については、第 9 章、「ファイル管理」を参照してください。

スポット カラー ワークフロー

最善の Prinergy ワークフローを決定するために、入力ファイルのスポット カラーと最終出力のスポットカラーを評価する必要があります。

Prinergy では、以下のことが可能です。

- スポット カラーを異なる出力色版として出力する
- スポット カラーを CMYK に変換する。
- 他のスポット カラーと同じ出力色版にスポット カラーを印刷する。
- スポット カラーを印刷されないように隠す。

スポット カラーの取り扱いには、以下の 4 種類のワークフローがあります。



ジョブについて最も適切に説明されたシナリオを選択し、手順について Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。オンライン ヘルプ索引で「スポット カラー」を検索します。次に、「スポット カラー」下で、「カラー還元」エントリを探します。

ワークフロー 1 - スポット カラー還元なし。

入力ファイルには、出力したいものと同数のスポット カラーが含まれます。たとえば、入力ファイルに CMYK と 2 つのスポット カラーがあるのは、6 つの色版を出力する場合です。

入力ファイルがコンポジット ファイルの場合、このワークフローでトラップ、またはカラー マッチングできます。

ワークフロー 2 - 処理のために全スポット カラーを変換する。

コンポジット入力ファイルには、最終出力で必要でないスポット カラーが含まれます。カラーを処理するために、全スポット カラーを変換します。

ワークフロー 3 - 出力中のスポット カラー還元。

分版またはコンポジットのいずれの入力ファイルに含まれる場合でも、出力するスポット カラー、および出力中 (リファイン中ではなく) に処理するスポットカラーより多い、または別のスポット カラーが含まれます。

このワークフローでは、トラッピングやカラー マッチング (コンポジット入力ファイルのみで利用可能) の実行は推奨されていません。

ワークフロー 4 - リファイン中のスポット カラー還元。

コンポジット入力ファイルには、出力するスポット カラーより多い、または別のスポット カラーが含まれます。リファイン中にスポット カラーを変換するかどうか決定します。

スポット カラーがあり、トラッピングやカラー マッチングを行いたい場合は、このワークフローをお勧めします。他の 3 種類のワークフローがジョブに合わない場合は、このワークフローを使用することもできます。



スポット カラー ワークフローの詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

Workflows のバージョニング

出版が複数の地域用である場合、そのコンテンツには共通する部分と異なる部分が存在することがあります。たとえば、地域が異なれば価格や住所の違いがあり、テキストが別の言語になる場合もあります。このタイプのジョブはバージョン、地域バージョン指定、またはゾーン バージョンと呼ばれます。

Prinergy は複数バージョンに対してファイルを受け付け、1 つのジョブでページを管理できます。バージョンは、ソース ファイルに基づいて、異なる方法で処理されます。



バージョニング ワークフローの詳細については、Prinergy オンライン ヘルプ、および『Prinergy 地域バージョン ワークフロー ユーザー ガイド』を参照してください。

Synapse InSite ワークフロー

SynapseÆ InSite は Web ベースのソフトウェアで、セキュリティ保護された環境下で顧客とのインターネット通信が可能になります。このアプリケーションによって、顧客は以下を実行できます。

- ファイルのアップロードおよびダウンロード、ジョブの作成、およびサムネイル、ジョブ ステータス、ジョブ履歴、修正要求レポートの表示を実行できます。
- Adobe Acrobat で表示、印刷するための PDF ページ プルーフをダウンロードできます。
- (有効な場合) プルーフ デバイスでの印刷に使用する、ページのデジタル マスターがダウンロードできます。
- ページを見直すためにほかのユーザーを招待できます。
- 他のユーザーと協力して、Smart Review で高解像度のプロダクション ファイルに必要な修正の注釈を付けることができます。
- オンラインのページを承認または拒否できます。

Synapse InSite を使用すると、ジョブのプルーフ、修正、および承認に費やす時間を大幅に短縮できます。Synapse InSite を使用すると、以下を実行できます。

- 顧客のユーザー アカウントおよびパスワードを設定して、従業員に対して異なる権限およびアクセス権を設定する。
- 各顧客に対して Synapse Insite Web ページにカスタマイズされたバナーを追加する。
- ページを承認または拒否する準備ができたとき、および顧客によるファイルのアップロード、ページの承認や拒否、注釈付きプルーフの送信が行われるときに、電子メールにより自動的に顧客に通知されるよう InSite を設定する。
- 顧客がプルーフおよび承認するために、リファインしたページをオンラインで利用可能にする。これらは、低解像度の代替画像や高解像度のファイルを使用できる PDF プルーフでも可能です。
- ページ修正指示を、印刷可能な注釈レポートの形式で、顧客から受信する。
- 共同して表示、注釈、承認、および変更依頼をするために、同時に Smart Review を使用して 1 ページあたり最大 6 人のユーザーを設定する。
- アップロードされたファイルを自動的にリファインまたはコピーするように InSite を設定する。



詳細については、Synapse InSite Administrator オンライン ヘルプを参照してください。

ホット フォルダを使用したワークフローの自動化

ホット フォルダでは、Prinergy ジョブに対してファイルをドラッグアンドドロップして追加、処理することで、ワークフローを自動化できます。

Prinergy では、2 種類のホット フォルダを作成することができます。

- 入力ファイルの追加のみ
- ファイルの追加と処理

「入力ファイルの追加のみ」のホット フォルダは、ジョブに入力ファイルを追加するために使用されます。たとえば、デスクトップ パブリッシング ソフトウェアから追加入力ファイル専用ホット フォルダに PostScript を直接書き込む場合、ファイルはホット フォルダが添付されている Prinergy に自動的に追加されます。

「追加と処理」ファイル タイプのホット フォルダには、常にプロセス プランまたはワークフロー プランがリンクされています。「追加と処理」ファイル タイプのホット フォルダにファイルを追加する場合、Prinergy ではプロセスやワークフロー プランの指示に従って自動的にファイルが処理されます。

ジョブ エクスポート ファイルを面付けプロセス プランにリンクしているプリジョブ ホット フォルダにドロップすると、Prinergy はエクスポート ファイルと同名の新規ジョブを作成します。

別の場所を指定しない限り、Prinergy は **\\<server>\Jobs\<Job Name>\Hot Folders** フォルダにホット フォルダを作成します。ホット フォルダは、ネットワークを通してアクセス可能な場所であれば、どこにでも配置でき (第 3 サーバーを含みます)、UNIX サーバーでも可能です。

ジョブ用のホット フォルダを作成または表示するには

➢ [ジョブ マネージャ] の [**編集**] メニューから [**ホット フォルダの管理**] を選択します。



ホット フォルダの設定および使用についての詳細は、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

ホット フォルダの設定

Prinergy Workshop ホット フォルダは Prinergy Administrator を使用して設定できます。たとえば、ホット フォルダに対して、グループ サイズ属性、つまり、ファイルが Prinergy Workshop にあるホット フォルダに一度にドロップされた場合に一度に処理されるファイルの数を設定できます。ファイルをグループ化することで、オーバーヘッドの処理を減らし、処理の速度を速めることができます。



ホット フォルダの設定の詳細については、Prinergy Administrator オンライン ヘルプを参照してください。

ジョブのインポートおよびエクスポート

ジョブのエクスポートおよびインポートを行うことによって、Prinergy ジョブを他の Prinergy および Prinergy 以外のシステムと交換することができます。

エクスポート

ジョブをエクスポートすると、Prinergy では、面付け指示、PDF ファイル、サムネイル (作成されている場合)、およびジョブ指定のデータを含む圧縮ファイルが作成されます。ジョブ履歴およびオリジナル入力ファイルは、圧縮ファイル内で転送されません。

リモート Prinergy システムで復元できる別のサイトに、圧縮ファイルを容易に転送できます。

エクスポートプロセス プランはエクスポート オプションを制御します。たとえば、プロセス プランは、圧縮ファイルの場所を制御します。デフォルトのフォルダは、**<JobName>\UserDefinedFolders\Exports** です。

ジョブをエクスポートするには

➢ [ジョブ ファインダ] または [ジョブ マネージャ] の [**ファイル**] メニューからジョブを選択し、[**ジョブのエクスポート**] を選択します。

インポート

ジョブのインポート、エクスポート圧縮ファイルからの復元インポート プロセス プランはインポート オプションを制御します。

ジョブをインポートするには、以下の手順のいずれか 1 つを行ってください。

- [ジョブ ファインダ] の [**ファイル**] メニューから [**ジョブのインポート**] を選択する
- [ジョブの新規作成] ダイアログ ボックスの [**ジョブのインポート**] チェックボックスを選択する
- エクスポート圧縮ファイル (**<job name.zip>**) をプリ-ジョブ ホット フォルダ (面付けプロセス プランにリンクされている「追加と処理」ファイル タイプのホット フォルダ) にドロップする

部分的なエクスポートとインポート

ジョブの一部をエクスポートおよびインポートすることもできます。部分的なエクスポート ジョブは、割り当てられたページと面付けジョブ チケットを使った折丁です。発生サイトではジョブの一部を徐々にエクスポートできる一方、リモート サイトではジョブ マネージャの既存のジョブへの追加分インポートを使用して徐々にジョブを再構築できます。



完全および部分的なエクスポートとインポートに関する詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

5

ジョブの設定

ジョブの設定 56

プリ-ジョブの使用 57

コンテンツ ファイルを準備する 58

ジョブの作成 59

ジョブ属性およびジョブ ステータスの設定 61

入力ファイルを追加する 63

フォントについて 64

画像検索パスの追加 65

データベースのカラーの編集 66

ジョブの設定

ジョブの設定には以下のタスクが必要です。

1. プリ-ジョブを使用する (この手順はオプションです)

   57 ページの「プリ-ジョブの使用」を参照してください。

2. コンテンツ ファイルを準備する

   58 ページの「コンテンツ ファイルを準備する」を参照してください。

3. ジョブを作成する

   59 ページの「ジョブの作成」を参照してください。

   61 ページの「ジョブ属性およびジョブ ステータスの設定」を参照してください。

4. 顧客入力ファイルを追加する

   63 ページの「入力ファイルを追加する」を参照してください。

5. カラー情報を追加する

   66 ページの「データベースのカラーの編集」を参照してください。

6. 必要に応じて画像検索パスを設定する

   65 ページの「画像検索パスの追加」を参照してください。

7. 必要に応じてフォント検索パスを追加する

   64 ページの「フォント検索パスの追加」を参照してください。

プリ-ジョブの使用

割り当て対象のジョブを判断する前に、プリ-ジョブを作成して、ページやその他のジョブ要素を保存して事前処理することができます。プリ-ジョブは、複数のジョブで使用される要素を保存するために使用することもできます。たとえば、顧客に対してプリ-ジョブを作成し、その顧客のフォントやロゴを保存すると、この情報は多数のジョブに適用され、Synapse InSite を通して利用可能になります。

圧縮されたジョブ データを自動的にインポートするには、プリ-ジョブを作成する必要があります。プリ-ジョブに添付されているホット フォルダにドロップされたジョブ エクスポート圧縮ファイルでは、その圧縮ファイルのファイル名を使用して新規ジョブが自動的に作成されます。新規ジョブの属性 (初期設定やグループなど) は、プリ-ジョブから派生します。

プリ-ジョブは、[ジョブ ファインダ] ウィンドウと Synapse InSite の両方で個別に表示されます。

プリ-ジョブを作成するには

1. ジョブ ファインダで、選択用ホイールから [**プリ-ジョブ**] を選択して、[プリ-ジョブ] 表示を表示します。
2. [**ファイル**] メニューで [**新規プリ-ジョブ**] を選択します。

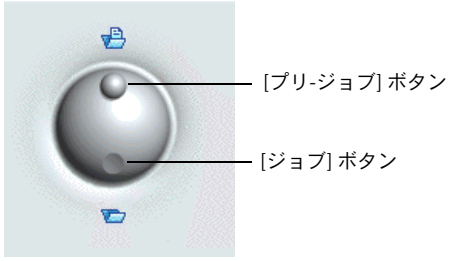


図 20: ジョブ ファインダ選択用ホイール

プリ-ジョブの設定についての詳細な手順は、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

コンテンツ ファイルを準備する

入力ファイル

Prinergy は、PostScript、EPS、PDF、Brisque CT/LW、DCS と DCS2、および TIFF/IT-P1 ファイルを直接受け付けます。

Brisque CT/LW または TIFF/IT-P1 入力ファイルを使用するには、リファイン プロセス計画で、CEPS コンバージョン セクションを使用する必要があります。また、ファイルとスケール ファイルはサンプリングすることもできますが、推奨されていません。

Brisque から出力されない CT/LW ファイルを使用するには、PostScript にファイルを変換する CEPSLink ソフトウェアを使用する必要があります。



詳細については、第 1 章、「使用できるファイルの種類」を参照してください。

該当するファイル タイプの詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

フォント

フォントは、常に入力ファイルに組み込んでください。

フォントが入力ファイルに埋め込まれていない場合、リファイン プロセス中に必ずフォント情報を埋め込むようにします。64 ページの「フォントの埋め込み」を参照してください。

ファイル ストレージ

顧客ファイルは、Prinergy で読み取り可能な、どのサーバーまたはディスクにも保存することができます。



注意: Acrobat を使用してリファインされたページを表示する場合、または**ジョブ ツール バー**を使用する場合、ジョブのホーム ボリュームを共有としてローカル マシンにマウントします。

ジョブの作成

出版で作業を開始する場合、新しいジョブを作成、テンプレート ジョブを使用、またはインポートによりジョブを作成することができます。

新しいジョブの作成

新しいジョブを作成するには

➢ [ジョブ ファインダ] の [**ファイル**] メニューから、[**ジョブの新規作成**] を選択します。または [ジョブ マネージャ] で [**新規**] を選択します。

テンプレート ジョブの使用

他のジョブで再利用できるように、ジョブ設定でプリ-ジョブを設定できます。新規ジョブを作成する際に、テンプレートのプリ-ジョブから以下のいずれかをコピーすることができます。

- ホット フォルダ
- 画像検索パス
- フォント検索パス
- ジョブ ツールバー
- ジョブ属性
- 高度制作自動化 (APA)

テンプレート ジョブを使用するには

1. [ジョブ ファインダ] の [**ファイル**] メニューから、[**ジョブの新規作成**] を選択します。または [ジョブ マネージャ] で [**新規**] を選択します。
2. [ジョブの新規作成] ダイアログ ボックスで、[**オプション**]、[**テンプレート ジョブ**] を順に選択します。

ジョブのインポート

ジョブのインポート、エクスポート圧縮ファイルからの復元インポート プロセス プランはインポート オプションを制御します。

ジョブをインポートするには、以下の手順のいずれか 1 つを行ってください。

- [ジョブ ファインダ] の [**ファイル**] メニューから [**ジョブのインポート**] を選択します。
- [ジョブの新規作成] ダイアログ ボックスの [**ジョブのインポート**] チェックボックスを選択します。
- エクスポート圧縮ファイルをプリ-ジョブ ホット フォルダにドロップします。プリ-ジョブ ホット フォルダは、インポート プロセス プランにリンクした「追加と処理」ファイルのホット フォルダであることが必要です。

  ジョブは、[ジョブの新規作成] ダイアログ ボックスの [ホーム] 領域で指定したサーバーのボリュームに作成されます。



ジョブの一部をインポートすることもできます。詳細な手順については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

ジョブの表示

新規ジョブは、一度作成されると [ジョブ ファインダ] に表示されます。また、PC のエクスプローラまたは Macintosh の Fidner を使用して、ジョブ ボリュームでジョブ フォルダとして、新規ジョブを表示できます。

ジョブ属性およびジョブ ステータスの設定

Prinergy はほとんどのジョブ情報を自動的に生成しますが、いくつかのジョブ属性を任意で定義することができます。ジョブ属性は、ジョブを作成する際、またはその後に [ジョブ ファインダ] で定義することができます。ジョブの属性には、以下が含まれます。

- 最大レイヤー (バージョンで使用)
- プルーフ納期日
- 最終出力の納期
- ジョブ コード
- ジョブ ステータス
- Web アクセスの有効にするかどうかの選択 (Synapse InSite の場合)

ジョブ ステータスの割り当て

ステータスをジョブに手動または自動的に割り当てることができます。ジョブ ステータスには、以下が含まれます。

- 作成済み
- プリプレス
- 最終出力準備完了
- 最終出力完了
- 印刷
- 発送済み
- 完了済み

ほとんどの場合、ジョブ ステータスは手動で設定できます。また、Prinergy を使用して、ジョブのパージを行うときにジョブ ステータスを [完了] に設定できます。[完了] のステータスのジョブは Prinergy のデフォルト データベース レポートには含まれず、顧客向けの Synapse InSite では、デフォルト ジョブ リストに表示されません。

ジョブ ステータスを設定するには、以下のいずれか 1 つを選択します。

- [ジョブ ファインダ] の [**編集**] メニューにある 2 つのジョブ ステータス (完了、プリプレス中) のいずれかを選択します。
- [**編集**] メニューの [**ジョブ属性の編集**] を選択して、すべてのジョブ ステータスの一覧を参照します。

入力ファイルを追加する

ジョブを作成した後、顧客入力ファイルを追加できます。

入力ファイルを追加するには

1. [ジョブ マネージャ] の [**ファイル**] メニューから [**入力ファイルの追加**] を選択します。ファイルの位置を参照して、追加するファイルを選択します。
2. このジョブに入力ファイルを追加するためのホット フォルダを設定した場合は、入力ファイルをホット フォルダにドロップします。
3. 入力ファイルのリファインは、入力ファイルをジョブに追加するとき、またはその後で行うことができます。

ジョブにファイルを追加する場合は、Prinergy にジョブのコンテンツがある場所を指示することになります。Prinergy は、ファイルの場所を説明するファイル関連情報を Oracle データベース中に作成します。

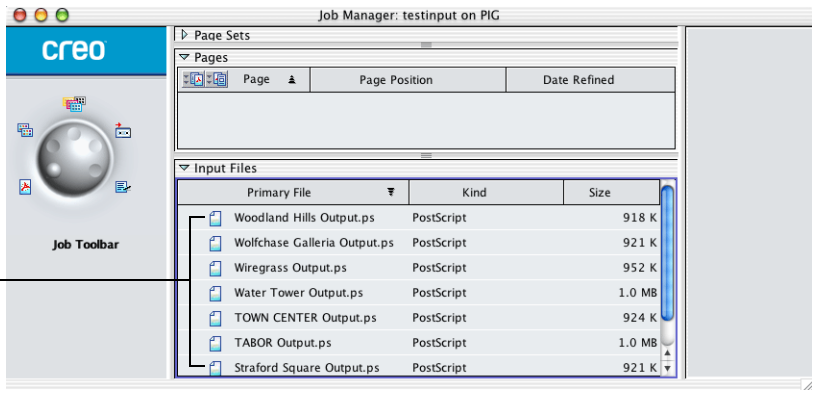


図 21: 入力ファイルは [ジョブ マネージャ] の [ページ] 表示に表示されます

フォントについて

フォントの埋め込み

フォントは、入力ファイルに組み込んでください。フォントが入力ファイルに埋め込まれていない場合、リファイン プロセスに必ずフォント情報を埋め込むようにします。埋め込むフォント情報では、フォントにフォント ベンダーが提供する基準フォーマットである PFA 形式を使用します。フォント コンバータで形式を PFA 形式に変換します。

フォントの変換

Prinergy には 以下の 2 つのバージョンのフォント コンバータがあります。

- グローバル フォント コンバータ
- ジョブ単位のフォント コンバータ

いずれのフォント コンバータも同じように機能しますが、それぞれ変換済みファイルを別々のフォルダに配置します。グローバル フォント コンバータによって変換されたフォントはホーム サーバーに保管され、すべてのジョブに有効です ジョブ単位のフォント コンバータによる変換されたフォントはジョブ フォルダーに保管され、その際のジョブのみに有効です。

フォントがすでに入力ファイルに組み込まれている場合、または PAF 形式の Prinergy が搭載されたベース 193 Adobe フォント対応の場合は、フォント コンバータを使用する必要はありません。

フォントを変換するには

➢ ジョブ マネージャで、[**ツール**] を選択した後で [**グローバル フォント コンバータ**] または [**ジョブ単位のフォント コンバータ**] を選択します。

フォント検索パスの追加

フォント検索パスは、フォントの場所を指定します。以下が正しければ、フォント パスを指定する必要はありません。

- フォントは入力ファイルに組み込まれています (推奨)
- 入力ファイルは、Prinergy に付属の PFA (Printer Font ASCII) 形式のベース 193 Adobe フォントを参照しています

上記以外の場合は、まずフォント コンバータを使用してフォントを PFA 形式に変換し、変換したフォントを Prinergy に追加した後、フォント検索パスを Prinergy ジョブに追加します。

ジョブに対するフォントが複数のフォルダにある場合は、Prinergy によって検索される各フォルダに対して検索パスをそれぞれ追加し、Prinergy によってフォルダが検索される順序を指定します。

フォント検索パスは、新規ジョブの作成時に既存のジョブからコピーできますが、後で [ジョブ マネージャ] から設定することも可能です。フォント検索パスを設定する必要がある場合は、入力ファイルをリファインする前に設定する必要があります。

フォント検索パスを設定するには

➢ [ジョブ マネージャ] の [**編集**] メニューから、[**フォント検索パス**] を選択します。



フォントの変換およびフォント検索パスの追加の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

画像検索パスの追加

OPI を使用して、低解像度の代わりに高解像度の画像を使用する場合は、Prinergy が画像ファイルを検索できるように、ジョブに画像検索パスを入力する必要があります。

ジョブを作成する際に既存のジョブから画像検索パスをコピーできます。また、[ジョブ マネージャ] で画像検索パスを後で設定できます。画像検索パスは、入力ファイルのリファイン前に設定する必要があります。

画像検索パスを設定するには

➢ [ジョブ マネージャ] の [**編集**] メニューから、[**画像検索パス**] を選択します。



画像検索パスの追加の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

データベースのカラーの編集

Prinergy のカラー データベースには、スポット カラーに関する情報が保存されています。全体、または各ジョブで、PANTONE カラーの定義を無効にすることができます。PANTONE カラーのユーザー定義バージョンは、オリジナルの工場設定バージョンより優先されます。

カラー データベースでは、以下のことが可能です。

- カラーを処理するためにスポット カラーを変換する、またはプルーフにスポット カラーをシミュレートする
- コンポジット PostScript および PDF ファイルからのカラー レシピをすべてのページで使用される標準カラー レシピで上書きする
- スポット カラー レシピを含んでいない可能性のある分版された PostScript 用のレシピを提供する
- トラッピング（ニュートラル濃度と不透過度）に必要なインク パラメータを保存する

カラー データベースには、以下の情報が保存されています。

- ニュートラル濃度
- インクの不透明度
- 代用明度およびカラー スペース名 (RGB、CMYK、または L*a*b)
- スクリーニング角度

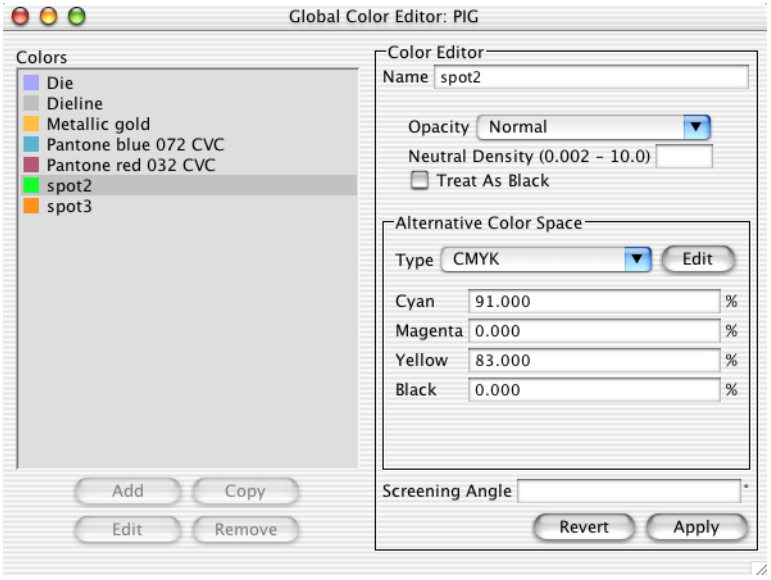


図 22: グローバル カラー エディタ

情報の入力グローバルおよびジョブ単位

Prinergy のカラー エディタを使用して、カラー データベース情報を入力してください。システム全体のカラー情報を定義するには、グローバル カラー エディタを使用してください。各ジョブのカラー情報を定義するには、ジョブ単位のカラー エディタを使用してください。

カラーの定義を PANTONE データベースに追加するには

➢ [ジョブ ファインダ] または [ジョブ マネージャ] で、[**ツール**] メニューから [**グローバル カラー エディタ**] または [**ジョブ単位のカラー エディタ**] のいずれかを選択します。

グローバル カラー データベースに入力されたカラーは、すべてのジョブで利用可能です。ジョブ単位のカラー データベースに入力されたカラーは、1 つのジョブのみで利用可能です。Prinergy がカラー情報を検索する場合、はじめジョブ単位のカラー データベースを検索し、次にグローバル カラー データベースを検索します。

グローバル カラー エディタとジョブ単位のカラー エディタの間で、カラーのコピーができます。たとえば、あるジョブで グローバルに定義されたカラーを変更する場合に、この操作を行います。



カラー情報の詳細および手順については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

6 リファインと割り当てページ

リファインについて 70
リファイン プロセス プラン 71
入力ファイルのリファイン 79
カラー情報の表示と変更 80
面付けプランの作成とインポート 81
ページ セットの追加 83
ページ位置へのページの割り当て 84
ページ ジオメトリの設定 86

リファインについて

リファイン プロセスにより、入力された PostScript ファイル、EPS ファイル、PDF ファイル、および Brisque CT/LW または TIFF/IT-P1 などのその他の形式を、フォントおよび画像が埋め込まれている、独立した PDF ページに変更します。

入力ファイルは、ジョブへの追加時またはジョブへの追加後にリファインできます。

最初のリファイン

最初のリファイン (トラブルシューティング リファインとも呼ぶ) は、ノーマライザー機能に依存します。ノーマライズによって、Prinergy によって処理可能な、PostScript ファイルおよび EPS ファイルが PDF ページに変換されます。

ノーマライザー機能の詳細については、72 ページの「ノーマライズ」を参照してください。

変更後の再リファイン

Prinergy での重要な機能として、最終段階での変更がジョブで可能なことが挙げられます。

ジョブのコンテンツを変更するには

- Acrobat で PDF ページを編集します。
- オリジナル アプリケーションでソース ファイルを編集します。

  オリジナル アプリケーションでソース ファイルを編集した場合、変更されたファイルを再リファインする必要があります。

Prinergy プロセス プランには、最初のリファイン後に実行可能な再リファイン プロセス プランが含まれています。

リファイン プロセス プラン

リファイン機は、ジョブに対して選択したリファイン プロセス プランで設定されているオプションに従って、入力ファイルを処理します。入力ファイルは、ジョブへの追加時、または追加後にリファインできます。

リファイン プロセス プランは、各手順の機能方法、および実行されるオプションの手順を制御します。

リファインには以下の手順が含まれます。

- CEPS コンバージョン
- ノーマライズ
- コピードット
- カラー コンバート
- トラップ
- オプティマイズ
- サムネイル
- 面付け



リファイン プロセス プラン設定の詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

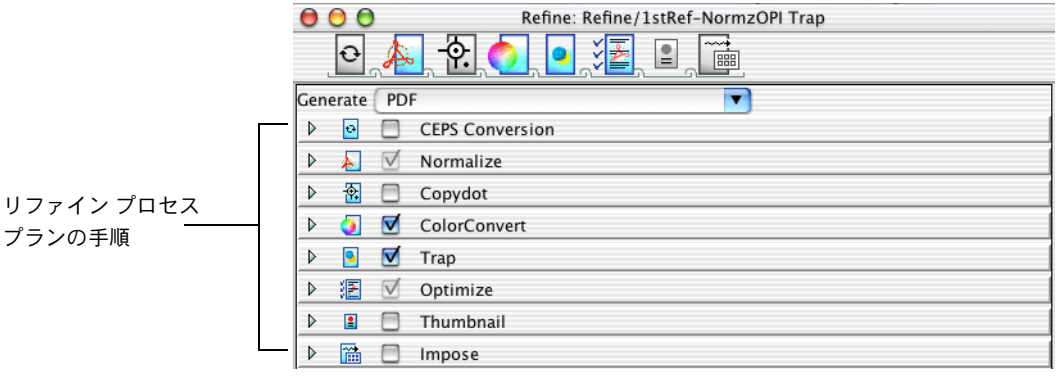


図 23: リファイン プロセス プラン

CEPS コンバージョン

リファイン プロセス プランの [**CEPS コンバージョン**] セクションは、Prinergy での Brisque CT/LW 入力ファイルまたは TIFF/IT-PI 入力ファイルの処理方法を定義します。

[CEPS コンバージョン] セクションでは、ファイルをリサンプルし、解像度を指定できます。また、ファイルはスケールすることもできますが、推奨されていません。



注意: Brisque から Prinergy のファイルを生成する場合は、Prinergy にインポートする前にファイルのトラップとカラー マッチングが行われていることを必ず確認してください。

Prinergy Connect では、TIFF/IT-PI ファイルまたは Brisque CT/LW ファイルを処理しますが、ほかの形式の CT/LW ファイルは処理しません。Prinergy でほかのタイプの CT/LW ファイルを使用するには、まず CEPSLink ソフトウェアを使用して、ファイルを PostScript に変換する必要があります。

ノーマライズ

ノーマライズ プロセスのオプションは以下のとおりです。

- デフォルト ページ サイズ (標準、カスタム、上書き)
- 画像 (OPI (オープン プリプレス インターフェイス) の置換、低解像度、不明)
- フォント処理 (不明、デフォルト)
- 線の処理 (重量、細い線)
- PDF (パスワード) の保護
- 入力設定ファイル (ノーマライザー入力設定のブラウズ)
- 色版 (再コンバイン、ファイル、作成者除外)
- カラー スペース コントロール (検出と無視、警告、または失敗)
- CEPS 検出器

ノーマライズ オプションは、リファイン プロセス プランの [**ノーマライズ**] セクションで設定されます。

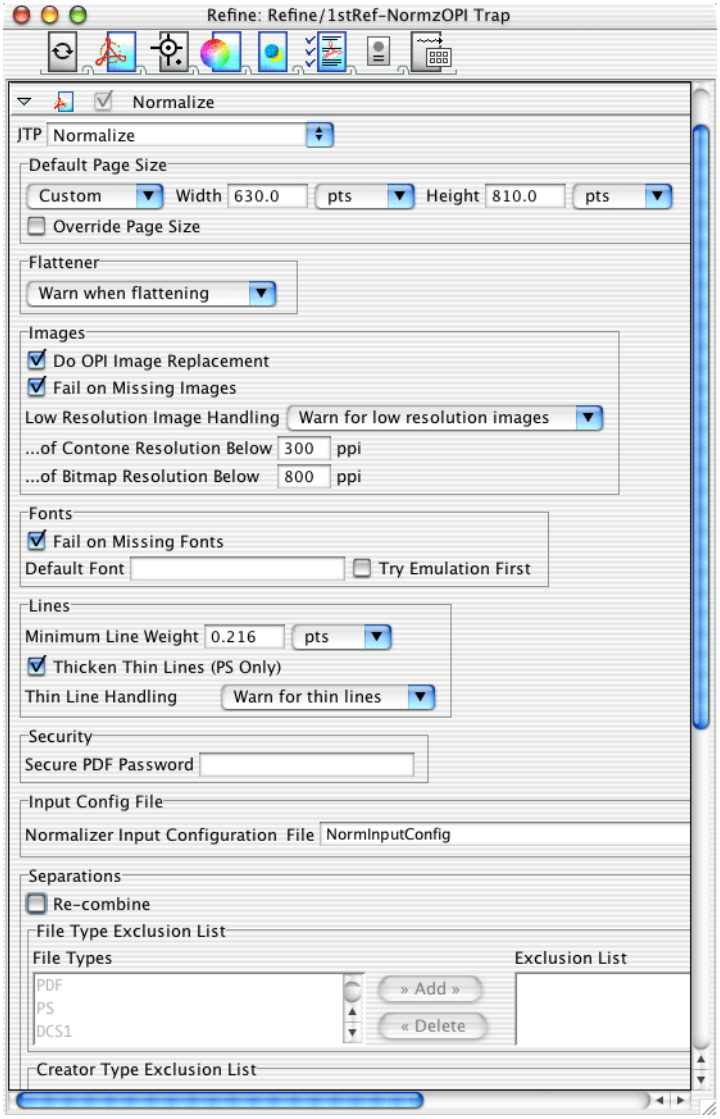


図 24: [ノーマライズ] セクションの一部が表示されているリファイン プロセス プラン

コピードット

リファイン プロセス プランの [**コピードット**] セクションは、コピードット ファイルの処理方法を Prinergy に通知します。

コピードット ファイルは、指定した解像度にリサンプルできます。プロセス プランのこのセクションは、リファインされたページと出力装置のコピードット画像の解像度を同じにするときに使用します。



注意: 調整中ではなく、最終出力中に、コピードット画像をリサンプルできます。

また、[**ファイル**] メニューの [**PDF ファイルの発行**] オプションを使用する場合に Prinergy が使用する、低解像度の代替画像も生成できます。

カラー コンバート

リファイン プロセス プランのカラー コンバートには、次のものがあります。

- スポット カラー マッピング
- カラー マッチング
- オーバープリント変換

スポット カラー マッピング

カラー マッピングとは、入力ファイルのスポット カラーを処理することを指します。Prinergy を使用すると、以下のいずれかを実行できます。

- 入力ファイルのスポット カラーをプロセス カラーに変換する
- 入力ファイル内のスポット カラー定義を維持する

[カラー マッピング] ダイアログ ボックスを使用して、エイリアス カラー名を追加、カラーを互いにまたはエイリアス カラー名にマップ、カラー印刷順序を指定、カラー定義をジョブ単位のカラー エディタに追加、およびカラー定義をジョブ単位のカラー エディタで編集します。[カラー マッピング] ダイアログ ボックスで設定されたオプションが、再リファイン プロセス中に実行されます。カラー マッピングには、リファイン プロセス プランの開始ダイアログからアクセスできます。

面付けされたプルーフと最終出力の場合のみ、[カラー分版] ダイアログ ボックスを使用してジョブ内のカラー分版を管理します。

カラー分版のマッピングの詳細については、第 8 章、「プルーフ、版、およびフィルム」の「出力のカラー管理」を参照してください。

カラー マッチング

カラー マッチングとは、1 つのカラー スペースを別のカラー スペースに変換する場合 (例: RGB から CMYK) にカラーの一貫性を維持することを指します。ICC (International Color Consortium) ターゲットは、出力準備がファイルで完了している場合にデバイス スペースにマップするために使用されます。これによって、カラー モデルと出力デバイス間でカラーの一貫性が維持されます。

RGB 画像および RGB グラフィックに対するデフォルトにより、それらの画像やグラフィックは Prinergy に付属の標準 ICC プロファイルを使用して CMYK に変換されます。

入力ファイルに埋め込まれているプロファイルは、リファイン プロセス プランの [**カラー マッチング**] セクションで指定したプロファイルを使用して上書きすることを選択できます。

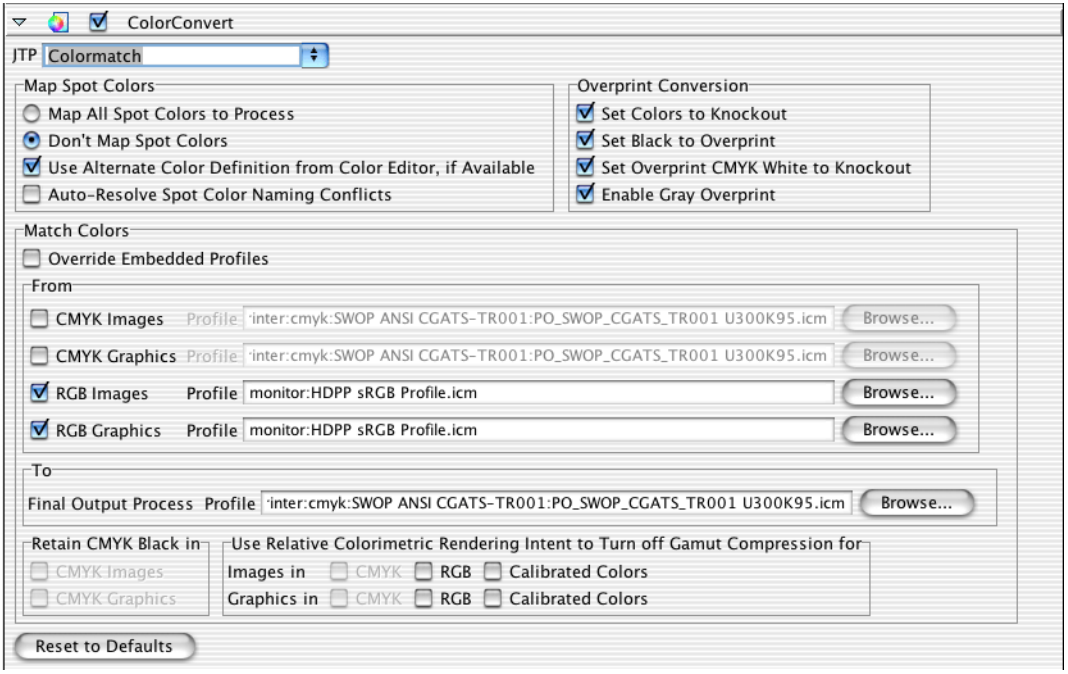


図 25: リファイン プロセスのカラー変換

オーバープリント変換

リファイン プロセスは、自動および手動でオーバープリントとノックアウトを処理します。

手動機能を使用するには、リファイン プロセス プランでオプションを設定します。設定できる内容は、以下のとおりです。

- ノックアウトするカラー。入力ファイルでオーバープリント設定を上書きします。
- オーバープリントに対するブラック

手動オーバープリント変換設定を選択したかどうかにかかわらず、Prinergy では、一部の自動オーバープリント変換と自動ノックアウト変換 (ホワイト ノックアウト、ダイライン (抜き型) オーバープリント、透明オーバープリント、および色版ブラックへのグレー CT 変換) を実行します。



カラー変換と手動および自動オーバープリント変換の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

トラップ

Prinergy ワークフローを使用すると、以下の複数の方法でトラップすることが可能です。

- QuarkXPress™ または Adobe PageMaker® などのページ作成ソフトウェアで直接トラッピングを行う
- ダウンストリーム トラッピングの準備として、プラグインのトラップ パラメーターをページ作成アプリケーションに定義してトラッピングを行う
- リファイン プロセス中の Prinergy でトラッピングを行う

Prinergy でのトラッピングをお勧めします。Creo PDF トラッパーには、他の方法と比較して以下のような利点があります。

- より高速で解像度の独立性が維持される
- スプレッド、チョーク、およびセンター トラップが可能
- Prinergy に付属する Acrobat のプラグインである Creo PDF Trap Viewer に表示されるトラップの作成が可能
- Acrobat の別売のプラグインである Creo PDF Trap Editor とインタラクティブに編集可能なトラップを作成できます。Advanced Trap Editor は特にパッケージング ワークフロー用に設計されています。

Prinergy は、バッチ トラッピングとも呼ばれる [プロセス プランのリファイン] の [**トラップ**] セクションに設定された、トラッピング パラメータを使用します。トラップの調整が必要な場合は、Trap Editor プラグインを使用してページの再トラップまたは個々のトラップの変更を行うか、異なるプロセス プラン オプションを使用して再リファインすることができます。



バッチ (Trap JTP) および手動 (Acrobat プラグイン) トラッピングの詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプ、および Creo PDF Trapper のオンライン ヘルプとクイック スタート ガイドを参照してください。

オプティマイズ

リファイン プロセス プランの [**オプティマイズ**] セクションは、Prinergy における入力ファイル内の高解像度の画像のオプティマイズ方法を定義します。

また、[**オプティマイズ**] セクションでは、入力ファイル内の画像の代替低解像度のバージョンを生成することもできます。代替画像は、以下の目的のために使用されます。

- Prinergy Workshop の [**PDF ファイルの発行**] メニュー オプションで使用します。
- Prinergy InSite でダウンロードされた PDF プルーフで使用します。
- View Accelerator プラグインで使用して、Acrobat での画像の表示速度を向上させます。

サムネイル

サムネイルは、ページの低解像度のサンプル画像です。サムネイルを生成するには、[**サムネイル**] 表示が選択されているリファイン プロセス プランを使用します。一覧表示を使用する場合は、サムネイルを生成する必要はありません。

リファイン中にサムネイルを生成しなかった場合に、サムネイル表示を使用すると、Prinergy では空白のサムネイルが表示されます。

面付け

リファイン プロセス プランの [**面付け**] セクションは、リファイン プロセス後の Prinergy による面付けの自動処理方法を定義します。

Prinergy は、以下を実行するよう設定できます。

- 入力ファイルをフラットとして処理する

Prinergy では入力ファイルがリファインされ、ページ セットと面付けプランが自動的に作成および設定されます。

- ページ セットを作成しページを割り当てる

  Prinergy では入力ファイルがリファインされ、ページ セットが作成され、入力ファイルのページ順序に基づいてページがページ セットに割り当てられます。

- ページを自動的に割り当てる

  Prinergy では、JobFolder\Control フォルダに保存されている APA ファイル (<filename>.apa) の指示に従って、PDF のページをページ セットの位置に自動的に割り当てるようにライセンスが付与されます。このオプションには、ページを再送信した場合の処理を決定するサブオプションがあります。サブオプションは、以下を実行するかどうかを決定します。

  - ジョブ設定を使用して、割り当てを維持する (新しいページはページ位置に自動的に割り当てられない)
  - ジョブ設定を使用して、割り当てを上書きする (ページ セット内の既存のページを上書きすることにより、新しいページはページ位置に自動的に割り当てられる)

85 ページの「ページの自動割り当て」も参照してください。

入力ファイルのリファイン

入力ファイルをリファインするには

1. [ジョブ マネージャ] で選択用ホイールを使用し、[**ページ**] 表示を選択します。
2. [**表示**] ペインの [**入力ファイル**] セクションで、リファインする入力ファイルを選択します (複数選択も可)。
3. [**リファイン**] メニューからリファイン グループを選択し、使用するプロセス プランを選択します。

   [リファイン プロセスの開始] ダイアログ ボックスには、入力ファイル、プロセス プラン、およびプロセス優先度が表示されます。

注意: 使用するプロセス プランが**ユーザー ツールバー**または**ジョブ ツールバー**で設定されている場合、そのプロセス プランの隣にあるボタンをクリックすると、リファイン プロセスを起動できます。

4. 情報が正しい場合は、[**OK**] をクリックします。

   リファイン プロセスが開始します。

5. [プロセス情報] ウィンドウでジョブを監視します。

   ジョブの監視の詳細については、第 7 章、「ジョブの監視」を参照してください。

   プロセスが完了すると、リファインされたページが [表示] ペインの [ページ] セクションに表示されます。

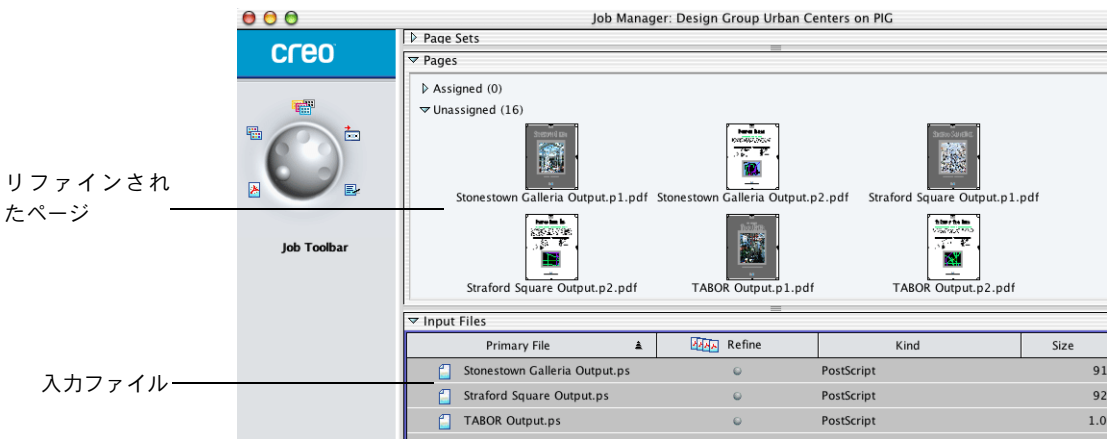


図 26: ジョブ マネージャの [ページ] 表示に表示されたリファインされたページ

カラー情報の表示と変更

ジョブのカラー情報は [ページ] 表示または [色版] 表示のいずれかに表示できます。

ジョブ マネージャの [ページ] 表示の [**ページ**] セクションでは、リファインされた PDF ページにあるカラー名が表示されます。カラーは、[ページ] セクションの [表示項目] ダイアログ ボックスで [**ページ カラー**] を選択している場合に表示されます。ファイルはさらにカラー変換し再リファインすることができます。

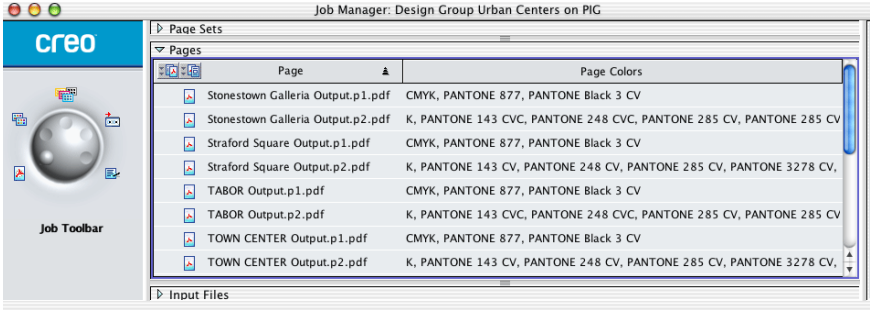
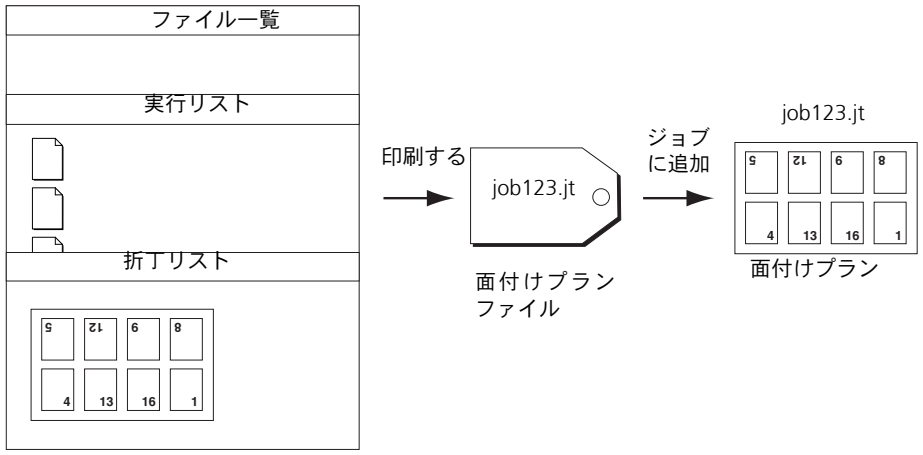


図 27: [ページ] 表示でのカラーの表示

[色版] 表示を使用してカラーを表示する方法については、第 8 章、「出力のカラー管理」 を参照してください。

面付けプランの作成とインポート

ソフトウェアで面付けを Adobe Portable Job Ticket ファイル (.jt) として保存できる面付けプランを作成します。たとえば、Preps® を使用することができます。



面付けソフトウェア (Preps またはその他のソフトウェア)

図 28: 面付け指示をジョブ チケット ファイル (*.jt) として保存する

この時点で、Prinergy に追加するために作成した面付けプランには、通常ページ コンテンツは存在しません (Prinergy は Pandora ソフトウェアで作成されたジョブ チケットを受け付けますが、それらは通常、Prinergy Powerpack の顧客が包装用にのみ使用します。

対応するマーク ファイルは、PostScript または PDF として送信できます。PostScript として送信される場合、Prinergy はそれを自動的に PDF にノーマライズします。面付けプランの作成と保存の詳細については、面付けソフトウェアのマニュアルを参照してください。新しい面付けは、ジョブを出力する前に再度インポートすることができます。



対象となる面付けソフトウェアのリストについては Prinergy オンライン ヘルプを参照するか、Response Center にお問い合わせください。

ジョブに面付けをインポートするには

➢ [ジョブ マネージャ] で、[ファイル] メニューの [**面付けのインポート**] または [**バージョン面付けのインポート**] をクリックします。

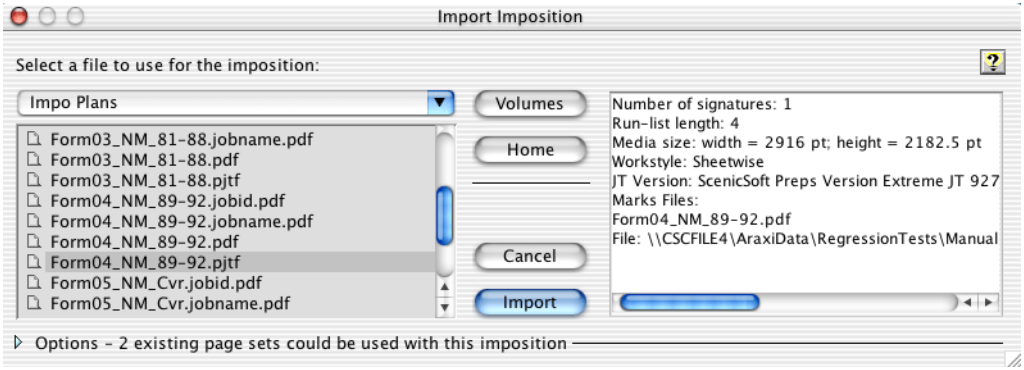


図 29: 面付けプランのインポート

ページ セットの追加

面付けプランが登録され、ページセットにリンクされた後または前に、ページは、ページ セット内のページ位置に割り当てられます。リンクされた面付けプランをページ位置の割り当てに影響を与えずに変更できます。また、面付けに影響を与えずに、ページ位置を再度割り当てまたはページ セットのページ コンテンツを置換できます。複数のページ位置にページを割り当てることができます。

Prinergy は、面付けプランをインポートする際に自動的にページ セットを追加しますが、手動でページ セットを追加することもできます。

面付けプランから独立したページ セットにより、最終段階でのプレス変更、およびジョブの異なる部分を異なるデバイスに出力することが可能です。

一般的に、他と別に印刷される各折丁には、別のペーパー ストックなどに別のページ セットを追加する必要があります。たとえば、出版物の表紙と中のページで、別のページ セットを追加することもできます。

ページ セットを追加するには

- [ジョブ マネージャ] の [**ファイル**] メニューから [**ページ セットの追加**] を選択します。

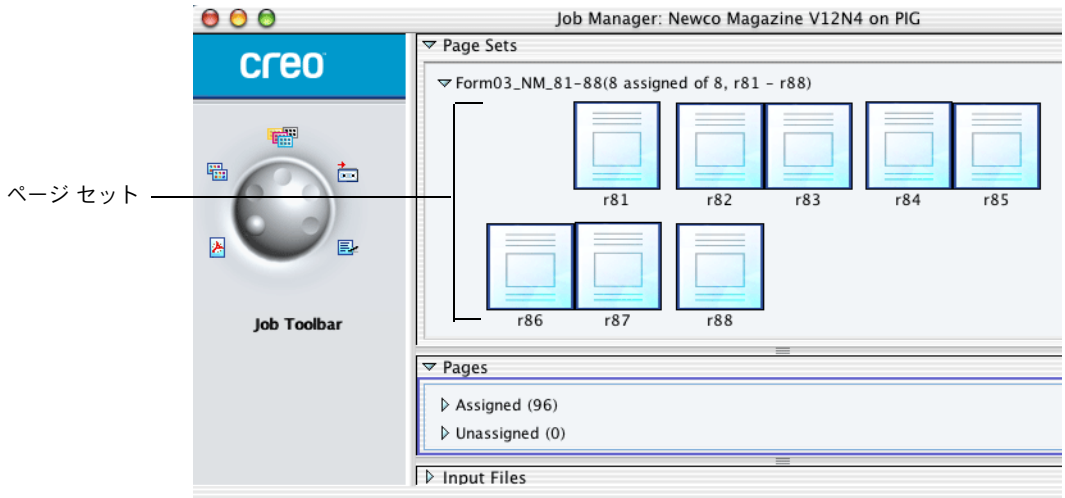


図 30: ページ セットは、[ジョブ マネージャ] の [ページ] 表示に表示されます。

ページ セットの使用方法の詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

ページ位置へのページの割り当て

手動による割り当て ページ

リファイン後、PDF ページをページセットに割り当てることができます。以下の場所にページを割り当てることができます。

- [ジョブ マネージャ] の [**ページ**] 表示のページ セット
- [ジョブ マネージャ] の [**折丁**] 表示の面付けプラン
- [**割り当て**] メニュー オプションのある一覧表示

ページをページ セットのページ位置に割り当てると、ページは面付けプラン内のページ セットがリンクされている正しい位置に自動的に割り当てられます。

同様に、面付けプランの位置にページを割り当てる場合、ページは対応するページ セットの正しい位置に自動的に割当てられます。

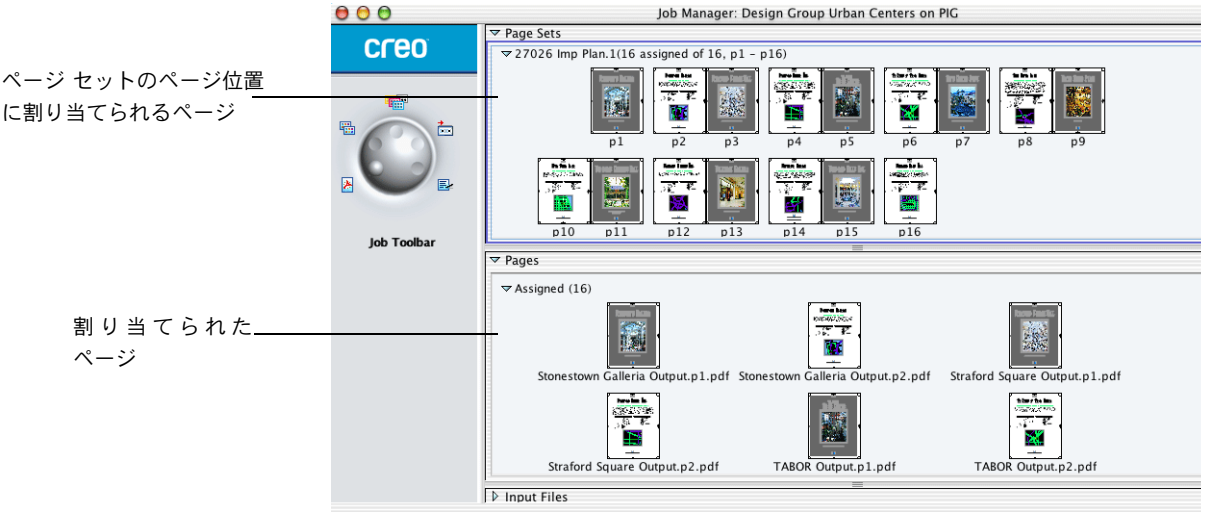


図 31: ページ位置に割り当てられたページ

ページをページ位置に割り当てるには、次のいずれかを実行します。

- PDF ページをページ セットのページ位置にドラッグ アンド ドロップする ([**サムネイルとして**] のみ表示)
- [**ページ位置へのページの割り当て**] メニュー コマンドと [ページ セット位置へのページの割り当て] ダイアログ ボックスを使用する
- 高度制作自動化 (APA) ファイルを使用する



ページの割り当ての詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

ページの自動割り当て

高度制作自動化 (APA) ファイルを使用すると、リファイン中にページをページ位置に自動的に割り当てることができます。

APA ファイルはテキスト ファイルで、どのページ位置にどの PDF ページを割当てるか Prinergy に指示します。同じ APA ファイルを使用して、ページ ジオメトリを設定することもできます。

APA ファイルを使用するには、リファイン プロセス プランの [**面付け**] セクションにある APA オプションを選択します。リファイン中、Prinergy では PDF ファイルを作成した後、APA ファイルを呼び出します。APA ファイルの指示を使用して、Prinergy は、各 PDF ページをページ位置に自動的に割り当てます。



APA ファイルの作成方法の詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

ページ ジオメトリの設定

Prinergy を使用すると、以下の複数の方法でページ ジオメトリ設定を PDF ページに追加することが可能です。

- Prinergy は、Adobe PageMaker および QuarkXPress ファイルから生成された PostScript に含まれる見当マークからオフセットを適用します。
- Prinergy の [ページ ジオメトリ設定] ダイアログ ボックスを使用して、トリミング サイズ、オフセット、および方向を制御することができます。適用する測定値が分かっている場合にはこの方法を適用します。
- Prinergy には、ページのトリム サイズを視覚的に設定できる Adobe Acrobat (Prinergy Geometry Editor) のプラグインが含まれています。プラグインは、次のように使用すると効果的です。
  - PDF 入力ファイルでは、PDF ファイルをジョブに追加する前にプラグインのトリミング サイズを設定します。PDF 入力ファイルをリファインする場合、システムは Prinergy の [ページ ジオメトリの設定] ダイアログ ボックスに表示できるトリム サイズを維持します。
  - リファインされたページでは、プラグインを使用してトリミング ボックスを表示します。
  - シングル ページでは、プラグインを使用してトリミング サイズを視覚的に設定します。測定値をメモします。同じトリミング サイズに設定するすべてのページを [ジョブ マネージャ] から選択し、[ページ ジオメトリの設定] ダイアログ ボックスを使用して、それらのページのトリミング サイズを設定します。
- APA ファイルを使用してリファイン プロセスの最後にページ ジオメトリを自動的に設定します。



ページ ジオメトリと APA の詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

Prinergy にページ ジオメトリを設定するには

1. [ジョブ マネージャ] の [選択ホイール] を使用して、[**ページ**] 表示または [**折丁**] 表示を選択します。
2. [**表示**] ペインの [**ページ**] セクションから、単数または複数ページを選択します。
3. [**編集**] メニューから、[**ページ ジオメトリの設定**] を選択します。

[ページ　ジオメトリ] ダイアログ　ボックスが表示されます。 Adobe PageMaker または QuarkXPress の入力ファイルにジオメトリ設定が含まれている場合は、それらの値はダイアログ ボックスに表示されます。ジオメトリ設定が存在しない場合は、ダイアログ ボックスはデフォルトの値を表示します。

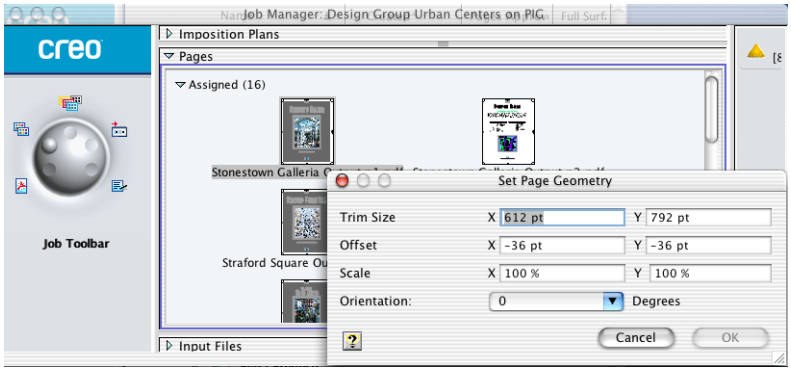


図 32: ページ ジオメトリ ダイアログ ボックスの設定

7

ジョブの監視

ジョブの監視 90
アクティブなプロセスのチェック 90
ジョブ キューの確認 94
ジョブ履歴のチェック 97
リムーバブル記憶域メディアのチェック 98
システム履歴のチェック 98

ジョブの監視

ジョブの活動は、複数の場所で監視できます。

確認するには...	使用するプラン	参照するもの
現在アクティブなプロセス	ジョブ マネージャの [**アクティブなプロセス**] ペインと動的な列	90 ページ
アクティブなプロセスに関する詳細	[プロセス情報] ダイアログ ボックス	92 ページ
キューとアクティブ ジョブ プロセスのステータス	キュー マネージャ	94 ページ
すべてのジョブ活動の詳細	ジョブ マネージャの[**履歴**] 表示	97 ページ

アクティブなプロセスのチェック

リファインなどのジョブのプロセスを開始すると、ジョブ マネージャの [**アクティブなプロセス**] ペインにはプロセスの基本情報が表示されます。[**アクティブなプロセス**] ペインからプロセスの一時停止、再開、開始、および停止を行うことができます。

図 33 は、[**アクティブなプロセス**] ペインのサンプルを示しています。Prinergy で表示される活動ステータス アイコンと状況ステータス アイコンの詳細については、表 1および表 2を参照してください。

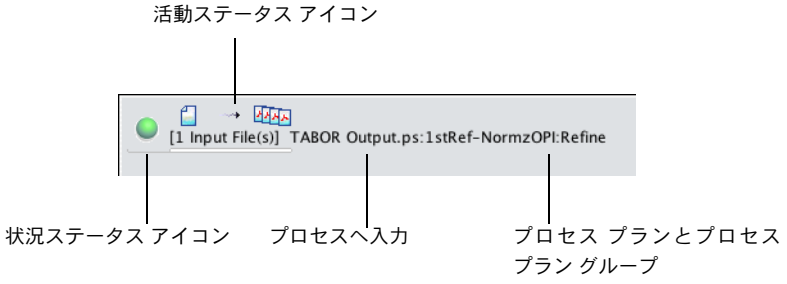


図 33: 活動プロセス ウィンドウ枠

表 1: 活動ステータス アイコン

アイコン	プロセス	説明
	キューに置かれている	プロセスがキューに置かれています。このアイコンは動的な列には表示されません。
	アクティブ	プロセスはアクティブです。
	一時停止	動的な列に結果が表示されないため、このプロセスは一時停止されています。
	終了	プロセスが完了しました。

表 2: 状況ステータス

アイコン	状況は…	説明
	現在の状況ステータスがない	プロセスは存在しますが、まだ開始していません。
	キューに置かれている	プロセスがキューに置かれています。
	アクティブ	プロセスは正常に進行しています。
	終了 - OK	プロセスが完了しました。
	ユーザーの介入を待っている	システムはユーザー介入を待っています。
	システム リソースを待っている	システムはシステム リソースを待っています。たとえば、アーカイブまたは取得プロセスは、テープまたはドライブを待っています。
	警告	警告メッセージが表示されました。
	エラー	エラー メッセージが表示されたか、またはユーザーの要求によりプロセスが停止されました。
(アイコンなし)	アクティブなプロセスの後ろにある濃い灰色の背景	濃い灰色の背景は、プロセスがアクティブであるものの進行していないことを示しています。プロセスのトラブルシューティングを開始します。キュー マネージャまたはサーバーをチェックします。

[プロセス情報] ダイアログ ボックス

アクティブなプロセスの詳細については、[**アクティブなプロセス**] ペインのアイコンセットをダブルクリックしてください。[プロセス情報] ダイアログ ボックスが表示されます。

- プロセス情報 ダイアログ ボックスの [**プロセス詳細**] はシステム メッセージを表示します。
- [プロセス情報] ダイアログ ボックスの [**プロセス要素**] セクションには、関連する要素に関する情報が表示されます。

注意: プロセスが完了した後は、ジョブ履歴でこれらの詳細を参照できます。詳細については、97 ページの「ジョブ履歴のチェック」を参照してください。

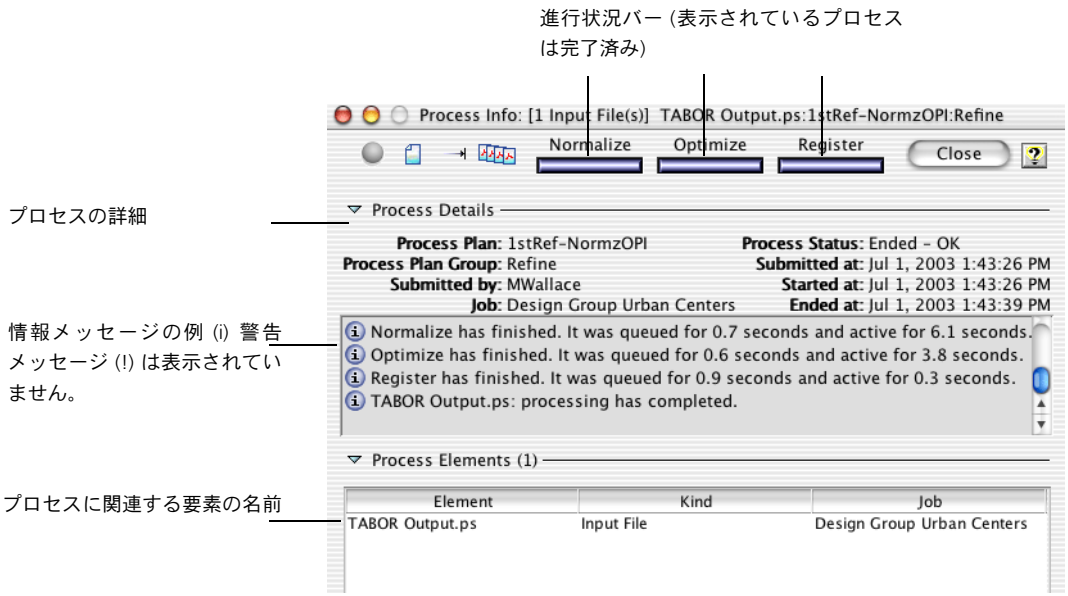


図 34: [プロセス情報] ダイアログボックス

動的な列

プロセスが開始すると、ジョブ マネージャに動的な列が表示されます。活動ステータスと状況ステータス アイコンで、プロセスが正常に進行しているか、または Prinergy が警告やエラー メッセージを表示しているかを確認します。

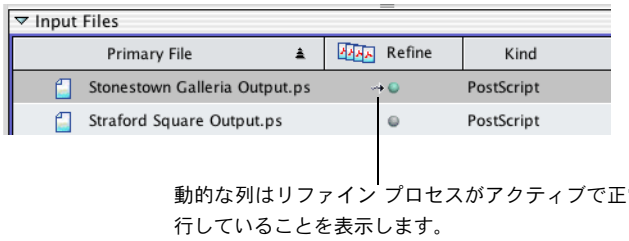


図 35: 動的な列

ジョブ キューの確認

キュー マネージャでアクティブ ジョブ プロセスと キュー ジョブ プロセスを確認します。以下のことが可能になります

- プロセスの一覧を表示する (JTP またはプロセス タイプ別)
- プロセスを一時停止、再開、開始、または停止する
- プロセス優先順位を設定し、最優先ジョブを優先して行い、低い優先度のジョブは後に行うように設定します。

アクティブ ジョブとキュー ジョブを確認するには

➢ ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの [**ツール**] メニューから [**キュー マネージャ**] を選択します。

[JTP キュー] 表示

[**JTP キュー**] 表示を使用すると、別の JTP (Job Ticket Processor) にあるアクティブなジョブ プロセスを表示できます。Prinergy プライマリ サーバーでは、システムにインストールされライセンスが付与されているすべての JTP の一覧を確認できます。次のような JTP があります。

- ノーマライズおよびオプティマイズ JTP
- カラー マッチングおよびトラップ JTP
- プルーフおよび最終出力 RIP
- アーカイブ/リトリーブおよびディスク パージ JTP
- インポート/エクスポート JTP
- コピードットおよび CEPS コンバージョン JTP

JTP に対してアクティブなプロセスを表示するには

➢ [キュー マネージャ] ウィンドウの左側にある JTP アイコンをクリックします。

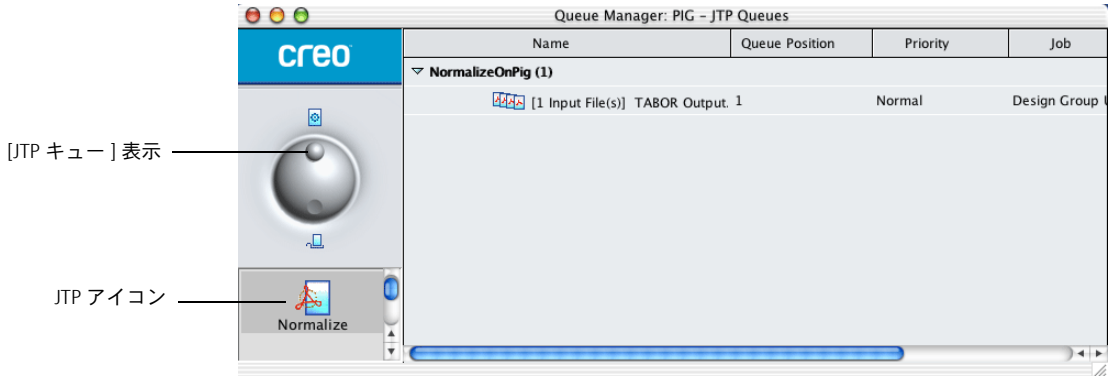


図 36: [キュー マネージャ] ウィンドウの [JTP キュー] 表示

[プロセス タイプ] 表示

Prinergy のプロセス タイプには以下のものが含まれます。

- リファイン
- 単ページプルーフおよび面付けプルーフ
- 最終出力
- ストレージ
- インポート/エクスポート

プロセス タイプに対してアクティブなジョブ プロセスを表示するには

➢ [キュー マネージャ] ウィンドウのプロセス タイプのアイコンをクリックします。

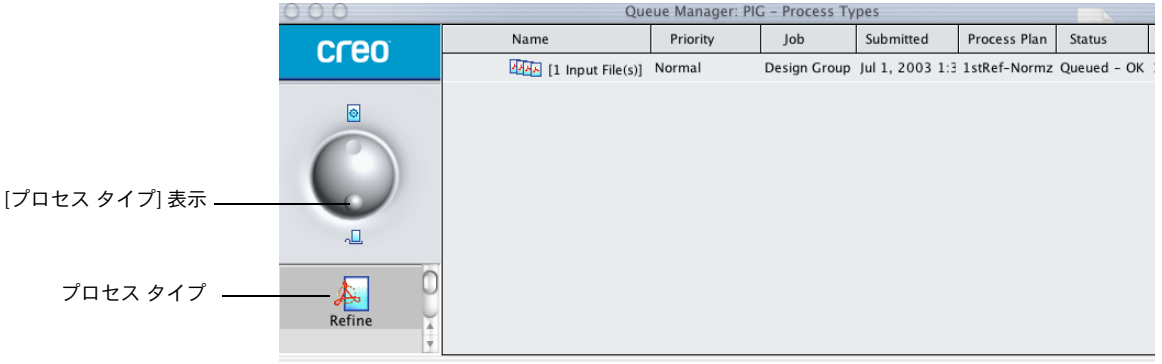


図 37: [キュー マネージャ] ウィンドウの [プロセス タイプ] 表示

ジョブ履歴のチェック

ジョブ マネージャの [**履歴**] 表示を使用して、ジョブ履歴を確認します。

各ジョブの履歴が以下のように表示されます。

- ジョブに対して行われた各操作の説明
- 操作が行われた日付と時間
- 各操作に対する個々のメッセージ
- メッセージの重要度

プロセスがアクティブな場合は、同じメッセージが [プロセス情報] ダイアログ ボックスに表示されます。

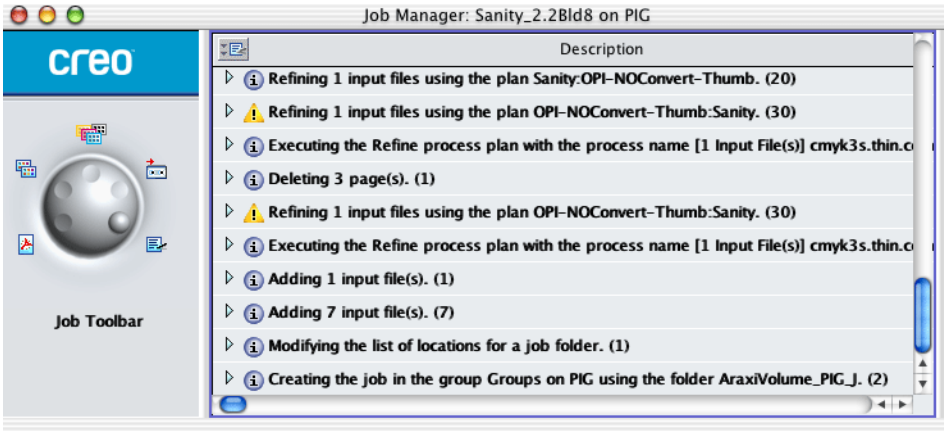


図 38: [ジョブ マネージャ] ウィンドウの [履歴] 表示

リムーバブル記憶域メディアのチェック

メディア マネージャ は、Prinergy Workshop ツールです。システムのリムーバブル記憶域メディアに関する情報を表示できます。システムに Prinergy Archiver のライセンスが付与されている場合のみ、メディア マネージャを利用できます。

システムのリムーバブル記憶域メディアに関する情報を取得するには

- [ジョブ ファインダ] ウィンドウまたは [ジョブ マネージャ] ウィンドウの [**ツール**] メニューから [**メディア マネージャ**] を選択します。

[メディア マネージャ] には、システムのすべてのメディア プールの一覧が表示されます。1 つまたは複数のプールを選択して、そのプールのメディアに関する詳細情報 (メディア タイプ、場所、空き領域など) を表示できます。[メディア マネージャ] で、Prinergy Archiver で使用される可能性のあるメディア プールだけではなく、すべての RSM (Removable Storage Manager) メディア プールに関する情報が表示されます。



記憶域メディアの管理の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

システム履歴のチェック

システム履歴では、ジョブ コンテキスト以外で発生する操作に関するメッセージを表示するだけではなく、履歴をアーカイブ、パージ、およびリトリーブすることができます。

これによって、各ジョブを開く必要なく複数のアーカイブ、パージおよび取得の結果をチェックできます。たとえば、多くのアーカイブ ジョブが夜通しで実行するためにキューに置かれ、翌朝そのジョブの結果を確認する場合に役立ちます。その際に、各ジョブを開き [**履歴**] 表示をチェックする必要はありません。

システム履歴を表示するには

- ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの [**ツール**] メニューから [**システム履歴**] を選択します。



システム履歴の表示の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

8 プルーフ、版、およびフィルム

プルーフの作成 100
単ページのプルーフ 101
プルーフ 面付けページ 103
出力のカラー管理 104
ページと用紙マーク 106
キャリブレーション 107
スクリーニング 108
プルーフの承認 109
版やフィルムの作成 110
Web growth と他のひずみの補正 110

プルーフの作成

Prinergy では、ページ、面付け、または個々の面のプルーフを作成できます。画面上 (ソフト プルーフ) で表示するためのプルーフを作成したり、異なるタイプの出力デバイスにプルーフを送信したりできます。各タイプのプルーフの承認ステータスを追跡できます。

Adobe Acrobat でページの表示が可能なプルーフを作成する必要はありません。表 3に表示されている他のプルーフ オプションには、プロセス プランでオプションを設定してプルーフを作成します。プルーフ作成には 2 通りのプロセス プランがあります。

- 個別の面付けされていないページ用単ページ出力 プロセス プラン
- 面付け プルーフの出力プロセス プラン (面付けページ用)

表 3: プルーフ オプション

ページの種類	Prinergy のプルーフ オプション
単ページ (面付けされていない) ページ	• Adobe Acrobat で表示 • Virtual Proof ソフトウェアによるソフト プルーフ • プリンタまたはプルーファーでハードコピー プルーフを印刷する • [**PDF ファイルの発行**] オプションを使用して、指定されたフォルダにある PDF ファイルにページを送信する
面付けページ	• Virtual Proof によるソフト プルーフ • プルーフ デバイスでハードコピー プルーフを印刷する

単ページのプルーフ

単ページ出力プロセス プランを使用して、プルーフ作成のために面付けされていないページを利用可能なデバイスに出力します。単ページ出力プロセス プランは出力メディアにある面付けされていないページのレイアウトをコントロールします。

Adobe Acrobat、[**PDF ファイルの発行**] オプション、単ページ中綴じ面付け、およびVirtual Proof により、単ページのプルーフ用の追加オプションが提供されています。

リファインされたページの単プルーフは、ページ セットの位置に指定する前または後に作成できます。リファインされたページの単プルーフは、ジョブに面付けプランを追加する前に作成できます。

面付けプランにリンク付けされているページ セットに割り当てられたページの単プルーフを作成する場合、トリムおよび裁ち幅ラインが出力プロセス プランに構成されていれば、単プルーフには面付けプランのトリムおよび裁ち幅ラインが含まれます。



単ページ出力プロセス プランの詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

Adobe Acrobat

Adobe Acrobat を使用すると、PDF ページを簡単に表示できます。Adobe Acrobat でページを表示できるように、プルーフを作成する必要はありません。入力ファイルをリファインしたら、ジョブ マネージャの [ページ] 表示にある [**ページ**] セクションの [ページ] をダブルクリックして、PDF ファイルを表示します。

Acrobat の Creo PDF Trap Viewer プラグインを使用してトラップを表示したり、Separation Viewer プラグインを使用して色版を表示することができます。リファイン過程で画像を生成した場合は、View Accelerator プラグインを用いてページをすばやく表示することができます。

Prinergy プラグインの詳細については、第 1 章、「Acrobat プラグイン」を参照してください。

単ページ中綴じ面付け

中綴じ製本用に選択したページやページ位置を面付けできます。双方向送信が可能になると、レーザー プリンタから双方向送信可能な 2 つの折丁を作成できます。折込が済めば、これは最終冊子の大まかなサンプルとして活用できます。[**中綴じ小冊子**] オプションは、単ページ出力プロセス プランの [レイアウト] セクションにあります。

[PDF ファイルの発行] オプション

[PDF ファイルの発行] オプションを使用して、指定されたフォルダの 1 つまたは複数の PDF ファイルにページを送信します。以下の選択肢があります。

- ページの低解像度および高解像度バージョン
- 1 ページに 1 ファイル、またはすべての選択ページに 1 ファイル

PDF ページを PDF ファイルに送信するには

- ジョブ マネージャで、送信する PDF ページを選択し、[**ファイル**] メニューの [**PDF ファイルの発行**] を選択します。

Virtual Proof ソフトウェア

Virtual Proof を使用して、Macintosh または Windows コンピュータ上のジョブのソフト プルーフを行います。シングル ページまたは面付けページを表示できます。Virtual Proof を使用して、バックアップ、ドブの測定値、裁ち幅、見当、マーク、カラー ブレイク、トラッピング、および面付けのプルーフを行います。



Virtual Proof の使用についての詳細は、『Virtual Proof ユーザー ガイド』を参照してください。

プルーフ 面付けページ

面付けプランをジョブにインポートし、その面付けプランにリンクされているページ セットにページを割り当てたら、面付けされたプルーフを作成して結果を表示できます。面付けされたプルーフを使用して、プルーファーの面付けされたフラットのプルーフを印刷します。面付けされたプルーフのプロセス プランにより、出力が制御されます。

面付けされたソフト プルーフを作成して、Macintosh コンピュータ上の Virtual Proof ソフトウェアで表示できます。

Web Growth プロファイルを色版にリンクすることで、面付けされたプルーフの Web Growth の補正をプルーフすることができます。

Web Growth の補正の詳細については、110 ページの「Web growth と他のひずみの補正」を参照してください。



面付けされたプルーフ プロセス プランの詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

出力のカラー管理

面付けされたプルーフ出力と最終出力用に、カラーをマップして印刷順序を変更できます。

カラー分版のマッピング

面付けされたプルーフ出力と最終出力のために、出力用のカラーを表示およびマップできます。[色版] 表示を選択して、異なる折丁に対するカラー分版を表示します。[**ステップ & リピート**] 表示で、面付けプランを選択して、面のカラー分版を編集します。

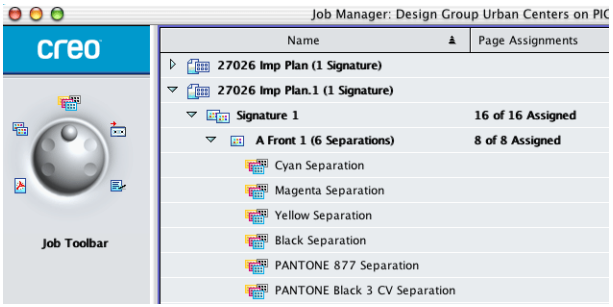


図 39: [色版] 表示でのカラーの表示

出力用のカラーをマップするには

1. [**ステップ & リピート**] 表示で折丁または面を選択します。

   または

   [**色版**] 表示で折丁または面を選択します。

2. ジョブ マネージャの [**編集**] メニューから、[**カラー分版**] を選択します。

   [カラー分版] ダイアログ ボックスが表示されます。

   [カラー分版] ダイアログ ボックスには、選択された面に割り当てられたページで見つかったすべてのカラーが一覧表示されます。[カラー分版] ダイアログ ボックスで設定されたスポット カラー マッピングは、面付けされたプルーフおよび最終出力にのみ適用されます。このダイアログ ボックスを使用して、カラーを出力するかどうか、およびスポット カラーの処理方法を指定します。

3. 必要に応じてカラーをマップします。

4. 終了したら [**OK**] をクリックします。



出力カラーのマップの詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

印刷順序の変更

面付けされたプルーフ出力と最終出力では、[印刷順序] ダイアログボックスを使用して、ジョブの折丁からカラー分版を出力する順序を指定します。[カラー印刷順序] ダイアログ ボックスで指定したカラー順序は、[ジョブ マネージャ] ウィンドウの [色版] 表示に表示されます。

出力用の印刷順序を変更するには

1. [**ステップ & リピート**] 表示で折丁または面を選択します。

   または

   [**色版**] 表示で折丁または面を選択します。

2. ジョブ マネージャの [**編集**] メニューから、[**カラー印刷順序**] を選択します。



印刷順序の変更の詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

ページと用紙マーク

ページ マークと用紙マークは単ページプルーフに置かれ、ページまたは用紙に関する情報を提供します。ページ マークと用紙マークは、顧客の承認タグ用に使用され、可変マークが含まれる場合もあります。可変マークの詳細については、「可変マーク」を参照してください。

ページ マーク ファイルには、ページ特定の情報を含み、すべてのページに記載されています。シート マーク ファイルには、シート特有の情報が含まれ、シートに 1 度記載されます。

レジストレーション カラー (例: QuarkXPress または PageMaker) 対応のソフトウェアであれば、どのソフトウェアにもページおよび用紙マーク PDF ファイル用のソース PostScript を作成することができ、すべての色版に表示されます。ファイルに満足した場合は、フォントが組み込まれているファット混色 PostScript ファイルを作成し、Acrobat Distiller を使用して PostScript ファイルから PDF ファイルを作成します。

単ページ出力プロセス プランで、ページおよび用紙マーク PDF ファイルを指定します。単ページ出力プロセス プランを使用すると、Prinergy によって指定のページ マークおよび用紙マーク PDF ファイルがジョブに追加されます。



ページ マークおよび用紙マークに対して推奨される Acrobat Distiller 設定の詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

可変マーク

出力デバイスに送信するページまたは用紙のカラー分版名、ジョブ名、および出力日などの情報を印刷する場合は、以下の手順に従います。可変マークを使用して、出力時および印刷時にこれらの情報を収集します。

可変マークは、用紙マーク、またはページ マーク PDF ファイルに記載できます。用紙マークおよびページ マーク PDF ファイルは単ページ出力プロセス プランで識別できます。単ページ出力プロセス プランが実行されると、可変マークは正しい情報に置換されます。

また、Preps などのソフトウェアを使用して、ジョブに追加する可変マークを面付けプランに配置することができます。



有効な可変マークの一覧については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

キャリブレーション

Harmony ソフトウェアでは、キャリブレーション カーブを作成、適用、および管理できます。キャリブレーション曲線は、プレス画像の階調再現性をコントロールし、デジタル ファイルがレンダーするときに適用されます。Harmony を使えば、印刷物の階調再現性を、ターゲットと呼ばれる選択した出力サンプルの階調再現性と一致させることができます。Harmony で、Trendsetter Spectrum デジタル ハーフトーン 製版装置のような製版装置を用いた画像付きのプルーフを校正することもできます。

印刷用紙の色調をコントロールするためにキャリブレーションを行う必要があります。階調値は、印刷の再生プロセスでハーフトーン ドットのサイズ変更に伴い変化することがあります。ハーフトーン ドットのサイズ変更はドット利得と呼ばれ、印刷の再生プロセスにおける正常な現象です。キャリブレーションを使用した階調のコントロールとは、階調彩度およびグレー バランスが印刷用紙上でコントロールされるよう、印刷版上のドットの正確な大きさを操作できるということです。

Prinergy では、単ページ出力プロセス プラン、面付けプルーフ出力プロセス プラン、および最終出力プロセス プランの [**キャリブレーション & スクリーニング**] セクションでキャリブレーションは制御されます。

出力にキャリブレーション カーブを適用しない場合は、[**なし**] を選択します。[**自動**] を選択して、最適なカーブをシステムが自動的に選択できるようにします。または、特定のカーブを選択します。



キャリブレーションとスクリーニングの詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。



Harmonyについての詳細は、『*Harmony* ユーザー ガイド』を参照してください。

スクリーニング

スクリーニング情報は、次のようなさまざまな方法で指定できます。

- 他のソフトウェアで生成された PDF ファイルにスクリーニング情報を含める
- 出力プロセス プランでスクリーニング情報を指定する
- Acrobat DotShop プラグインを使用してスクリーニング情報を指定する

スクリーニングは、単ページ出力、面付けプルーフ出力、および最終出力プロセス プランの [**キャリブレーション & スクリーニング**] セクションの設定によって制御されます。Prinergy がスクリーニング情報を取得する場所をプロセス プランで示します。

DotShop スクリーニング

Acrobat の **DotShop** スクリーニング プラグインを使用して、PDF ファイルのスクリーニングを表示および編集することができます。DotShop には PDF ファイルの要素に適応できるスクリーン システムのライブラリが付属しています。スクリーン システムを印刷にあわせてカスタマイズできます。

DotShop スクリーニング プラグインは Prinergy には含まれていないため、別途購入していただく必要があります。

DotShop スクリーン システムで、以下のレベルの PDF ファイルのスクリーニングを編集します。

- ページ上のオブジェクト
- ページ上のグループ オブジェクト
- マニュアル内のページ
- 文書全体

DotShop には、スクリーニングするエレメントの選択に使われる選択ツールがあります。

プルーフの承認

Prinergy では、ページ プルーフ、または面付けされたプルーフの承認、または拒否を記録できます。また、ジョブ マネージャの [**履歴**] 表示に表示されるコメントを付け加えることもできます。

承認が必要ないのは、ページ、面、または色版を最終出力デバイスに送信する前です。

プルーフの承認の方法については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

ジョブ マネージャの [**ページ**] 表示または [**ステップ & リピート**] 表示にある一覧表示の動的な列に、作成したプルーフのタイプに従って承認ステータス アイコンが表示されます。

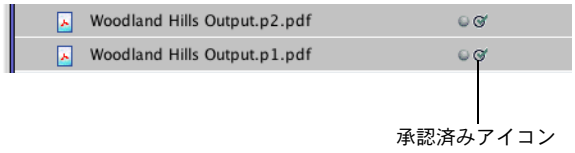


図 40: 承認済みアイコンは、単ページ プルーフ用の動的な列に表示されます。

Synapse InSite でのプルーフの承認

Prinergy InSite を使用すると、顧客はインターネット上で PDF ページ プルーフの表示やダウンロードを行ったり、修正を示すためにプルーフに注釈を付けて、その注釈付きのプルーフを返信することができます。顧客は Synapse InSite で、ページを承認または拒否することもできます。

Synapse InSite で顧客がプルーフを承認する方法は、Synapse InSite のオンライン ヘルプに詳述してあります。

版やフィルムの作成

Prinergy では、色版を選択した後、適切な最終出力プロセス プランを選択することにより、版またはフィルムを作成できます。プロセス プランには、最終出力結果を決めるオプションが含まれます。

版またはフィルムを作成する前には必ず面付けプルーフを準備し、オプションとしてすべてのプルーフを承認してください。



版およびフィルムの作成方法については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

Web growth と他のひずみの補正

プレスのひずみを補正するように Prinergy を設定することができます。イメージはメディアにレンダーされて、変更され、補正はデジタルに行われます。

Web Growth は安価な用紙に印刷した際に、水分により用紙が拡張し、色版がずれる現象です。

Prinergy は、次のようにリニア Growth を補正します。

- 繊維 (または用紙) 全体
- 繊維に沿って
- 同時に繊維に垂直または水平に沿って

ひずみを補正するには、特定の構文を使ってメモ帳などのテキスト エディターで、1つまたはそれ以上の繊維の増大プロファイルを作成します。次に、面付けされたプルーフまたは最終出力を作成するときに、印刷する条件に適合するプロファイルを選択します。Prinergy では、ジョブ チケットに補正情報を書き込み、データがレンダーされると補正を適用します。



Web Growth プロファイルの作成および使用の詳細については、Prinergy のオンライン ヘルプを参照してください。

9

ファイル管理

ジョブのアーカイブ....112
ジョブのパージ....112
ジョブの読み込み....113
ジョブの破棄....113
レイアウトプランの破棄....114
ジョブの停止....114
保存情報の表示....115

ジョブのアーカイブ

ジョブをアーカイブすると、個別の保存デバイスに保存します。

通常、印刷した後に、ジョブをアーカイブします。しかし、入力ファイルがすべてない場合、ジョブを開始し、必要な制作段階を終了した後に、ジョブをアーカイブします。残りのすべてのファイルが到着したら、ジョブを読み込み、作業を完了します。

アーカイブはアーカイブ プロセス プランで管理されています。ジョブは、1 度に最高 10 個までアーカイブできます。

ジョブをアーカイブするには

- [ジョブ ファインダ] から 1 つまたは複数のジョブを選択し、[**ストレージ**] メニューから [**アーカイブ**] を選択します。



アーカイブについての詳細は、『Prinergy システム管理ガイド』を参照してください。



注意: ワークショップの [ツール] メニューから使用可能なメディア マネージャを使用して、システムの取り外し可能な記憶メディアに関する情報を表示できます。システムに Prinergy Archiver のライセンスが付与されている場合のみ、メディア マネージャを利用できます。

ジョブのパージ

ジョブをアーカイブした後、パージしてアクティブなディスク スペースを開放することができます。Prinergy はジョブの保存場所に関するデータベース情報をアーカイブに維持するため、引き続き作業をする必要がある場合は、ジョブを読み込むことができます。

パージは、パージ プロセス プランで管理されています。ジョブは、1 度に最高 10 個までパージできます。

ジョブをパージするには

- [ジョブ ファインダ] から 1 つまたは複数のジョブを選択し、[**ストレージ**] メニューから [**パージ**] を選択します。

ジョブの読み込み

ジョブの読み込みとは、アーカイブしたジョブを再使用のためシステムに呼び戻すことです。

読み込みは、読み込みプロセス プランで管理されています。ジョブは、1 度に最高 10 個までパージできます。

ジョブを読み込むには次のようにします。

- [ジョブ ファインダ] で 1 つのジョブを選択し、[**保存**] メニューから [**読み込み**] を選択します。

ジョブの破棄



注意 : ジョブは、再度使用する必要がない場合にのみ破棄します。

ジョブを破棄すると、ジョブはシステムから完全に削除され、再度読み込むことはできなくなります。ジョブを再度印刷する必要があると思われたら、破棄をせずアーカイブとパージをしてください。

ジョブを破棄するには

- [ジョブ ファインダ] からジョブを選択し、[**ファイル**] メニューから [**ジョブ全体の破棄**] を選択します。

  入力ファイルが [**ジョブ**] フォルダにある場合、[**ジョブ**] フォルダの他のファイルと共に破棄されます。入力ファイルがシステムの別の場所にある場合は、破棄されません。

レイアウトプランの破棄



注意 : 今後、使用しない面付けプランや関連のページ設定、ページ、入力ファイルがある場合に限り、破棄してください

面付けプランが破棄されると、Prinergy では面付けファイルと同様に、関連のページ セット、ページ、および入力ファイルもシステムから永久に削除されます。破棄後は、面付けプランや関連のページ設定、ページ、または入力ファイルを読み込むことができません。、

この機能は、ジョブ入力を削除する一方、画像検索パスのようなジョブ設定を維持します。1 つの面付けプランを破棄しようとする場合、Prinergy では同じジョブ内でページ セット、ページ、入力ファイルを共有する他の面付きプランが破棄されることはありません。

面付けプランを破棄するには

- [ジョブ マネージャ] から [**折丁**] 表示を選択します。面付けプランを選択し、次に [**ファイル**] メニューから [**面付け破棄**] を選択してください。

  これにより、面付けプランおよび関連するページ セット、ページ、および入力ファイルが破棄されます。

ジョブの停止

ジョブは [ジョブ ファインダ] から「完了」として手動で設定するか、自動的に完全なジョブ パージの一部 (プロセス プラン オプション) として設定することができます。完了したジョブは [ジョブ ファインダ] から開くことはできません。またシステムに搭載されたレポートや InSite のデフォルト表示には表示されません。

保存情報の表示

ジョブ マネージャの保存表示でジョブ内のファイルについてのアーカイブ情報を確認できます。

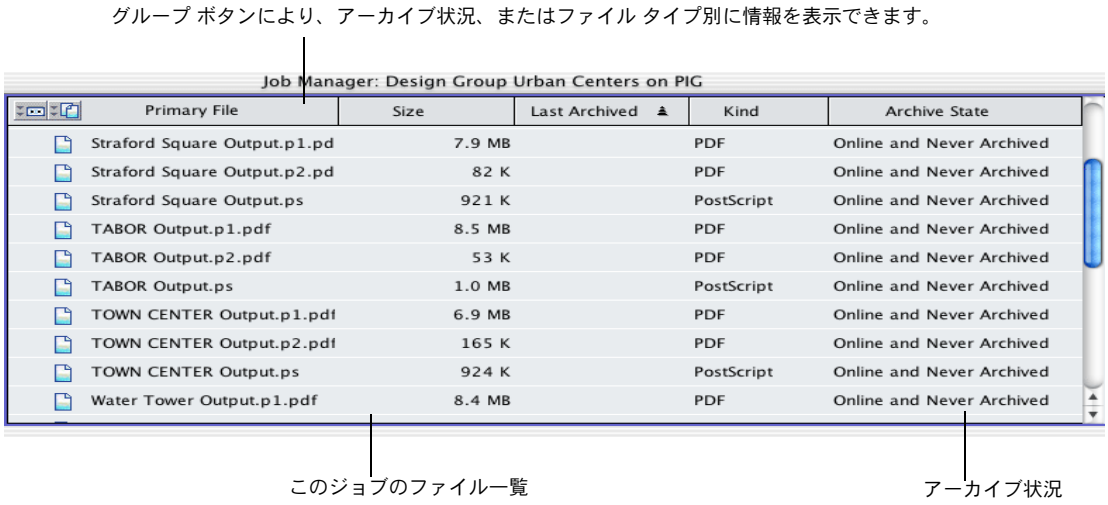


図 41: [ジョブ マネージャ] - [ストレージ] 表示

用語集

Administrator	「Prinergy Administrator」を参照してください。
Adobe Acrobat	Adobe の PDF (Portable Document Format) で文書を作成、編集するためのデスクトップ ソフトウェア。*PDF* も参照してください。
Adobe Extreme	商用印刷向けの高性能なシステム アーキテクチャ。Prinergy ではこの技術が中核として採用されています。これには、PDF と Portable Job Ticket Format (PJTF) に対するサポートが含まれ、通信構造が下層にあります。
ColorMatcher	JTP (Job Ticket Processor) は Prinergy のカラー マッチング処理を行います。
CT/LW	Scitex によって開発された CT (Contone Images) が LW (Line Work、LW) から分離したファイル形式。第 3 ファイル (レイアウト ファイルと呼ばれる) は、LW 内の CT 画像を配置するのに使用されます。
Extreme	「Adobe Extreme」を参照してください。
FAT PostScript	高解像度画像を含む PostScript ファイル。「THIN PostScript」と比較してください。
ICC (International Color Consortium) プロファイル	異なるプラット フォーム、デバイス、およびソフトウェアを通してカラーを正確に再生するための基準として作用する、カラー スペース記述。
Job Ticket Processor (JTP)	Adobe Extreme のジョブ チケットの処理に必要な手順を実行するソフトウェア。JTP は Prinergy Administrator を使用して設定できます。
Job Toolbar	[ユーザー ツールバー] や [**ジョブ ツールバー**] が表示される [ジョブ マネージャ] の [**選択用ホイール**] の下の部分。ツールバーには、最も頻繁に使用するプロセス プランが含まれます。 **ジョブ ツールバー**は、ツールバーで作成したジョブに関連しています。**ジョブ ツールバー** ファイルはジョブ フォルダ内に保存されています。[**ジョブ ツールバー**] でどのプロセス プラン アイコンを表示するか決定するには、[**編集**] メニューから [**ジョブ ツールバーの管理**] を選択してください。「ユーザー ツールバー」も参照してください。
OPI	オープン プリプレス インターフェイス (Open Prepress Interface)。低解像度のプレースホルダ画像を高解像度の画像で自動的に置換する PostScript の拡張機能です。Prinergy では、Extreme に付属の Adobe の OPI が使用されます。リファイン プロセスの間に、プロセス プランで適当な OPI オプションを設定すると、任意で OPI を始動できます。

PDF
Portable Document Format。PDF は、ページの LW、画像、およびテキスト (必要なフォントすべてを含む) を保存するための確実なファイル形式です。PDF ファイルには、画像解像度や双方向送信可能オプションなどの装置固有設定は含まれません。

Portable Document Format
「PDF」を参照してください。

Portable Job Ticket フォーマット (PJTF)
Adobe の PJTF (Portable Job Ticket Format) には、装置固有設定の説明と PDF ファイルのページまたは複数ページにふさわしい出力形式の説明が含まれます。「ジョブ チケット」も参照してください。

PostScript
Adobe Systems が開発した、ページ記述プログラミング言語。PostScript インタープリタを持つ装置で出力できるように、種類やビジュアル エレメントを記述するのに使われます。

Prinergy Administrator
JTP の構成、サーバーやジョブ量の削除、Prinergy の起動と終了、およびシステムのモニタリングなど、システム管理タスクのためのソフトウェア。

Prinergy Workshop
Prinergy システムにメイン ユーザー インターフェイスを提供するクライアント ソフトウェア。Prinergy Workshopから、プリ-ジョブとジョブそれぞれのワークフローを管理できます。Prinergy Workshop では、ジョブ ファインダ、ジョブ マネージャ、キュー マネージャ、プロセス プラン エディタ、グローバル フォント コンバータ、ジョブ単位のフォント コンバータ、Adobe Acrobat、グローバル カラー エディタ、ジョブ単位のカラー エディタなどにアクセスできます。

Prinergy サーバー (ソフトウェア)
Prinergy システムのサーバー ソフトウェア。Adobe Extreme、Oracle database、および Prinergy Administrator を含む多くのコンポーネントで構成されています。これらのコンポーネントは複数のサーバーに割り当てられます。

Prinergy サーバー (ハードウェア)
Prinergy Server ソフトウェアを実行している Windows 2000 サーバー マシン。プライマリ、またはセカンダリ サーバーになります。「Prinergy サーバー (ソフトウェア)」と比較してください。

Prinergy システム
ネットワーク化されたコンピュータのシステム。Prinergy Server (プライマリ サーバー) が起動している Windows 2000 のコンピュータを少なくとも1台、Prinergy Workshop (クライアント コンピュータ) が起動している Macintosh、Windows NT、または Windows 2000 の1台を含みます。Prinergy システムには、セカンダリ サーバー、第 3 サーバー、および補足的なクライアント コンピュータを何台でも含めることができます。サイトには、複数の Prinergy システムがあります。

Prinergy ワークステーション Prinergy Workshop を実行しているコンピュータ。Prinergy Server のコンポーネントは実行していません。クライアント コンピュータとも呼ばれます。Prinergy ワークステーションは、Macintosh、Windows NT、または Windows 2000 コンピュータです。

RIP Raster Image Processor。PostScript データをラスタ (ビットマップ) データに変換するソフトウェア。PDF ワークフローは Prinergy に適用されると、2 相 RIP プロセスを促進します。解釈とレンダリング解釈は、入力ファイルが PDF にノーマライズされる場合にリファイン プロセスの一部で実行されます。PDF ファイルをラスタ データに変換するレンダーは、出力プロセスの一部として実行されます。

Synapse InSite インターネット上で顧客と連絡を取り、仕事を行うことを可能にするオンライン アプリケーション。

system administration クライアント 「Prinergy Administrator」を参照してください。

THIN PostScript 実際の画像データではなく、高解像度画像の OPI 関連情報 を含む PostScript ファイルです。「FAT PostScript」と比較してください。

TrapEditor Adobe Acrobat への Prinergy プラグイン。PDF ファイルのトラップを表示し、編集できます。TrapEditor は Prinergy の標準装備ではないため、別に購入する必要があります。

TrapViewer お手持ちの PDF ファイルでトラップを表示することができる Adobe Acrobat への Prinergy プラグインです。TrapViewer は、Prinergy システムの標準コンポーネントです。

Workshop 「Prinergy Workshop」を参照してください。

アーカイブ 1 台または複数台のマシンで複数のファイル システムにスパンしていることのある、恒久的な可能性のあるジョブまたは関連ファイル セット。

アーカイブする 恒久的に保存するために、ジョブまたは関連ファイルを用紙に書き込むこと。ファイルはコンテキストに保存されますが、ジョブ データは Prinergy データベースで維持されるため、システムからジョブを取得することが可能です。「取得」および「パージする」を参照してください。

印刷用紙 枚葉印刷機、または巻き取り印刷機で印刷された紙で、折丁の一部になったもの。巻き取り印刷機の印刷用紙は、ロール幅×切り取り長さのサイズです。

オプティマイズ 「画像のオプティマイズ」を参照してください。

折丁 書籍またはパンフレットのセクションを構成する 1 枚または複数枚のシートです。フォームとも呼ばれます。

折丁プルーフ 「面付けプルーフ」を参照してください。

画像のオプティマイズ リファイン プロセスの手順で、トリムとダウンサンプルで入力ファイルの画像サイズを縮小します。

カラー コンバート カラー処理パラメータが定義される、リファイン プロセス プランのセクション。

カラー データベース トラッピングに必要なプロセス カラーのレシピおよびインク パラメータなど、スポット カラーについての情報が含まれています。グローバル カラー エディタおよびジョブ単位のカラー エディタを通して、カラー データベースの入力項目を作成し、保持できます。

カラー マッチングする 1 つのカラー スペースを別のカラー スペースに変換する場合、たとえば、RGB から CMYK に変換する場合に、カラーの整合性を保つこと。Prinergy は、装置から独立しているカラー スペースである L*a*b に割り当てるのに ICC プロファイルを使用します。ICC ターゲットは、出力に対する準備がファイルで完了している場合にデバイス スペースにマップするために使用されます。これによって、カラー モデルと出力デバイス間でカラーの一貫性が維持されます。

カラー マッピング 余分なカラーを他のスポット カラーやプロセス カラーにマッピングすることにより、入力ファイルのスポット カラー数を出力するカラー数に減らすこと。

キュー マネージャ Prinergy JTP キューすべてで待機している、またはアーカイブ プロセスを表示、管理するためのウィンドウ。

記録された処置 履歴ログに表示されるシステムが実行する処置 (プロセスを含む) で、ジョブのファイルへの追加、ページの割り当て、ページ ジオメトリの設定、および出力の開始などがあります

クライアント ソフトウェア タスクを完了させるために、サーバー ソフトウェアの要求を行うソフトウェア。Prinergy では、主要なクライアント ソフトウェアは Prinergy Workshop です。「サーバー (ソフトウェア)」も参照してください。

クライアント マシン 「Prinergy ワークステーション」を参照してください。

グループ グループでは、ジョブおよびプリ-ジョブを整理します。グループはフォルダに似ていますが、セレクタ (Macintosh) やエクスプローラ (Windows) からは検索できません。グループは、Prinergy 内部のデータ構造の一部で、プライマリ サーバーのデータベースで管理されています。グループは、ジョブまたはプリ-ジョブの作成と同時に作成できます。また、ジョブ ファインダでグループを作成し、選択したグループ内にプリ-ジョブやジョブを作成できます。

グローバル カラー エディタ

カラー データベースにグローバル エントリを追加し、維持できるようにするソフトウェア。ジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの [**ツール**] メニューからグローバル カラー エディタを起動してください。

グローバル フォント コンバータ

Prinergy で使用する PFA (Printer Font ASCII) 形式にフォント ファイルを変換するソフトウェア。グローバル フォント コンバータを使用して変換したフォントは、ログインしたホーム サーバーに保存され、サーバー上の Render JTP により処理されたジョブすべてで利用できます。

クロップする

希望のサイズに縮小する、または不必要な細部を除外するために、印刷物、写真、刷版、またはデジタル画像の一部を取り除きます。

Prinergy では、表示されない情報を削除するリファイン プロセスの画像オプティマイズ中に、画像を自動的にクロップされます。画像をトリムすると、ファイル サイズが縮小します。

サーバー (ソフトウェア)

Prinergy のようなクライアント/サーバー アーキテクチャは、Prinergy Server のようなサーバー ソフトウェアが Prinergy Workshop のようなクライアント ソフトウェアによって出された要求を実行し、関連した情報をクライアント ソフトウェアに返信します。

サーバー (ハードウェア)

「サーバー マシン」を参照してください。

サーバー マシン

ネットワーク経由で接続されているほかのコンピュータに対して特定のサービスを提供するコンピュータ。Prinergy には、以下の 4 種類のサーバがあります: プライマリ サーバー、セカンダリ サーバー (複数可。まとめて Prinergy サーバーと呼ばれます)、第 3 サーバー、およびファイル サーバーです。「プライマリ サーバー」、「セカンダリ サーバー」、「第 3 サーバー」、「*Prinergy* サーバー *(*ハードウェア*)*」、および「ファイル サーバー」を参照してください。

サムネイル

Prinergy Workshop、および Prinergy InSite に表示されたページまたは署名の超低解像度サンプル画像。

シート

印刷された印刷用紙の両表面。

色版

1 つの面のカラー レイヤー

システム

「Prinergy システム」を参照してください。

実行リスト

Preps の用語で、折丁を構成するページの集合体を意味します。Preps を使用して面付けを行う場合、Preps 実行リストの各ページは Prinergy ページセットのページ位置に対応しています。

出力

出力には 3 種類あります:単ページ プルーフ、面付けプルーフ、およびファイナル(プレートまたはフィルム)です。これらの出力タイプは、プロセス プラン エディタのプロセス プラン タイプに対応しています。

取得 メディアに以前アーカイブされた Prinergy システム ファイルを取り戻すこと。Prinergy では、取得の指示は取得プロセス プランで設定されます。「アーカイブする」および「パージする」を参照してください。

ジョブ 作業を整理するために使用される単位。通常ジョブは、特定の出版のコンポーネントすべてに対応しますが、そうでない場合もあります。ジョブを作成すると、Prinergy によってジョブ フォルダと、ジョブを追跡するためのデータベース エントリが作成されます。

ジョブ サーバー ジョブ フォルダが保存されている Prinergy サーバー。「ホーム サーバー」も参照してください。

ジョブ チケット ジョブ チケットは Adobe Extreme にプロセス実行に関する情報を提供します。たとえば、出力ジョブ チケットには、レイアウト、PDF ファイル、および装置独自設定の情報が含まれます。出力プロセス プランは、プロセス プラン エディタで作成され、装置独自設定のテンプレートのようなものです。エレメントおよび出力プロセス プランを選択すると、ファイルおよびレイアウト情報が完全なジョブ チケットを作成するために、選択したプロセス プランが追加されます。

ジョブ ファインダ Prinergy Workshop を開始するときに、最初に表示されるウィンドウ。このウィンドウから、新規プリ-ジョブやジョブの作成し、既存のプリ-ジョブやジョブを検索して開くことができます。[**ツール**] メニューからグループを作成し、ソフトウェアにアクセスできます。

ジョブ フォルダ プリ-ジョブやジョブに対するシステム　ファイルをすべて保存する、Prinergy サーバー上のフォルダ (またはディレクトリ)。また、ジョブ フォルダには顧客からの入力ファイルを入れることができます。ジョブ フォルダは中央ディレクトリに保存され、ジョブ情報を整理するのに役立つサブフォルダをいくつでも入れることができます。

ジョブ マネージャ ジョブ レベル ワークフロー管理用の Prinergy Workshop メイン ウィンドウ。ジョブ ファインダでジョブを作成、開いた後は、ジョブ マネージャで作業を行うことになります。

ジョブ単位のカラー エディタ カラー データベースにジョブ特有のエントリを追加し、維持するのに役立つソフトウェア。[ジョブ マネージャ] の [**ツール**] メニューから、ジョブ単位のカラー エディタを起動します。

ジョブ単位のフォント コンバータ Prinergy で使用する PFA (Printer Font ASCII) 形式にフォント ファイルを変換するソフトウェア。ジョブ単位のフォント コンバータを使用して変換されたフォントは、ジョブの **<Job Folder>\Fonts** フォルダに保存されています。これらのフォントは現在のジョブでのみ使用されます。

セカンダリ サーバー

Prinergy システム内のプライマリ サーバーではない Prinergy サーバー、つまり Prinergy Server ソフトウェアを作動していても、Oracle データベースを保存していないサーバーです。セカンダリ サーバーでは、分散処理を促進するために複数の JTP を起動できます。Prinergy システムには、複数のセカンダリ サーバーが含まれることがあります。「レンダー ステーション」も参照してください。

選択用ホイール

Prinergy で、ウィンドウの異なった表示を選択するオブジェクト。

操作の詳細

履歴ログに表示された記録済みの処置の詳細。詳細には、操作や処理が行われた日付と時間、ファイル名、およびステータスが含まれます。

ソフト プルーフ

Adobe Acrobat や Virtual Proof ソフトウェアなどのソフトプルーフ ソフトウェアを使用して、画面に表示されるプルーフ。

ソフトウェア処理

特別なタスクを実行する Prinergy Server ソフトウェア コンポーネント。Prinergy Administrator の [プロセス] ウィンドウで Prinergy プロセスのステータスをモニターできます。

第 3 サーバー

ネットワーク経由で Prinergy システムに接続している Windows NT サーバー、Windows 2000 サーバー、または Unix サーバーで、Prinergy ソフトウェア コンポーネントを作動していないサーバーです。Prinergy ジョブのジョブ フォルダや入力ファイルを保存するのに使用されます。

ダウンサンプル

画像の解像度を低くします。解像度が必要以上に高い場合や、解像度をさらに高くしても画像の質が変わらない場合、ダウンサンプルがよく行われます。ダウンサンプルを行うと、ファイル サイズが縮小されます。Prinergy では、リファイン プロセスの画像のオプティマイズ中にダウンサンプリングが行われます。ダウンサンプリングの値は、リファイン プロセス プランの [**オプティマイズ**] セクションで設定されます。

単ページ プルーフ

プルーファー (レーザー プリンターやカラー プリンターなど)、または VPS (Virtual Proofing System) ソフトウェアに、リファイン済みのページまたは複数ページを出力します。

ツールバー

「Job Toolbar」および「ユーザー ツールバー」を参照してください。

低解像度

フル レゾの原物のダウンサンプル版である画像やデータのこと。

Prinergy では、低解像度は 2 種類のレンダラーのうちの 1 種類を呼ぶのに使われることもあります。

デジタル マスター

完全で確実な入力ファイルから Prinergy によって作成された PDF ファイル。ページの概要情報のみが PDF ページに含まれます。適切な出力プロセス プランを選択すれば、プルーフ、フィルム、およびプレートを同じ PDF ファイルから作成できます。

テンプレート

他のプリ-ジョブやジョブで使用するホット フォルダ、属性、および画像またはフォント検索パスを含む、プリ-ジョブまたはジョブのこと。新規ジョブ前またはジョブを作成すると、テンプレートに置かれます。新規ジョブ前またはジョブは、設定がテンプレートからのものだと想定します。

ドット ゲイン

ハーフ トーン出力では、絶対割合はハーフ トーン再制作プロセスが進むにつれてハーフ トーン ドットは実際の (物的ドット ゲイン) サイズから知覚 (光学ドット ゲイン) サイズに変更されます。たとえば、5 パーセントのドット ゲインは、測定されている濃淡にもかかわらず、光がさらに 5/100 吸収されているということです。つまり、濃淡が 1 パーセントでドット ゲインが 5 パーセントの場合、有効ドット領域は 6 パーセントになり、濃淡が 50 パーセントでドット ゲインが 5 パーセントの場合、有効ドット領域は 55 パーセントになります。

トラッパー

トラッピング サービス (Trapper JTP) を提供する Prinergy ソフトウェア コンポーネント。

トラップする

白いスペースがカラーの間に表示されないようにするために、隣接印刷カラーをわずかに重ねる印刷技術。トラッピング パラメータは、TrapEditor プラグイン バージョン、またはリファイン プロセス プランで指定することができます。

入力ファイル

ページ内容を含むファイル。たとえば、入力ファイルは、QuarkXPress ファイルなど顧客のアプリケーション ファイルを PostScript ファイルに印刷すれば作成できます。

ノーマライズ

入力ファイルのそれぞれのページに1ページの PDF を作成するリファイン プロセスの手順の1つ。ノーマライズ プロセスのオプションは以下のとおりです:デフォルト ページ サイズ、OPI、およびフォント処理

パージする

選択したジョブ ファイルを Prinergy サーバーから削除すること。ただし、ジョブ メタデータが Oracle データベースに維持されるため、ジョブはシステムに残ります。パージは、ジョブが正常にアーカイブされた後で行われます。「破棄」と比較してください。「アーカイブする」および「取得」を参照してください。

バージョン

ページの複数のレイヤーを使用するために Prinergy ジョブを設定すること。複数のページをページ セットの同じページ位置に割り当てます。バージョン面付けプランをジョブにインポートし、共通および固有の色版を表示/非表示することもできます。

破棄

Prinergy システムからジョブおよびその関連情報すべてを永久に削除すること。履歴ログ項目も破棄できます。

ファイル サーバー

ネットワーク経由で Prinergy システムに接続しているが、Prinergy のソフトウェア コンポーネントを実行していないコンピュータ。Prinergy ジョブのジョブ フォルダまたは入力ファイルを保存するのに使用されます。

ファイル関連情報

入力ファイルや面付け指示が Prinergy ジョブに追加される時に作成される関連情報です。ファイルの実際の場所に関する情報は、Prinergy データベースに保存されています。

プライマリ サーバー

Prinergy システムのメイン サーバー マシン。これには、Oracle データベースなど、すべての Prinergy Server コンポーネントが含まれます。プライマリ サーバーは Prinergy Workshop からの要求を調整し、データベースを維持します。分布システムでは、プライマリ サーバーが顧客の要求を調整し、データベースを維持します。しかし、全体のシステム パフォーマンスを向上するためにセカンダリ サーバー上でタスクを実行することもできます。Prinergy システムには、プライマリ サーバーは 1 台だけあります。

プリ-ジョブ

作業を整理するために使用される単位。ジョブと似ていますが、用途が異なります。[ジョブ ファインダ] の [**プリ - ジョブ**] 表示の中に、プリ - ジョブを作成します。次の 2 つの用途があります。

- プリ-ジョブを使用すると、エクスポート済みジョブの取り扱いが可能になります。プリ-ジョブを作成し、次にホット フォルダをプリ-ジョブに適用します。ジョブ ホット フォルダーにエクスポート済みジョブ (**<ジョブ名>.zip**) をドロップすれば、システムがエクスポート済みジョブから自動的に新規ジョブを作成します。
- プリ-ジョブを使用して 1 つ以上のジョブで使用されている要素を保管します。たとえば、顧客にプリ-ジョブを作成した後で、ロゴ、画像、および/または顧客がプリ-ジョブに頻繁に用いる変換されたフォントを追加することができます。画像および/またはフォント検索パスをプリ-ジョブに設定してください。顧客用に新規ジョブを作成する際は、プリ-ジョブから新規のジョブに画像検索パスとフォント検索パスをコピーするだけです。新規のジョブは、プリ-ジョブの画像およびフォントを使用します。この場合、一度システムに追加した画像やフォントを何度でも使用することができます。

プリ-ジョブが Web アクセスに対して有効になっている場合、顧客は Synapse InSite でプリ-ジョブを表示できます。

プロセス

プロセス プランを選択すると始まる処置で、たとえばリファイン、出力、インポート／エクスポート、およびアーカイブ／読み込み／消去など。Prinergy でのその他のすべての処理は操作と呼ばれます。プロセスが作動するエレメント (例えば、入力ファイル、PDF ページ、折丁、面、または色版など) が1つ以上必要です。また、エレメント上のプロセス操作を指定するプロセス プランが1つ必要です。

プロセス プラン

プロセスの実行方法を Prinergy に通知するオプションとパラメータのコレクションが含まれるファイル。設定はすでに定義されているため、プロセス プランを使用すると一貫した結果を得ることができます。プロセス プランは、[プロセス プラン エディタ] で作成します。

ファイルを選択し、プロセス プランを選択すれば、Prinergy 内からプロセスを始動できます。選択されたファイルの情報は、Adobe Extreme で処理できる完全なジョブ チケットを作成するために、プロセス プランで設定されたパラメータと合成されます。

プロセス プラン エディタ

プロセス プランおよびワークフロー プランを作成、修正、および管理するためのツール。Prinergy Workshop でジョブ ファインダまたはジョブ マネージャの [**ツール**] メニューから、プロセス プラン エディタにアクセスできます。

プロセス プラン グループ

プロセス プランとワークフロー プランを計画する手段。プロセス プラン グループは、プロセス プラン エディタを使用して作成および維持されます。これらのグループは、プロセス プランやワークフロー プランを計画するのに使用されます。

ページ

テキスト、図、フォントの個々のページである PDF ファイル。

ページ ジオメトリ

それぞれのページのオフセット、トリム サイズ、回転、スケーリング、裁ち幅を決定する際の設定です。

ページ セット

ページ セットは、ページ (つまり、ジョブ コンテント) と面付けプランの間の媒介です。ページ セットによって、特定の面付けプランに限定するアクションなしにページの割り当てができます。ページをページ設定のページ位置に割り当てると、そのページは自動的に面付けプランの正しい位置にも割り当てられます。

ジョブがバージョニングに設定されている場合は、複数のページを同じページ位置に指定できます。

ページ プルーフ

「単ページ プルーフ」を参照してください。

ページ位置

ページの割り当てができる場所を示す、ページ セットのプレースホルダ。ページ セットにはページ位置が含まれます。ページ設定におけるページ位置の数は、面付け指示のページ数と一致しています。ページ セットも参照してください。

1 つのページ位置に複数のページが重なると、ページ位置全体に大きな黒い Vマークが表示されます。レイヤー ページ設定は、バージョン指定でよく使用されます。

ホーム サーバー

特定の Prinergy ジョブに対するジョブ サーバー。ジョブを作成する場合は、ジョブを保存するジョブ サーバーを選択する必要があります。

ホット フォルダ

自動操作を始動する受け取りファイルがモニターされているフォルダ。ファイルを処理するソフトウェアが、定期的にフォルダの場所を確認し、検索されたファイルを自動的に処理します。

ボリューム (Prinergy)

Prinergy サーバー上の共有フォルダ。Prinergy Workshop 経由で Prinergy Administrator にアクセスするボリュームを追加する必要があります。Prinergy Administrator に追加されたボリュームだけが Prinergy Workshop に表示されます。

ボリュームをマウント (Mac)、またはドライブをマップ (PC) しても、Prinergy Workshop で表示されるものに影響はありません。

面

一連の色版で、印刷用紙の単面に印刷します。面は通常、表面と裏面、A と B、または 1 と 2 と呼ばれます。

面付け

印刷された用紙が折り込まれた後、正しい順序を保つために印刷用紙の表面と裏面のページ数を配列する方法。

面付けプラン

1つ以上の折丁のページ位置の記号、ジオメトリ、レイアウトの電子的説明を含むファイル。通常、ページ内容は含みません。面付けプランは、Preps または SignaStation のような面付けソフトウェアを用いてブランク ページの面付けを準備し、PDF ジョブ チケットとして保存することによって作成されます。

面付けプルーフ

印刷紙、面、または色版のプルーファーへの出力。プルーフの印刷は Prinergy がエレメントを選択し、出力プロセス プランを選択すると始まります。折丁プルーフとも呼ばれます。

ユーザー ツールバー

[ユーザー ツールバー] や [**ジョブ ツールバー**] が表示される [ジョブ マネージャ] の [**選択用ホイール**] の下の部分。ツールバーには、最も頻繁に使用するプロセス プランが含まれます。

ユーザー ツールバーはユーザー名 (Prinergy Workshop にログインするために使用する名前) に関連付けられています。**ユーザー ツールバー**でどのプロセス プラン アイコンを表示するかを決定するには、[**編集**] メニューから [**ユーザー ツールバーの管理**] を選択してください。

要素

ページ、ページ設定、折丁、または入力ファイルなど、ジョブ内のすべてのアイテム

ラスタする

ベクトル データをピクセル データに変換すること。

リファイナー リファイン プロセスを実行するソフトウェア コンポーネント。リファイナーがどのように作動するかは、選択したリファイン プロセス プランで決定されます。「リファイン」も参照してください。

リファイン 標準化、カラー コンバート、トラッピング、およびサムネイル作成を含む Prinergy のプロセス。選択したリファイン プロセス プランのパラメータ設定に応じて、入力ファイルがリファイナーで処理されます。

リファインされたページ システムが入力ファイルをリファイニングする場合、入力ファイル内の各ページに PDF ファイルを作成します。ここで作成されるファイルは、リファイン済みページとも呼ばれます。

レイヤー 複数の PDF ページをページ セットの同じページ位置に割り当てます。レイヤーは通常バージョニングと共に使用されます。「バージョン」も参照してください。

レンダー ステーション 出力装置に接続され、高解像度レンダラー JTP を実行しているセカンダリサーバー。通常はジョブや他の種類の JTP の保存に使用されることはありません。その代わりに、出力用のレンダー ファイルのみに使用できます。

レンダラー PDF 入力ファイルをラスタし、スクリーニングするソフトウェア コンポーネント。

ワークステーション 「Prinergy ワークステーション」を参照してください。

ワークフロー プラン ワークフロー プランはプロセス プランを相互リンクさせ、自動化を促進します。

割り当て ページ設定または面付け指示で、どのページ内容が表示されるべきかを Prinergy に指示すること。

索引

A

Adobe Acrobat による PDF ファイルのプルーフ, 101
Adobe Acrobat プラグイン
  DotShop, 108
  オンライン ヘルプ, 13
  起動, 13
Adobe base フォント, 36
Adobe Extreme, 15, 16
Adobe ベース フォント, 64
Advanced Trap Editor, 13

B

Brisque CT/LW ファイル, 11, 72

C

CAD CFF2, 11
CEPS コンバージョン, 72
CEPSLink, 11
CFF2 CAD, 11
Connect, 10
Copydot Toolkit Viewer, 46
CT/LW ファイル, 11, 72

D

DCS ファイル, 11
Direct、Prinergy, 10
Distiller
  Prinergy, 13
DotShop プラグイン, 108
DotShop スクリーニング, 13

E

EPS ファイル, 11
Extreme
  Adobe Extreme を参照

G

Geometry Editor, 13
Geometry Editor プラグイン
  ページ ジオメトリの設定に使用, 86

H

Harmony, 107

I

ICC プロファイル, 75
InSite
  はじめに, 51
InSite、Synapse, 51

J

Job Ticket Processor, 15
jt ファイル, 81
[JTP キュー] 表示, 94
JTP （Job Ticket Processor), 94, 15

M

Macintosh OS, 17

O

OPI, 65, 72
Oracle データベース, 16, 63

P

PANTONE カラー ライブラリ, 37
PDF
  Adobe Extreme のコンポーネント, 15
  入力ファイル, 11
  はじめに, 15
  発行, 102
PDF の発行機能, 77
[PDF ファイルの発行] メニュー オプション, 102
PDF/X-1a:2001, 11
PDF/X-3, 11
PFA 形式, 36, 64
PJTF (Portable Job Ticket Format), 15
Portable Document Format
  PDF を参照
Portable Job Ticket, 15
PostScript レベル 1、2、および 3, 11
Powerpack、Prinergy, 10
Prinergy, 10
  中心技術, 15
Prinergy Connect, 10
  さらに習得, 3
Prinergy Connect Workshop
  ハードウェア, 17
Prinergy Connect の機能, 5
Prinergy Direct, 10
Prinergy Distiller, 13
Prinergy Newsrun, 10
Prinergy Powerpack, 10
Prinergy Publish, 10
Prinergy Server、コンポーネント, 16
Prinergy Workshop
  新しい機能, 6
  カスタマイズ, 28
  起動, 24
  メイン ウィンドウ, 22
Prinergy Workshop の新しい機能, 6
Prinergy Workshop のメイン ウィンドウ, 22
Prinergy 製品群, 10
Prinergy ワークフロー
  ワークフローの基本手順, 44
Prinergy ワークフローの手順, 44
Printer Font ASCII (PFA) 形式, 36, 64
PrintXT Quark XTension, 13

R

RGB 画像、CMYK に変換, 75

S

Separation Repair, 13
Separation Viewer, 13
Separation Viewer プラグイン, 47
Synapse InSite, 10
  低解像度の画像, 77
  プルーフの承認, 109

T

TIFF/IT-P1 ファイル, 11, 72
Trap Editor, 13
  詳細, 13
Trap Editor プラグイン, 76

Trap Viewer, 13
Trap Viewer プラグイン, 76

V

View Accelerator, 13
View Accelerator プラグイン, 77
Virtual Proof ソフトウェア, 46
　面付け済みプルーフ, 103
Virtual Proof ソフトウェアによるソフト プルーフ, 102

W

web growth の補正
　はじめに, 110
　プルーフ, 103
Web アクセス、ジョブの有効化, 61
Windows 2000, 17
Windows NT, 17
Workshop
　カスタマイズ, 28
Workshop 初期設定
　サムネイル, 28
　設定, 34
　ダイアログ ボックス, 34
Workshop の開始, 24
Workshop のフォント サイズ、変更, 34
Workshop のフォント タイプ、変更, 34
Workshop、Prinergy
　はじめに, 17
Workshop、Prinergy Workshop
　起動, 24

あ

アーカイブ
　ジョブのパージ, 112
　ジョブの保存, 112
　ジョブの読み込み, 113
　表示情報, 115
アーカイブしたファイル, 115
アートワーク セット
　アートワークの割り当て先, 84
アイコン
　活動ステータス, 91
アクティブなプロセス
　詳細, 92
　表示, 94, 95
[アクティブなプロセス] ペイン, 90
圧縮ファイル, 19

い

一覧, 28
　表示、および非表示, 30
一覧としての表示, 28
一覧の表示、および非表示, 30
一覧またはサムネイルとしての表示, 28
インターネット, 51

う

ウィンドウ
　ジョブ ファインダ, 25
　フォント サイズおよび入力、変更, 34
　メイン, 22
　列, 29
埋め込まれたフォント, 64

え

エクスポートされたジョブ、プリ-ジョブへの追加, 19
エントリの並べ替え, 30

お

オーバープリントに対するブラック, 76
オーバープリント変換, 76
オペレーター訓練, 4
オペレーティング システムの必要条件
　クライアント マシン, 17
[折丁] 表示, 22, 27
折丁、表示, 104
オンライン ヘルプ
　Adobe Acrobat プラグイン, 13
　アクセス方法, 3, 4
　用途, 3

か

角度、スクリーニング, 67
カスタマイズ
　Workshop, 28, 34
画像検索パス
　設定, 65
　テンプレート ジョブからのコピー, 19
画像のオプティマイズ, 77
活動, 91
活動ステータス アイコン, 90
　プロセスの状態, 91
可変マーク, 106
カラー
　印刷順序の変更
　　印刷順序の変更, 105
カラー エディタ, 67
カラー コンバート
　リファイン プロセス プランのセクション, 74
カラー スペース、代用, 67
カラー データベース, 67
カラー マッチング, 49, 75
カラー マッピング, 74
カラー ライブラリ、PANTONE, 37
カラー印刷順序、設定, 104
カラー エディタ, 22
カラー分版、表示, 104
カラー マッチング, 75
[完了] ジョブ ステータス, 61

き

[記憶域] 表示, 22, 27
キャリブレーション, 107
　出力プロセス プラン, 107
キュー マネージャ
　[JTP キュー] 表示, 94
　[プロセス タイプ] 表示, 95
　目的, 22
　使用, 94

く

クライアント ソフトウェア, 17
クライアント ハードウェア, 17
グループ
　ジョブ, 19, 25
　プロセス プラン, 20, 38
グローバル カラー エディタ, 67
　目的, 22
グローバル フォント コンバータ, 36, 64

け

形式、入力ファイル, 11
検索パス
　画像, 65
　フォント, 64

こ

講習会, 4
校正刷りの納期, 61
高度制作自動化 (APA) ファイル, 78, 85, 86
顧客
　インターネット通信, 51
顧客入力ファイル
　準備, 58
　追加, 63
コピー
　画像検索パス, 65
　フォント検索パス, 65
コピードット ファイル処理, 74
コピードット ファイルのリサンプリング, 74
コンテキスト依存オンライン ヘルプ, 4
コンテンツ ファイル
　準備, 58
コンテンツの変更, 70
コンバージョン
　CEPS, 72

さ

サーバー
　ソフトウェア, 16
　タイプ, 16
　ファイル, 17
最終出力, 95
　プロセス プラン, 47
最終出力の納期, 61
最終出力プロセス プラン, 110
最大レイヤー , 61
作成
　ジョブ, 19, 56, 59
　面付けプラン, 81
サポートされた出力ファイル, 11
サムネイル, 28, 77
サムネイルの表示, 28
サンプル ワークフロー , 44

し

ジオメトリ、ページ、設定, 86
[色版] 表示, 22, 27, 104
指示、処理, 15
システム管理ガイド, 4
システム履歴ツール, 98
自動化
　ページ ジオメトリ, 86
　ホット フォルダ, 52
　面付け, 77
状況ステータス アイコン, 90
情報の表示、および非表示, 29
[情報を見る...] メニュー オプション, 32
[初期設定] メニュー オプション, 34
初期設定、Workshop、設定, 34
ジョブ
　Synapse InSite, 51
　アーカイブ, 112
　アーカイブ情報, 115
　インポート, 53, 59
　エクスポート, 53
　監視, 90, 95
　完了のステータス, 114
　キュー , 94
　削除, 112, 113
　作成, 56, 59
　情報の表示, 32
　情報を見る..., 32
　ジョブ ファインダ, 25
　[ジョブ ファインダ] ウィンドウ, 25
　ジョブのリモート サイトへの転送, 53
　スポット カラー情報, 80
　スポット カラー ワークフロー, 49
　設定, 56
　属性の設定, 61
　定義済み, 19
　停止, 114
　テンプレート, 59
　トラッキング, 90
　入力ファイルの削除, 114
　入力ファイルの追加, 52
　入力ファイルの場所, 63
　入力ファイルのリファイン, 63
　パージ, 112
　バージョン, 50
　破棄, 113
　表示, 25, 60
　複数のジョブのステータスのチェック, 98
　部分的なエクスポートとインポート, 54
　プルーフの作成, 100
　ページ セットの追加, 83
　保存, 17
　優先順位、設定, 94
　読み込み, 113
　履歴, 97
ジョブ グループ
　ジョブ ファインダ, 25
　[ジョブ ファインダ] ウィンドウ, 25
　定義済み, 19
　表示, 19
ジョブ コード, 61
ジョブ ステータス, 61
ジョブ チケット, 15, 81
ジョブ ツールバー , 40
ジョブ ファインダ
　サンプル ウィンドウ, 25
　情報の非表示, 29
　情報の表示, 29
　目的, 22
ジョブ フォルダ, 113
ジョブ マネージャ
　[アクティブなプロセス] ペイン, 90
　[折丁] 表示, 27
　[記憶域] 表示, 27
　異なった表示の表示, 26
　サンプル ウィンドウ, 26
　[色版] 表示, 27, 104
　情報の非表示, 29
　情報の表示, 29
　[ストレージ] 表示, 115
　動的な列, 93
　表示, 22, 27
　[表示] ペイン, 27
　[ページ] 表示, 27
　目的, 22, 27
　履歴表示, 27, 97
ジョブ属性
　設定, 61
　表示, 32

ジョブ属性の表示, 32
ジョブ単位のカラー エディタ, 67
　目的, 22
ジョブ単位のフォント コンバータ, 36, 64
ジョブのインポート, 53, 59
[ジョブのインポート] メニュー オプション, 59
ジョブのエクスポート, 19, 53
ジョブの監視, 90, 95, 97
ジョブの削除, 113
ジョブの停止, 114
ジョブのパージ, 112
ジョブの表示, 60
ジョブの読み込み, 113
ジョブのリモート サイトへの転送, 53
処理の指示, 15

す

スクリーニング, 108
　DotShop プラグイン, 108
　出力プロセス プラン, 108
スクリーニング角度, 67
ステータス アイコン, 90
ステータス、ジョブ, 61
[ストレージ] 表示, 115
スポット カラー
　CMYK への変換, 49
　カラー データベース, 66
　出力, 49
　出力中の還元, 49
　ジョブから情報を表示する, 80
　CMYK への変換, 74
　維持, 74
　カラー データベース内の情報, 67
　カラー印刷順序の設定, 104
　処理, 49
　マッピング, 74
　リファイン中の還元, 49
　ワークフロー , 49
スポット カラーのマッピング, 74, 104

せ

セカンダリ サーバー , 17
選択用ホイール, 27
線、処理, 72

そ

ゾーン バージョン
　バージョンも参照
属性、ジョブ、設定, 61
測定単位、変更, 34
ソフト プルーフ ツール, 46
ソフトウェア、サーバー , 16

た

第 3 サーバー , 17
代替画像、生成, 74, 77
代用インテンシティ , 67
代用カラー スペース, 67
単プルーフ, 100, 101
単プルーフ プロセス タイプ, 95
単ページ出力プロセス プラン, 101
単ページ中綴じ面付け, 101

ち

地域バージョン
　バージョンも参照
チケット、ジョブ, 15

つ

「追加と処理」ファイル ホット フォルダ, 52
追加入力ファイル専用ホット フォルダ, 52
ツールバー、ユーザーおよびジョブ, 40

て

低解像度画像、生成, 74, 77
データベース、Oracle, 16, 63
データベース、カラー , 66
デーモン, 16
デフォルト サムネイル, 77
テンプレート ジョブ, 59, 19

と

動的な列, 93
トラッキング
　アクティブなプロセス, 90
　ジョブ, 90, 97
トラッピング
　PDF トラッパーの利点, 76
　カラー マッチング, 49
　スポット カラー , 49
　ニュートラル濃度, 67
　不透明度, 67
　方法, 76
トレーニング、講習, 4

な

中綴じ小冊子オプション, 101

に

ニュートラル濃度, 67
入力ファイル
　PDF 1.4 透過性, 12
　形式, 11
　準備, 58
　情報の表示, 32
　情報を見る..., 32
　ジョブが破棄された時, 113
　ジョブから削除, 114
　ジョブに追加, 52, 63
　スポット カラーのマッピング, 74
　保存, 17
　リファイン, 63, 79
[入力ファイル追加] メニュー オプション, 63
入力ファイルをフラットとして処理する, 77

の

ノーマライズ, 72
ノックアウト、処理, 76

は

バージョン
　定義済み, 50
破棄
　ジョブ, 113
　面付けプラン, 114
場所
　APA ファイル, 78
　入力ファイル, 63
　ホット フォルダ, 52
パス
　画像検索, 65
　フォント検索, 64

[パスワード] ボックス, 24
版, 110
版またはフィルムへの出力, 47
版、作成, 47

ひ

ひずみの補正, 110
[表示オプション] メニュー
　オプション, 29
[表示項目] メニュー オプション, 29
[表示] ペイン, 27
表示、ジョブ マネージャー , 27

ふ

ファイル
　PDF 1.4 透過性, 12
　出力形式, 11
　入力形式, 11
ファイル サーバー , 17
ファイル形式, 11
フィルム, 110
　作成, 47
フィルム、作成, 47
フォルダ、ホット, 52
フォント
　変換, 64
フォント コンバータ, 36, 64
フォント検索パス
　コピー , 19, 65
　用途, 64
フォント処理, 36, 64, 72
不透明度, 67
[プライマリ ホスト] ボックス, 24
プライマリー サーバー , 17
プラグイン、Adobe Acrobat, 13
フラット、入力ファイルの処理, 77
プラン
　プロセス, 38
　面付け, 19
　ワークフロー , 20, 42, 20, 42
プリ-ジョブ
　表示, 25
プルーフ, 95
　Acrobat の使用, 101
　web growth の補正, 103
　拒否, 47
　作成, 100
　承認, 47, 109
　承認ステータス, 47
　ソフト, 102
　タイプ, 100
プルーフの承認
　Prinergy Workshop, 109
　Synapse InSite, 109
プルーフへの出力, 46
プルーフ方法, 101
プロセス
　アクティブ表示, 95
　一時停止, 94
　監視, 90
　管理, 94
　起動, 94
　詳細, 92
　ステータスの確認, 95
　停止, 94
　動的な列, 93
　優先順位、設定, 94
　要素, 92
[プロセス タイプ] 表示, 95
プロセス プラン
　概要, 38
　最終出力, 47
　ショートカット, 40
　編集, 38
　リファイン, 72
　ワークフロー プランへの追加, 20
　連続する, 20
プロセス プラン エディタ, 38
　サンプル, 39
　目的, 22
プロセス プラン グループ, 20
プロセス プランの編集, 38
プロセス プランへのショート
　カット, 40
[プロセス情報] ウィンドウ, 92
プロセス タイプ, 95
プロセス プラン
　定義済み, 20
　連続する, 20
　ワークフロー プランへの追加, 20
プロセッサ、ジョブ チケット, 15
分散処理, 16

へ

ページ
　サムネイルとしての表示, 28
　プルーフの作成, 100
　ページ位置へのページの割り
　　当て, 84
[ページ カラー] 列, 80
ページ ジオメトリ
　自動的に設定, 85
　自動的に設定する, 86
　設定, 86
[ページ セットの追加] メニュー オプ
　ション, 83
[ページ] 表示, 80
ページ位置
　APA ファイルによる割当て, 85
ページ位置にページを割り当てる
　自動的, 78
　方法, 84
ページ位置へのページの割り当て
　方法, 84
ページ セット
　ジョブに追加, 83
　ページの割り当て, 84
[ページ] 表示, 22, 27
ページレイアウト, 19
[ヘルプ] メニュー , 4
ヘルプ、オンライン
　アクセス方法, 4
　用途, 3
変換
　CMYK のスポットカラー , 74
　CT/LW ファイル, 72
　オーバープリント, 76
　カラー , 74
　フォント, 36, 64
編集
　PDF, 70
　ソース ファイル, 70

ほ

ホイール、選択, 27
補正、web growth, 110
保存, 95
　ジョブ, 17
　入力ファイル, 17
　頻繁に使用される要素, 19
ホット フォルダ, 52
　設定, 52
, 19, 52
ボリュームのマウント、条件, 58

ま

マーク
　可変長, 106
マーク ファイル、送信, 81

め

明度、代用, 67
メディア
　記憶域, 98
メディア マネージャ , 98
メディア マネージャの有用性, 112
面つき破棄メニュー オプション, 114
面付け済みプルーフ, 100, 103
面付けプラン
　作成, 81
　定義, 19
　破棄, 114
　ページのリンク, 84
面付けプランへのページのリンク, 84
面付け、自動, 77

ゆ

ユーザー インターフェイス
　Prinergy, 17
ユーザー ツールバー , 40
　サンプル, 40
ユーザーガイド、説明, 3
[ユーザー名] ボックス, 24

よ

用語集, 123

ら

ライブラリ、カラー , 37

り

リファイン
　最初のリファン, 70
　再リファイン, 70
　ノーマライズ, 72
　プロセス タイプ, 95
　方法, 79
　リファインの時期, 63, 71
リファイン プロセス プラン
　CEPS コンバージョン, 72
　オプティマイズ, 77
　カラー コンバート, 75
　コピードット, 74
　サムネイル, 77
　トラッピング, 76
　ノーマライズ, 72
　面付け, 77
リファイン プロセス プランの
　[面付け] セクション, 77
リファイン プロセス タイプ, 95
リムーバブル記憶域メディア, 98
利用できるディスク領域、表示, 32
履歴
　システム履歴, 98
履歴表示, 22, 27, 97

れ

レイアウト プラン
　アートワークのリンク先, 84
レイアウト プランへのアートワークの
　リンク, 84
レイヤー、最大数, 61
レシピ、スポット カラー , 66
列
　エントリの並べ替え, 30
　ダイナミック, 93
　動的, 93
　表示、および非表示, 29
列のタイトル、並べ替え, 30

ろ

ログイン, 24

わ

ワークフロー
　版の作成, 47
　フィルムの作成, 47
ワークフロー プラン, 20, 42
　サンプル, 42
ワークフロー、サンプル
　Prinergy Workshop, 44
ワークフロー、スポット カラー , 49

www.creo.com | creo™